

創立五十周年記念

五十年史



静岡県アスファルト合材協会

1975 ~ 2024

2025 50th Anniversary

Shizuoka Prefecture Asphalt Mixture Association



創立五十年史 ごあいさつ



静岡県アスファルト合材協会

会長 松浦 真明

静岡県アスファルト合材協会（以後「当協会」と記載）は、皆様から多大なるご支援を賜り、2025年に創立五十年の節目を迎えることができました。

どうもありがとうございます。

お手元の創立五十年史は、今迄の活動を振り返り、記録化することで、当協会のこれからの活動の礎にすることを目的として制作いたしました。

私は2024年4月より、前会長の田中豊様（丸三工業株）から当協会の会長職を引き継がせて頂きました。

田中様は2012年に前任の岡本彦一様（須山建設株）から会長職を引き継がれ、この3月までの12年間という長期に亘って、当協会の発展にご尽力されて来られました。

改めて当協会の皆様方を代表して深謝申し上げます。

さて、現在の当協会員が運営する各アスファルト（以後「As」と記載）プラントの経営状況は、残念ながら大変厳しい状況にあります。

その主な要因の一つが、昨今の激甚化災害への公共工事予算の編重等による舗装工事発注量の減少です。

当協会が毎年集計する全県下As合材製造数量の推移は、2007年に2,058万t（Asプラント稼働率：65.1%）あったものが、2023年には1,215万t（稼働率：39.6%）となり、2007年の製造量の59%まで減少し、稼働率は25.5%低下しております。

そして、もう一つの要因は、2022年3月15日に勃発したロシアによるウクライナへの侵攻がもたらした原材料等の高騰が挙げられます。

さらに、建設業界も2024年4月1日から「働き方改革関連法」が適用され、これにより週休二日の実施や祝日等を完全休工とする工事現場が多くなりました。

そのため今迄の様にAsプラントを平日同様に土日祝日も稼働させることが、As合材の出荷量の減少等により困難な状況になっています。

しかし、この様な状況下ではありますが、当協会の各Asプラントは、多くの方々の日常生活や物資輸送等を支える道路建設に欠かせないAs合材の生産者としての使命と誇りがあります。

私達は、この使命と誇りを持って、この難局に立ち向かう必要があります。

そのためには、当協会と各協会員が連携しながら、Asプラント運営の変革を積極的に推進すると共に、公共・民間の発注者様に対し、全県下にAsプラントの空白地帯ができないよう必要な要望・意見等を行って参りたいと思いますので、引続き皆様方のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

敬具

*** 目 次 ***

祝辞

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 所長 椎野 修 様	1
静岡県交通基盤部 部長 森本 哲生 様	2
静岡市建設局 局長 塚田 俊明 様	3
浜松市土木部 部長 平井 親一 様	4
(一社) 静岡県建設業協会 会長 石井 源一 様	5
(一社) 日本アスファルト合材協会 会長 今泉 保彦 様	6
静岡県道路舗装協会 会長 中村 嘉宏 様	7
静岡県砕石業協同組合 理事長 立岩 康男 様	8

50周年に寄せて

静岡県アスファルト合材協会 前会長 田中 豊	9
------------------------------	---

会員名簿	10
------------	----

創立50周年を迎えて

会員各社代表者より	14
-----------------	----

年史～50年のあゆみ～

静岡県アスファルト合材年表	30
---------------------	----

役員・委員会代表者の変遷	54
--------------------	----

表彰者一覧	64
-------------	----

静岡県におけるアスファルト合材の推移	72
--------------------------	----

静岡県におけるアスファルトプラント数の変化	82
-----------------------------	----

アスファルトプラントの紹介	96
---------------------	----

あとがき	151
------------	-----

静岡県アスファルト合材協会創立 50 周年への祝辞



国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

所長 椎野 修

この度は静岡県アスファルト合材協会が創立 50 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

昭和 50 年に設立された貴協会は、降雨時の走行安全性と快適性、低騒音の実現など、舗装性能の向上や環境への配慮、アスファルト合材の安定供給等にご尽力いただき、時代の変化に対応しながら、地域社会のニーズに応え続けてきたことは、まさに皆様の献身的な取り組みの賜物です。道路は、社会経済活動、国民生活の基幹を支える社会資産であり、貴協会が果たしてきた役割は極めて重要なものと考えています。半世紀にわたり、地域のインフラ整備に貢献されてきた皆様の努力と情熱に、深い敬意を表します。

さて、今般においては、大地震や記録的な豪雨災害などの自然災害が頻発しており、今年の 8 月には南海トラフ地震臨時情報が出されるなど、激甚化する様々な自然災害への備えが喫緊の課題となっております。

そのような状況下の中、我が国の経済発展および激甚化する災害による被害を最小限に抑えるため、道路インフラの整備促進や老朽化対策など国土強靱化の実現に向けて、国、地方、企業、国民が一体となって取組を加速化、深化させていく必要があります。

これからの 50 年に向けて、災害に強い国づくり・地域づくりを実現するためには貴協会の役割は大変重要であり、ニーズの多様化や高度化への要請に対応した技術開発や次世代への教育など、貴協会の更なるご活躍とご発展を大いに期待しております。

静岡国道事務所では、道路インフラの整備促進を行っており、国道 1 号静岡バイパス清水立体や藤枝バイパス 4 車線化、国道 139 号富士改良事業を進めています。

静岡バイパスでは、立体事業の完成により、本線の渋滞が緩和され、交通事故の削減、国際拠点港湾である清水港へのアクセス向上、高速道路 I C へのアクセス改善が期待されています。藤枝バイパス 4 車線化や国道 139 号富士改良事業においても様々な整備効果が期待されています。

これから、ますます静岡の軸となる道路ネットワークの形成・推進が重要と考えておりますので、貴協会の皆様におかれましては、事業の推進に御支援頂きますようお願い申し上げます。

最後になりますが、静岡県アスファルト合材協会の皆様方のますますの御発展と御活躍を祈念し、創立 50 周年の御祝いの言葉とさせていただきます。

静岡県アスファルト合材協会創立 50 周年に寄せて



静岡県 交通基盤部

部長 森本 哲生

静岡県アスファルト合材協会が創立 50 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

貴協会が、昭和 50 年に創立されて以来半世紀にわたり、静岡県内における道路の整備や維持に多大な貢献をされてきたことに心から感謝申し上げます。

道路の舗装に使用されるアスファルト合材は、県民の生活を支える社会基盤を構成する重要な要素のひとつであります。貴協会では、安全で快適な交通を確保する上で、合材の品質確保のため、協会独自の取組であるアスファルトプラントの自主品質管理試験（クロスチェック審査）制度を取り入れるとともに、品質管理技術を含む舗装技術の向上を目的に舗装技術研修会を定期的に開催するなど、技術力の研鑽に努めていますことに深く敬意を表します。

この半世紀の間、道路舗装技術や資材に関するニーズは時代とともに変化し、これに伴い安定した品質と供給に加えて、常に新しい技術や材料が求められてきました。近年では、環境への配慮が重視され、貴協会が取り組む、再生合材の供給によるリサイクルの推進や中温化合材の供給による CO₂ 排出削減への貢献は、持続可能な社会の実現に向け大いに期待されるものであります。

高度経済成長期に建設された社会資本の多くが更新時期を迎えており、効率的な老朽化対策、長寿命化対策が喫緊の課題となっております。

本県では、持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて、「社会資本長寿命化行動方針」を策定しており、舗装もこの方針に基づき「舗装ガイドライン」並びに「中長期管理計画」を定め、長寿命化の実現に向け予防保全管理に取り組んでおります。

この予防保全管理の実効性を高めるためには、民間の技術力、ノウハウを最大限活用する必要があり、良質な舗装材料の安定供給を担い、新しい舗装技術の開発に取り組む貴協会の役割は大きく、様々な取組の成果を大いに期待しているところであります。

結びに、本県の道路行政の推進に当たり、皆様の一層の御支援、御協力をお願い申し上げるとともに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様方の一層の御活躍を祈念いたしまして、創立 50 周年のお祝いとさせていただきます。

静岡県アスファルト合材協会 50 周年への祝辞



静岡市 建設局

局長 塚田 俊明

静岡県アスファルト合材協会が創立 50 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会の会員の皆様方におかれましては、昭和 50 年の設立以来、長きにわたりアスファルト合材の品質確保や安定供給に努められ、平成 17 年より静岡市で取組む溶融スラグを利用した再生アスファルト合材の促進など、これまで培ってきた高度な技術の継承、さらには建設業の発展に貢献されておりますことに敬意を表しますとともに、日頃より本市の建設行政の推進に、格別のご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本市は、国県道から市道までの約 3,200 km の道路を管理しており、多くの道路は高度成長期やバブル経済期に集中的に建設されたことから、多くの施設で老朽化が進み更新期を迎えています。舗装に関しましては、平成 31 年に「静岡市道路構造物維持管理計画(舗装編)」を改定し、長寿命化・ライフサイクルコストの削減に加え、新技術・新設計を活用して、より効率的・効果的な維持管理を実施することで、活発な経済活動や快適な市民生活を支える強靱な社会基盤を有するまちづくりの実現に向けて取り組んでおります。

また、環境負荷の少ない資源環境型社会の形成に向けた GX の取組として、令和 5 年には新たな資源循環を目指し、貴協会のご支援、ご協力を頂き試験的に実施しました「廃 PET を活用した環境配慮型アスファルト舗装」におきましては、高耐久化等の効果が期待されるところであります。今後、長寿命化を実現するための有効な新技術・新工法に取り組んでまいります。

一方、私たち土木建設分野に携わるものは、激甚化・頻発化する自然災害に対し「地域の守り手」として持続可能な社会の形成のために重要な役割を担っており、少子高齢化が進む厳しい社会情勢の中、地域と共に健全な発展ができるよう、官民が連携し課題解決に取り組むことが求められます。

本市におきましても、地域や民間企業と行政が新しい価値を共に創っていく「共創」、その「共創を下支えし、伴走する市政」を基本方針として市政運営に取り組むとともに、今後も予算的制約のある中、最適な施工方法や材料等の新技術の導入により、安全で長持ちする道路環境を目指して参ります。そのためには、貴協会の知識や経験が不可欠と考えており、情報交換やご指導を期待するものです。

結びに、静岡県アスファルト合材協会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝ご繁栄を心からお祈りいたしまして、創立 50 周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

静岡県アスファルト合材協会「五十年史」寄稿文



浜松市 土木部

部長 平井 親一

静岡県アスファルト合材協会の創立 50 周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

昭和 50 年の設立以来、貴協会は半世紀にわたり、アスファルト舗装の技術革新と環境配慮型の取り組みを推進してこられました。特に、施工技術の研究開発や舗装発生材の再利用促進は、資源循環型社会の実現に大きく貢献し、業界の発展と県民の生活向上に多大な影響を与えてきました。これらの成果は、協会の皆様の不断の努力なくしては成し得なかったものであり、深い敬意を表すとともに、日ごろより浜松市の建設行政の推進に、格別のご理解・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

しかしながら、業界を取り巻く現状は決して楽観視できるものではありません。少子高齢化に伴う人手不足や、頻発する自然災害など、多くの課題が山積しています。このような厳しい環境下で、貴協会の存在意義はより一層高まっていると考えております。

浜松市におきましても、橋梁や舗装などの道路施設の老朽化が進む中、効率的・効果的に維持管理していくためには、計画的に優先順位をつけ、中長期にわたる最適な管理シナリオを策定し、投資していくことが重要であると考えています。将来にわたって市民に安全で安心な道路を提供するために、現在、「浜松市道路施設管理基本方針」及び「長寿命化計画」に基づき、計画的に点検・修繕を進めるとともに、「事後保全型維持管理」から「予防保全型維持管理」への本格転換によるトータルコストの縮減、インフラメンテナンスの高度化・効率化等を図っているところでございます。

さらに、改正品確法の趣旨を踏まえ、公共工事の品質向上にも注力しています。職員の技術力向上はもちろん、貴協会との協力関係をさらに強化し、最新技術の導入にも積極的に取り組んでいく所存です。特に、ICT や AI を活用したスマート舗装技術や、環境負荷の低減を実現する新素材の開発には大きな期待を寄せています。

最後になりましたが、今後も浜松市の事業にお力添えいただけますようお願い申し上げます。貴協会のさらなる発展と、会員の皆様のご活躍、ご健勝を心よりお祈りいたしまして、創立 50 周年の祝辞とさせていただきます。

静岡県アスファルト合材協会設立50周年に寄せて



一般社団法人 静岡県建設業協会

会長 石井 源一

静岡県アスファルト合材協会が、設立より50周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

貴協会は、高度経済成長期における道路整備の進展とその路面の舗装化によりアスファルト合材の需要が急速に拡大したことから、アスファルト合材製造工場の、改良発展を図り、もって建設事業に貢献することを目的として昭和50年に設立されたと承知しております。

その後、第二次オイルショックやバブル経済の到来、そしてその崩壊、また環境負荷低減や景観への関心の高まり、大規模災害の頻発化など様々な社会経済情勢の変化がありました。ある時は経済対策として、またある時は高質で快適な空間を形成するため、そしてまたある時は安全・安心な暮らしを守るために、我々建設産業は地域社会に貢献してまいりましたが、常に歩みを共にしてきたのが貴協会と協会の皆様です。

今や静岡県内の道路舗装率は、簡易舗装も含めると98%、その殆どは施工性の良さやメンテナンスの容易さなどからアスファルトによる舗装が施されています。

そして、国内の物流を支える陸上貨物輸送の9割を担うのがトラック輸送であり、産業の発展や生活の利便性の確保、質の向上のためには、道路の良好な走行環境の維持が欠かせません。

このためには、しっかりとした道路のメンテナンスが非常に重要になり、これは、常に県内各地域に良質なアスファルト合材を供給する体制の確保が求められていることを意味します。

これらに対応すべく、貴協会は、多様なニーズに対し、貴協会の設立の目的とされた、良質で安定した合材を提供するための技術力の向上や品質の改良、能率の増進、需要の普及および拡張などに、半世紀にわたり役割を果たしてこれらたことに、改めまして敬意を表します。

一方で、貴協会におかれましては、会員の皆様のご努力により製造能力につきましては維持して頂いているものの、近年その稼働率は、40%程度に留まっていると伺っております。

近年の道路関係予算が横這いの中、行政におかれましては、舗装中長期管理計画などの策定により維持管理予算の確保に努めて頂いているところではありますが、必ずしも十分には措置されていないのが実情です。

今後も安全で安心な交通環境を確保していくためには、効率性の重視によるコスト削減だけでは対応が難しくなると考えられます。

このため、三団体技術者会議に止まらず、行政や利用者なども含めたあらゆる関係者が知恵を出し合うことが必要ですが、その中で要となるのが静岡県アスファルト合材協会であり、貴協会の活動は益々重要なものになると考えております。当協会といたしましても、貴協会と連携し、快適な道路環境の維持・創出に努めてまいり所存ですので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

結びに、静岡県アスファルト合材協会のますますのご発展と、会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、設立50周年のお祝いとさせていただきます。

静岡県アスファルト合材協会創立 50 周年記念祝辞



一般社団法人 日本アスファルト合材協会

会長 **今泉 保彦**

このたび、静岡県アスファルト合材協会が創立 50 周年という大きな節目を迎えられましたこと、日本アスファルト合材協会を代表して心よりお祝い申し上げます。

会員の皆様が、地域の発展と人々の生活を支えるため、半世紀にわたりご尽力されましたことに深い敬意を表します。そして貴協会には創立の翌年から私たち日本アスファルト合材協会と歩みを共にしていただきました。長きにわたり多大なるご支援を賜り、感謝の念に堪えません。

近年、私たちを取り巻く環境はさらに厳さを増しています。猛暑が突きつける温暖化の現実、深刻化する担い手不足、トランプというリーダが孕む世界市場の不確実性、これらは業界全体で向き合わなければならない大きな課題です。また 2023 年度は全国の合材製造数量が 3 千 6 百万トン、工場稼働率は 35.1%といずれも過去最低となりました。2024 年もその傾向に歯止めがかからず、会員速報値で前年度比減少の推移となっています。

しかし災害大国である我が国において、私たち建設産業の担う役割が揺らぐことはありません。昨年も激甚化、頻発化する自然災害で多くの人々が傷つけられるのを目の当たりにし、直近では老朽化したインフラの放置がいかに危険であるか知らしめる事故も起きました。基幹インフラである道路はこれからも防災や減災を通じて人々の命と財産を守り、交易や交流により地域の生活と発展を支え続けます。

そのような中で、貴協会は、各工場への自主品質管理試験・審査の実施や、舗装中長期管理計画の見直し、さらには業界技術者向けの研修、協会間での意見交換など、技術研鑽や品質管理、地域との連携強化に資するさまざまな活動を積み重ねて来られました。

日本アスファルト合材協会は、「安定供給と品質の確保」「製造業の健全なる発展」「技術の向上」という基本方針のもと、働き方改革と環境に資する技術開発を重要課題に掲げています。これによりアスファルト合材業界ひいては建設業界の魅力をさらに高め、多難な時代に立ちむかう全国の会員の皆様の支え続けて参ります。

半世紀にわたる静岡県アスファルト合材協会の歴史は、会員の皆様が日々積み重ねられてこられた努力の賜物であり、かけがえのない財産です。この大いなる財産の上に新たな歴史を築かれ、新時代に向けてさらなる飛躍を遂げられることを願い、また信じています。会員の皆様とこれからも手を携え、一緒に業界の明るい未来を築いていけたなら幸甚の至りです。

結びに、静岡県アスファルト合材協会のさらなるご発展と、加盟各社の皆様方の益々のご多幸、ご健勝を心より祈念いたしまして、50 周年の祝辞とさせていただきます。

祝 辞



静岡県道路舗装協会

会長 中村 嘉宏

静岡県アスファルト合材協会が創立 50 周年を迎えられますことを、衷心よりお祝い申し上げます。また会員の皆様方のお喜びはいかばかりかと拝察いたします。

言うまでもなく私ども道路舗装協会とアスファルト合材協会とは、切っても切れないご縁であります。通常私どもが材料として使用する合材は、的確な品質管理と安定的な供給をし続けていただく合材プラント各社のご努力により成り立っており、官民間わず県内の舗装工事が順調に施工出来ているものであります。重ねて御礼申し上げます。

近年は新設道路舗装工事も減り、修繕工事や長寿命化がキーワードとなってまいりました。更には SDG's や中温化合材など CN (カーボンニュートラル) への取り組みなども求められる業界であります。こういった事象に対応していくためにも個々の会社の対応努力だけでは厳しく、貴団体をはじめとして採石業協同組合・弊道路舗装協会とがまさにしっかりとスクラムを組み、適切に対応していかなければなりません。更には建設業の 2024 年問題、時間外労働上限規制、あるいは週休二日の確保も喫緊の課題となっております。

既にアスファルト合材協会では「土曜日のプラント閉所の標準化」「設計合材単価の内訳開示（プラント渡し＋運賃）の取り組み」を進められているとお聞きしております。これも「新 3 K」と称される建設産業の誇るべき役割と意義、若手の新規参入への働きかけなど、取り組みを活発化させている貴団体の先見性や迅速な行動力に敬意を表するものであります。

2024 年は能登半島の地震で始まり 8 月には「南海トラフ地震臨時情報」など気象変化がますます激化する年となりました。国では解散総選挙により新総理が誕生・県内でも新しい知事が誕生するなど政治の面でも変化の激しい一年となりました。

しかし豪雨災害時でも地震災害時であっても、「ライフラインの要」である道路は、健全な状態を保ち続けなければなりません。そのためには常に適切な道路管理が求められ、発注者の指示のもと工事関係者（道路舗装協会員）が昼夜を分かたず維持修繕に努め、貴合材協会の供給するアスファルト合材を適時適切に使用して安全確保に努める必要があります。

上がり続ける物価、生産性の向上のための DX 導入、人手不足への対応など、我々の業界を取り巻く環境も激変の一途をたどってはおりますが、アスファルト合材協会の皆様におかれてもその変化に迅速適切に対応し、次の一世紀の節目へと向かい、更に飛躍をされますことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



静岡県砕石業協同組合

理事長 **黒岩 康男**

静岡県アスファルト合材協会が創立50周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

貴協会が、1975（昭和50）年の設立以来、アスファルト合材の品質確保や製造技術向上に不斷の努力を続けられ、安定供給を絶え間なく継続されていることに、深く敬意を表する次第です。

さて、貴協会設立当時の我が国を振り返りますと、東名高速道路開通（1969（昭和44）年）によって本格的なモータリゼーションが始まり、道路の整備延長も右肩上がり伸びていく時代であり、また、子どもが生まれる出生数も毎年約200万人を数えるなど、国全体が若く、まだまだ活力にあふれておりました。

それから半世紀を経た現在の我が国は、『2024年の日本人出生数、ついに70万人割れか』（50年前の約1／3）との報道に象徴されるように成熟化が進み、社会資本の老朽化などが大きな課題となっております。

道路も、新たな整備よりも維持修繕や長寿命化が重視されるような時代になりました。

しかし、社会インフラとしての道路の重要性は、いささかも変わることはありません。例えば、2024（令和6）年の能登半島地震では、道路啓開の遅れが迅速な災害復旧をさまたげ、大きな課題となったことは、今後予想される南海トラフ地震に向けても貴重な教訓になりました。

本県においては、『良好な舗装の実現には、砕石等の原材料からアスファルト合材製造及び舗装の施工まで一貫した品質管理が必要』との考えから、2005（平成17）年に貴協会と静岡県道路舗装協会及び当組合の三団体が三団体技術者協議会を設立し、アスファルトプラントの自主品質管理試験（クロスチェック）や採石場現場見学会等を通じ、相互交流や連携協力を続けているところです。

このようなお互いに顔の見える関係づくりの積み重ねこそが、平常時のみならず、災害発生等の非常時に大きな力を発揮すると信じておりますので、今後とも、三団体の連携について御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と協会員の皆様の一層の御活躍を祈念いたしまして、創立50周年の祝辞とさせていただきます。

50周年に寄せて



静岡県アスファルト合材協会

前会長 田中 豊

2024年5月まで12年間の長い間、事務系の私が無事大きな問題もなく会長を務められたのも、関係する行政のご理解ご鞭撻、会員の皆様のご協力のお陰と感謝申し上げます。

特に大高常任幹事長は協会全体の運営を、加茂・佐藤技術委員長には当県独自のクロスチェック制度の運営・記念誌のまとめ等当協会の中核部分において、大変お世話になりました。また、人員の少ない資料調査委員会では、コロナのお陰で予算が貯まり、より負担の少ないソフトへと改訂していただきました。重要な統計資料ですので、今後も改訂し続けていただければと思います。

思い出せば、私が合材協会に参加させていただいたのは、下田に帰ってきた次の年と記憶していますので、まだ28歳でした。それから43年間技術面で多くのご指導をいただき、県内の同業の皆さんとも顔見知りになりました。時代も平成9年度頃から次第に維持修繕の時代に大きく流れが変わり、県全体で200万トンあった合材生産数量も2023年度には120万トンまで減少しました。それに合わせて、アスファルト単価も上昇し、合材の設計単価も大きく上昇しました。昨今では、行政の維持修繕の予算もあまり増加することなく、単価が上がった分、施工面積が少なくなっています。インフラが相対的に機能低下していくことが心配されます。

また、過去に大手道路舗装会社による談合問題が報道されるまでは、東部中部西部の対抗ゴルフ大会や技術委員会の忘年会も毎年開催されていました。もちろん談合がよくないことは周知の事実ですが、当協会には関係のない要因により、同業者間のよい絆が薄れてしまうことが心配です。特に、故岡本名誉会長が創られたクロスチェック制度に悪い影響が出ないようにしていただければと思います。是非ともコミュニケーションを密にし、県全体の技術レベルの向上に努力し続けていただければと思います。

当協会は、初代斎藤会長が5年、2代目の平松会長が14年、3代目の岡本会長が18年、私が12年と非常に長い任期となっていました。これでは、務められる方がいなくなってしまう。そこで、私の最後の理事会において、原則2期4年で交替することを、文書にはしていませんが、全員一致で決めさせていただきました。これで、良し悪しはあるかと思いますが、少なくともマンネリ化は防げるのではないかと考えています。

なお、この12年間で、各支部長、常任幹事とともに、物価調査会、経済調査会に最低年2回、多い時には年4回ほど地域の状況報告と調査依頼に行かせていただきました。特に信頼関係を少しずつではありますが、築いて来られたのが良かったと考えています。

今後も静岡県アスファルト合材協会が継続され、県全体で切磋琢磨されることを願っています。

静岡県アスファルト合材協会 会員名簿

静岡県アスファルト合材協会会員名簿

【 東部支部 】

令和6年12月現在

会 員 名	会社代表者		協会代表者	住 所	
	役 名	氏 名		電話番号	F A X 番号
丸三工業(株)	代表取締役 社 長	田中 豊	田中 雄士	〒 415-0028 下田市吉佐美1018-1	
				0558-23-0303	0558-23-5533
花菱建設(株)	代表取締役 社 長	住友 哲也	北澤 和彦	〒 420-0847 静岡市葵区西千代田町5番18号	
				054-245-3366	054-245-3442
(株)海野建設	代表取締役	海野 祐一	海野 祐一	〒 414-0053 伊東市萩649-69	
				0557-45-2449	0557-45-2446
菅原建設(株) 静岡営業所	代表取締役 社 長	若松 亜紀子	鈴木 進一	〒 414-0001 伊東市宇佐美420-2	
				0557-47-3344	0557-47-3354
昭和舗道(株)	代表取締役	寺尾 直	勝又 政幸	〒 410-2321 伊豆の国市三福字岩下396-1	
				0558-76-1663	0558-76-0039
山旺建設工業(株)	代表取締役	佐藤 裕司	粉川 昌樹	〒 410-0302 沼津市東椎路34番地	
				055-973-1055	055-973-1057
白幸産業(株)	代表取締役 社 長	白井 康晴	勝亦 徳重	〒 410-1304 駿東郡小山町藤曲109-1	
				0550-76-1200	0550-76-4923
大有建設(株)	執行役員 製品販売 事業本部長	白濱 弥	山口 真広	〒 410-1125 裾野市富沢字向田235	
				055-992-3563	055-993-6566
(株)リサイクル御殿場	代表取締役	瀬戸 達也	瀬戸 達也	〒 412-0047 御殿場市神場3-20	
				0550-88-0333	0550-88-0500
(株)リサイクル芝川	代表取締役	佐藤 彰	佐藤 彰	〒 419-0315 富士宮市長貫字中川原551-1	
				0544-65-0850	0544-65-1882
日本道路(株) 中部支店	執行役員 支店長	中川 雄一	佐藤 直哉	〒 460-0017 名古屋市中区松原3-15-19	
				052-331-5241	052-331-5246
前田道路(株)	支店長	岡田 啓源	横田 修	〒 417-0846 富士市今井434-1	
				0545-33-0627	0545-33-0630

静岡県アスファルト合材協会会員名簿

【 中部支部 】

令和6年12月現在

会 員 名	会社代表者		協会代表者	住 所	
	役 名	氏 名		電話番号	F A X 番号
大石建設(株)	代表取締役 社 長	大石 信也	大石 健仁	〒 421-0305 榛原郡吉田町大幡2130番地	
				0548-32-0415	0548-32-7766
大林道路(株) 中部支店	合材部長	林 義之	大田 信治	〒 420-0955 静岡市葵区芝原21-21	
				054-247-3667	054-247-3263
(株)エコワーク	代表取締役 社 長	大河原 高広	青島 博子	〒 427-0047 島田市中溝町1703	
				0547-37-3194	0547-37-4682
神谷建設(株)	代表取締役	神谷 美都江	藤森 真次	〒 432-8023 浜松市中央区鴨江2丁目35番24号	
				053-454-4336	053-452-5634
セイエン商事(株)	代表取締役 社 長	木内 藤男	朝倉 雅好	〒 426-0022 藤枝市稲川852	
				054-641-6424	054-643-7604
三井住建道路(株)	代表取締役 社 長	蓮井 肇	森本 和男	〒 421-1121 藤枝市岡部町岡部1439-2	
				054-667-6800	054-667-6802
静和工業(株)	代表取締役 社 長	望月 元一	岩本 真人	〒 422-8066 静岡市駿河区泉町3番15号	
				054-285-7141	054-281-6159
東海瀝青工業(株)	代表取締役	松浦 真明	松浦 真明	〒 421-0117 静岡市駿河区下川原南1番1号	
				054-259-9564	054-257-3841
花菱建設(株)	代表取締役 社 長	住友 哲也	住友 哲也	〒 420-0847 静岡市葵区西千代田町5番18号	
				054-245-3366	054-245-3442
前田道路(株)	支店長	岡田 啓源	河合 真邦	〒 421-1131 藤枝市岡部町内谷藤太丸784-2	
				054-667-1844	054-667-1115

静岡県アスファルト合材協会会員名簿

【 西部支部 】

令和6年12月現在

会 員 名	会社代表者		協会代表者	住 所	
	役 名	氏 名		電話番号	F A X 番号
(株)中村組	取締役社長	中村 嘉宏	山本 茂	〒 430-0906 浜松市中央区住吉五丁目22番1号 053-412-1111 ・ 053-412-1130	
共同企業体 協和アスコン	運営委員長	山下 健介	五十嵐 克彦	〒 431-1304 浜松市浜名区細江町中川847番地の5 053-522-0804 ・ 053-522-0766	
(株)N I P P O 静岡統括事業所	統括事業所長	新行内 正臣	新行内 正臣	〒 422-8004 静岡市駿河区国吉田2丁目1番3号 054-261-6278 ・ 054-261-6280	
神谷建設(株)	代表取締役 社 長	神谷 美都江	藤森 真次	〒 432-8023 浜松市中央区鴨江2丁目35番24号 053-454-4336 ・ 053-452-5634	
西遠アスコン 共同企業体	大林道路(株) 執行役員支店長	杉山 雅浩	川上 恭司	〒 431-2102 浜松市浜名区都田町8546-5 053-428-3808 ・ 053-428-3809	
磐田瀝青舗材 共同企業体	代表者	平井 美次	平井 美次	〒 438-0016 磐田市岩井1907-204 0538-35-6031 ・ 0538-35-3389	
須山建設(株)	代表取締役 社 長	須山 雄造	内山 敏	〒 432-8012 浜松市中央区布橋2丁目6番1号 053-471-3162 ・ 053-471-9235	
前田道路(株)	中部支店長	岡田 啓源	五十嵐 克彦	〒 431-3103 浜松市中央区常光町814 053-434-4986 ・ 053-434-5007	
浜岡アスコン 共同企業体	(株)佐藤渡辺 中日本支店長	宮内 友孝	丸尾 佳秀	〒 437-1602 御前崎市比木2038-1 0537-85-3393 ・ 0537-85-4627	
天竜川砂利プラント(協) アスファルト合材工場	代表理事	川合 勝美	神谷 裕	〒 434-0022 浜松市浜名区新堀1-1 053-586-3251 ・ 053-586-3894	
西遠コンクリート工業(株)	代表取締役 社 長	内山 淳	内山 淳	〒 432-8064 浜松市中央区倉松町4048番地 053-447-1489 ・ 053-448-8484	
西部合材リサイクルセンター 協同組合	理事長	内山 敏	鈴木 正志	〒 431-1111 浜松市中央区伊左地町1511-2 053-484-3820 ・ 053-484-3821	
共同企業体 掛川アスコン	工場長	重松 和憲	重松 和憲	〒 436-0012 掛川市上内田字五百済2441-1 0537-62-1511 ・ 0537-62-1577	

創立50周年を迎えて
＝ 会員各社代表者より ＝



株式会社海野建設 工場長 村上 克也

このたびは静岡県アスファルト合材協会50周年、誠におめでとうございます。
私が、アスファルト合材の製造に携わる業務について約20年になります。当初、アスファルト合材に関する知識は全くありませんでしたが、合材協会技術委員会等に参加させていただくことで、諸先輩方から配合設計の方法や日々の品質管理の方法など教えていただくことができました。プラント検査やクロスチェックを通じ他社様の機械設備の維持手法や作業標準等のご指導も頂き、会社としても私個人としても技術、知識の吸収等につながったと実感しております。この制度も今後のプラント運営にあたっての良き情報交換の場として続けて行っていただきたいと思います。私どもの工場は現在常時3名体制と少ない人員で行っていますがアスファルト合材製造の技術と品質の向上をはかり、アスファルト合材協会の発展の為、努力を続けていきたいと考えております。今後も微力ではありますが協会活動に参加させていただきますので、ご指導よろしくお願いします。



御殿場合材センター 工場長 瀬戸 達也

静岡県アスファルト合材協会創立50周年 おめでとうございます。
合材協会の礎を築き努力されてこられた諸先輩方には心より敬意を表します。
御殿場合材センターも1997年に操業開始して27年が経ちます。40年・50年と操業できるよう地元の歴史に刻まれる合材工場を目指していきたいと思っております。

当工場は「人命尊重を基本理念とし快適な職場環境をつくり、働く全員の安全と健康を第一に業務を遂行し、絶対に死亡事故は起こさない」を方針に掲げ、株式会社リサイクル御殿場・白幸産業株式会社の共同企業体として無事に操業してまいりました。これもお客様、協力事業者様、合材協会会員様、従業員一同の皆様のおかげです。感謝しかありません。これからも未来の合材工場、地球環境を守ること・品質向上・信用、信頼・人を大切にできる工場を目指して精進してまいります。これからも静岡県アスファルト合材協会に微力ながら、ご協力し発展に貢献してまいります。今後も変わらず御殿場合材センターを宜しくお願い致します。



山旺建設工業株式会社 合材部部長 粉川 昌樹

静岡県アスファルト合材協会創立50周年おめでとうございます。
50年にわたり協会の礎を築き、維持発展をされてきた、諸先輩方に深く感謝申し上げます。

長引く景気低迷により、静岡県内約200万トンあった合材生産量も約120万トンと減少し、地球温暖化に伴い環境問題、また人口減少に伴う人手不足等、大変厳しい時代になってきました。弊社におきまして、2030年温室効果ガス46%減少にむけてリサイクルユニットの更新計画、人材不足に伴う休日の確保、ICTを活用し仕事の効率化や生産性の向上と課題が沢山ありますが、より一層努力し邁進していきたいと思っております。

最後に静岡県アスファルト合材協会のご活躍とご発展を祈願しまして 50 周年記念の挨拶とさせていただきます。



昭和舗道株式会社 工場長 勝又 政幸

静岡県アスファルト合材協会の創立 50 周年誠におめでとうございます。謹んでお慶び申し上げます。

協会活動に際し、先人の皆さまの合材への熱い思いと弛まぬご努力により、協会の礎が築かれたことに心より感謝申し上げます。

協会活動には、合材の品質向上に欠かすことのできない「プラント検査」や「クロスチェック」などが、長年に渡り実施されております。昭和舗道も、伊豆の中央に位置し昭和 42 年の創業以来、「健全な事業活動により、社会資本整備に貢献し、地域社会の生活向上に資することを使命とする」を経営理念に掲げ、伊豆地区の社会インフラ整備に取り組んで参りました。地域密着、安全第一、高品質保持を常に意識し、地元の生活基盤を支えてこそ、皆さまから信頼される企業であり続けることは、協会活動に相容れるものだと考えております。

今後も、協会活動を通じ、会員の皆さまとともに、社会からの信頼を最優先に、高い技術の向上で、お客様から選ばれ、喜ばれる製品を目指してたゆまぬ挑戦を続けて参ります。



菅原建設株式会社 伊東瀝青混合所 工場長 山田 瑞絵

静岡県アスファルト合材協会 創立 50 周年おめでとうございます。

私もこれまで長くこの仕事に携わり、工場責任者となってから 10 年が経とうとしています。

日頃から協会の皆様方に変えて指導、御協力を頂いたお陰と感謝しております。

入社当時と比べ、最近では県内のプラントで女性と会う機会も増え嬉しく思っています。

当工場は国道 135 号沿いに位置し、自然豊かな立地にあります。海拔は 77m あり、伊東の観光名所等を見渡すことが出来ます。

現在は常時 2 名の職員で工場運営しています。

少ない人員で安全に作業できるよう、作業内容の共有と場内の整理整頓に努めています。

隣接する熱海市では、令和 3 年に起きた土砂災害の防災対策工事が行われています。

当工場も地域社会への貢献に向け、良い材料を供給する努力を続けて参りたいと思います。

最後に静岡県合材協会の今後の益々の発展を願い、挨拶とさせていただきます。



大有建設株式会社 工場長 山口 真広

静岡県アスファルト合材協会の「設立 50 周年」おめでとうございます。当工場も昨年 3 月で「設立 20 周年」を迎えることが出来ました。近隣協会のご理解や地元業者様のご協力の賜物と感謝しております。伊豆縦貫道が開通し約 10 年が経過して、交通の便が劇的に改善され、より住みやすい街になっていると思います。年々、前年度割れの出荷数量になっており厳しい状況となっておりますが、地域密着工場としてより良い「品質」・「対応」を目指していきたいと思っています。



前田道路株式会社 工場長 佐々木 浩

静岡県アスファルト合材協会の「設立 50 周年」おめでとうございます。近隣協会のご理解や地元業者様のご協力により日々安全な生産が出来ていること感謝しております。静岡県全体として合材出荷量に関し年々減少の一途ではございますが、これからもお客様に寄り添った地域密着型の工場として日々精進していきます。これからは静岡県アスファルト合材協会一丸となって県全体が盛り上がりいけるよう貢献して参ります。



日本道路株式会社 静岡合材センター 所長 佐藤 直哉

静岡県アスファルト合材協会創立 50 周年おめでとうございます。
50 周年ということで良いこと・悪いこと色々有ったとは思いますが。近年は特に静岡県内の舗装インフラが落ち込んでいる事も有り、お互い厳しい環境下に居るとは思います。
今回の 50 周年を機に静岡県の景気が向上し、静岡県アスファルト合材協会の発展に少しでも貢献出来るように、顧客や地域社会のニーズに応じた安全・環境・品質に寄与していきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



株式会社リサイクル芝川 代表取締役 佐藤 彰

静岡県アスファルト合材協会設立 50 周年おめでとうございます。この度、リサイクル芝川を代表して、心よりお祝い申し上げます。半世紀にわたり、地域のインフラ整備と環境保全に貢献されてきた貴協会の取り組みは、まさに地域社会の礎を築くものであり、その功績は計り知れません。私どもリサイクル芝川も、貴協会の一員として共に歩んできたことを誇りに思います。特に、近年の持続可能な社会を目指す活動において、リサイクル素材の活用や環境に配慮した技術の推進に共感し、協力できたことは大変意義深いものでした。これからの 50 年も、さらなる技術革新と環境保全を追求し、地域社会に貢献する新たな価値を創造していくことを期待しております。

す。リサイクル芝川も、引き続き貴協会と共に、持続可能な未来を目指して努力してまいります。改めまして、静岡県アスファルト合材協会の 50 周年を心よりお祝い申し上げます。そして、これからのますますのご発展と皆様のご健康をお祈り申し上げます。



花菱建設株式会社 松崎工場 工場長 中田 智一

静岡県アスファルト合材協会の創立 50 周年誠におめでとうございます。
また今日まで合材協会を発展させてこられました諸先輩方のご尽力に心から敬意を表します。

当工場は、昭和 29 年以降に移動式アスファルトプラントにて静岡県内各地でアスファルト混合物の製造を開始し、昭和 44 年に賀茂郡松崎町に定置式アスファルトプラントを設置。平成 3 年にアスファルトプラントの建替えを経て現在に至ります。これまでに合材協会の皆様に支えられてきましたことを改めて感謝いたします。

業界を取り巻く環境は大きく変化しています。労働力不足や 2024 年問題。原材料費の値上げや運搬費の高騰など多くの課題を抱えています。多難な時代において業界の魅力を伝え、業務効率化、労働環境改善・生産性の向上を進め発展を続けなければなりません。これからも、これまで以上に地域社会に貢献できる企業になれるように努力してまいります。

最後に静岡県アスファルト合材協会と会員皆様の益々の発展をお祈りいたします。



前田道路株式会社 富士合材工場 工場長 横田 修

静岡県アスファルト合材協会の創立 50 周年、誠におめでとうございます。

半世紀にわたり、静岡県アスファルト合材協会は道路建設業界において重要な役割を担い、技術革新と品質向上に努めてまいりました。この長い歴史の中で、数多くの課題に直面しながらも、業界の発展に貢献し続けてこられたことは、関係者一人一人の努力と情熱の賜物であると深く感謝申し上げます。

本日、50 周年という節目を迎えたことは、協会のこれまでの成果を振り返るだけでなく、未来へ向けた新たなスタートラインでもあります。これからも、業界全体の発展と社会貢献を目指し、協力し合いながら歩んでいきましょう。

特に、環境意識の高まりとともに、持続可能なアスファルト合材の開発が進み、エネルギー効率や再生資源の活用が進展してきました。これからの 50 年に向けて、さらなる技術革新と社会的責任を果たすために、今後も積極的に取り組んでいくことが重要です。

最後になりますが、協会のますますのご発展と、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



丸三工業株式会社 アスファルトプラント 工場長 鈴木 規夫

静岡県アスファルト合材協会創立 50 周年、誠におめでとうございます。50 年の長きにわたりご尽力を承りました先輩諸兄の方々には深く感謝申し上げます。

私が合材協会での様々な行事に参加させていただくようになってから 10 年が経ちます初めのころはわからないことばかりで戸惑うことばかりでしたが協会活動を通じて諸先輩方からご指導・ご協力いただいたことにより会社としても私個人としてもスキルアップに繋がり非常に感謝しております、当工場は常時 3 人と少人数での運営しており各自が品質管理、プラントペレター、プラント修理を出来るようにしています協会活動で得た事を共有し合い会社としての技術力をさらに上げていきたいと思ひます。今後も協会の活動等に積極的に参加させていただき地域社会に認められるより良い製品を提供できるように努力していきます。最後に静岡県アスファルト合材協会の益々の発展をお祈りするとともに挨拶とさせていただきます。



株式会社エコワーク 常務取締役 鈴木 弥寿彦

静岡県アスファルト合材協会が創立 50 周年の節目を迎えます事、誠におめでとうございます。静岡県内においてこの 50 年の間には、静岡空港開港、静岡区間新東名高速道路の開通、国道 1 号バイパス 4 車線化工事の着手と、合材プラントとしての存在価値をしめす事ができるプロジェクトが多くありました。

今後の発注量は不透明であり、年ごとの出荷量が低下している中、材料の高騰で厳しい運営が余儀なくされますが、コンプライアンス遵守の意識と品質監理の徹底に取組み、地域密着型の社会に貢献できる企業として精進してまいります。

またこの 50 周年を迎える事となるこれを機に、合材協会を含めた業界全体が、環境に配慮した取り組みを積極的に取り入れ、次なる世代に働きやすく、魅力的な職場でありますよう、私たち皆で力を併せて取り組んでまいりましょう。



大石建設株式会社 常務取締役 大石 健仁

静岡県アスファルト合材協会がこの度、設立 50 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

静岡県アスファルト合材協会は、東、中、西と 3 支部、26 プラントが存続する大きな団体となっております。

静岡県内道路を支える重要団体として広い視野と豊かな知識を兼ね備えております。

今後においても人材の育成にご尽力いただくとともに静岡県内の合材工場においてのクロスチェックによる合材の品質管理向上、舗装施工業者による技術管理向上に努めていただきたいと考えております。

会員の皆様の積極的参加をお願い申し上げると同時に更なる発展により一層のお力添えを賜われますようお願い申し上げます。

終わりに静岡県アスファルト合材協会のますますの御発展と会員の皆様方のご健勝と御活躍を祈念いた

しましてお祝いの言葉といたします。



鈴木建設株式会社 土木施工本部 鈴木 靖浩

静岡県アスファルト合材協会が50周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。50年の長きに渡りアスファルト合材の品質向上活動、舗装技術の普及、社会的地位の向上に努めてこられましたことに対しまして深く敬意を表します。

近年は地球温暖化による災害の激甚化と近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震の懸念や既存インフラの老朽化、人口減少、少子高齢化に伴う社会経済活力の低下等、深刻な課題に直面しています。

こうした環境の中、万が一の有事の際には先ずは第一に道路啓開における対応から普段であれば地域住民の何気なく通行している道路の快適性の追求等、地域住民の生活を支える道路の品質向上に貴協会は多大な貢献をされております。今後も、更なる製造技術の向上、品質管理の徹底、道路の耐久性向上や製造効率、生産性の向上についての技術研究等、その活動にはおおいに期待するものであり、過去に培った技術を今後もいかになくなく発揮していただくよう期待しているところであります。

静岡県は東京と名古屋の中間に位置し昔から東西交通の要として重要な役割を担っています。貴協会におかれましては一層の御発展と会員の皆様のさらなる御活躍を祈念しまして祝辞とさせていただきます。



共同企業体静岡リサイクルセンター 所長 玉木 実

静岡県アスファルト合材協会創立50周年おめでとうございます。当プラントは2019年4月に現在の構成員会社（5社）と共同企業体として運営をいたしております。合材協会のこれからのご活躍とご発展を祈念致します。



共同企業体静岡つばさアスコン
前田道路株式会社 工場長 片家 拓洋

静岡県アスファルト合材協会様、このたび創立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。貴協会は、半世紀にわたり、地域社会のインフラ整備と道路産業の発展に多大な貢献を果たされてきました。特に静岡県中部地区においては、主要幹線道路や地域交通の要として、多くの市民や企業に安心と利便性を提供されており、その功績に深く敬意を表します。静岡県は東京と名古屋を結ぶ日本の交通の要所であり、貴協会の活動はこの重要な地域の物流や経済を支える基盤となっております。協会員各位が長年にわたり品質向上や技術革新を追求されてきた努力は、県内外からの厚い信頼を築き上げており、さらに近年では環境問題への対応や持続可能な社会の実現にも積極的に取り組まれていることに心より感服いたします。今後も中部地区をはじめ、静

岡山全域の発展を牽引されることを期待しております。末筆ながら、貴協会のますますのご繁栄と会員各位のご健勝をお祈り申し上げます。



共同企業体静岡つばさアスコン
三井住建道路株式会社 工場長 粟津 義之

静岡県アスファルト合材協会が創立50周年の節目を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

50年という半世紀にわたり道路建設の基盤を支えるアスファルト合材の発展と品質の向上等に尽力され道路網の整備と社会インフラの発展に多大な貢献をされた歴代の会長・役員の皆様のご尽力の賜物であると改めまして深く敬意と感謝を申し上げる次第であります。

2024年4月より前田道路(株)・三井住建道路(株)・大成ロテック(株)がひとつとなり共同企業体静岡つばさアスコンが発足しました。

近年取り巻く環境は厳しく苦難を乗り越えなければなりません。アスファルト工事は道路や駐車場など人々の生活に欠かせないインフラを支える重要な仕事です。今後も需要が見込まれるため常に品質・技術力を高め社会のニーズに応えるための努力が求められます。

皆様と共に率直な議論を重ね、意思疎通を十分に図りながら質の向上に努めてまいります。

最後に次の50年も、さらなる発展と革新を遂げられることを心より願い、ここにお祝いの言葉とさせていただきます。改めまして、50周年、誠におめでとうございます。



神谷建設株式会社 取締役工事部長 藤森 真次

創立50周年を迎えられました事を心よりお喜び申し上げます。

協会の活動には、歴代会員のご指導を仰ぎ、数々の場面で会員の皆様にはご指導・ご協力を頂き感謝申し上げます。

今日までの数多くの成果に敬意を表すると共に、協会と会員の皆様のより一層の発展を祈念いたします。

当協会の発行資料によりますと、加熱アスファルト混合物の製造データに継続的な減少傾向がみられる反面、四半期別の統計では、改正品確法の施行を契機により出荷量の平準化が進んでおります。これらの効果により、私たち業界の働き方改革がより一層進み、新技術の導入による効率化と担い手確保を推進していく所存です。

これからも、情勢変化に呼応し視野を広げ、安全意識を保持する中で協会の活動に積極的に参加してまいりたいと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



花菱建設株式会社 代表取締役社長 住友 哲也

静岡県アスファルト合材協会の50周年にあたり、心よりお祝いを申し上げます。

私は昭和50年に入社し、昭和60年より30年近く技術委員として協会活動に携わらせていただきました。その間の技術の発展は目覚ましいものがありましたが、一方でその頃に始まったプラントの定期検査やクロスチェックといった様々な取り組みは現在に至るまで続いており、そういった大きな変革点に立ち会えたことを大変喜ばしく思います。

今時代は大きな変革点に差し掛かっています。資材価格の高騰や出荷量の減少といった各社の採算性のみならず、人手不足解消に向けた待遇改善、働き方改革といった新たな課題が顕在化しています。そうした大きな課題に自社だけでなく、協会としても解決に向け着実に歩みを進めていく必要があります。私も微力ながら引き続き協会の発展に尽力してまいりますので、皆様とともに未来へ向けた歩みを進めていければ幸いです。



静和工業株式会社 代表取締役社長 望月 元一

このたび、静岡県アスファルト合材協会が創立50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。これまでに貴協会及び会員の皆様がアスファルト合材の品質確保と安定した供給に御尽力されてきました事、また地域環境にやさしい環境経営計画の達成に向けアスファルト合材生産事業における多大なる功績と弛まぬ努力に深く敬意を表します。

さて、我々道路建設産業を取り巻く環境も貴協会活動の経過と共に大きく変化しました。世界各地では地政学的問題によるエネルギー資源の供給不足から燃料及びアスファルト合材単価の高騰が続いています。そして、地球温暖化による河川浸水災害、地震災害、道路舗装の劣化問題が間髪を入れず我々を襲っています。また、少子高齢化問題は、官民ともに働き手が不足し、併せて労働賃金の高騰、建設事業予算の確保などの問題が山積です。

上記の様な変化に加え、今後も我々を取り巻く環境がますます厳しくなる事が予想される中、まさに貴協会の役割とするアスファルト合材の製造は、防災、減災、国土強靱化に向けた地域の安全、安心な社会になくてはならない重要な礎となる事と信じております。

更には多様化する自然環境や道路劣化問題にも対応できるアスファルト合材の品質を確保するクロスチェックの実施、官公庁や関係団体との意見交換会の実施、技術交流会や現場見学研修会への参画など時代に適合した品質技術の向上と技術の伝承を目的とした活動は継続的な合材産業の発展にも繋がっていると考えさせて頂いております。

そして、この様な時代だからこそ、合材、碎石、舗装3団体の、耐久性や性能要求を満足したアスファルト材料の供給、碎石材料の安定した品質の確保と供給、そして最適な施工技術の実施の三拍子が揃う団結が重要であり、発注機関である官公庁様には今まで同様に、ご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に成りますが、貴協会の益々の発展と会員各位様のご健勝を心より祈願申し上げ50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



大林道路株式会社 静岡アスファルト混合所 所長 大田 信治

この度は、静岡県アスファルト合材協会が創立 50 周年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。半世紀に渡り築き上げたものは、諸先輩方の功績の賜物だと思います。

この 10 年という月日は長いようで短く、思えば多くの災害がありました。私は九州地区からの異動で、初めて静岡に着任したのは 2016 年 4 月と熊本地震の発生直前でした。あれから 9 年と静岡アスファルト合材協会にも技術委員としての役割を入れると、多く皆様と色々な経験をさせていただきました。特に記憶に濃いのは中部横断道、新東名 6 車線化工事と大きな工事に携われたこと、クロスチェックや県・市役所職員への研修などが経験できたことは大きな財産です。最近では、物価の高騰や働き方改革が大きく影響する中での組織作りや仕事のやり方など、過去に捉われないこれからの苦労に直面しています。そんな中、他の地区から来た私が実感したのは、静岡アスファルト合材協会の横のつながりの強さです。静岡県では、多くのイベントを年間通して行っていますが、協会の技術委員で助け合い、且つ技術も高め合うこのような県は他にはない後世に引き継ぐべきものです。次の 60 年史を背負う若い世代に、上手くバトンタッチできるよう微力ながら協力できればと思います。



セイエン商事株式会社 木内アスコン藤枝工場 工場長 朝倉 雅好

静岡県アスファルト合材協会 創立 50 周年 誠におめでとうございます。

長きにわたり、調和のとれた協会を維持し、発展させて来られたのは、関係者皆様のご尽力の賜物で有り、心から敬意を表します。

協会の活動を通して会員相互の信頼関係が深まり、常日頃から多面に渡りご指導、ご協力を頂き、誠に有難う御座います。

毎日の業務に加えて、技術担当は技術委員会に参加し、総務委員会に於ける情報交換、資料調査委員会にも長く携わり、常に合材協会が身近な存在として業務を支えて頂いております。

特に、現在のプラント検査・クロスチェックの制度は、工場管理に於ける 1 年の集大成として、有効かつ効果的に実施されており、技術担当を中心とした同業者間の繋がりを一層深めていると感じます。

公共工事の減少により数量確保が厳しい中ですが、環境重視の総合的なリサイクル施設として、より地域に密着し社会貢献出来るよう運営して行きたいと思います。

合材協会の今後の益々のご発展を願い挨拶とさせていただきます。



TOREKI・NIPPO JV
東海瀝青工業株式会社 取締役 工場長 守屋 賢一

静岡県アスファルト合材協会が創立 50 周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。協会が誕生した昭和 50 年は、私が誕生した年であり、その頃から長い間、協会の発展やアスファルト合材の技術力向上に尽力をされてきたこと、驚きとともに深い敬意を表します。

さて、当合材プラントは昭和 38 年創立であり、62 周年を迎えることとなりました。その内の 50 年を協会の皆様に支えていただき感謝申し上げます。

現在、働き方改革や職場環境の変化より、社会インフラは価値観が変わり、過渡期を迎えていると感じております。これからも『人と技術で地域に広がる』プラントを目指し、地元静岡の発展とともに、日々精進して参ります。



磐田瀝青舗材共同企業体 工場長 松下 亘

静岡県アスファルト合材協会創立 50 周年おめでとうございます。

当工場は中村建設(株)合材工場として昭和 36 年 5 月より稼働を始め平成元年 1 月より中村建設(株)と福田道路(株)との共同企業体により運営をしています。この間協会には大変お世話になりましたことを御礼申し上げます。

私も平成 12 年より工場勤務となり品質管理の事は全くわからない状態でしたが、合材協会の技術委員会に出席することにより少しずつ品質管理や製造管理の事が解り自身のスキルアップにつながり、現在では西部支部の技術委員長を仰せつかっています。

このような活動を行っている協会は他県にはないと思われます。今後も静岡県の合材事業の発展に寄与できるよう微力ながら協力をしていきたいと考えております。

合材協会のますますの御発展を願ひまして挨拶と代えさせていただきます。



須山建設株式会社 取締役 内山 敏

静岡県アスファルト合材協会の創立 50 周年を迎え、心よりお祝い申し上げます。この節目の年を迎えるにあたり、これまでのご支援とご協力に感謝申し上げます。

私たちの業界は、地域のインフラ整備において重要な役割を果たしてきました。近年、社会情勢や経済状況は変化し続けており、特に感染症の影響や資材価格の高騰が業界に大きな影響を与えています。しかし、私たちはこれらの課題に立ち向かい、持続可能な発展を目指して努力を続けています。

環境への配慮が求められる中、リサイクル技術の向上や新素材の導入は、今後の重要なテーマです。私たち静岡県アスファルト合材協会は、これらの技術革新を推進し、地域の皆様と共によりよい社会を築くために努力してまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いするとともに、50 周年を機にさらなる発展を目指して邁進していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



西部合材リサイクルセンター協同組合 工場長 金田 博志

静岡県アスファルト合材協会創立50周年おめでとうございます。今日の協会活動が円滑に行われているのも、土台を築いていただいた諸先輩方のご尽力と、ご協力いただいた皆様のお力によるものと感謝しております。

私も早いものでプラント業務に関わり23年が経ちました。不慣れな品質管理業務に苦勞する中で、クロスチェックに代表されるプラント間の垣根を越えて品質向上・担い手育成を目指す協会の活動には助けられてきました。このような他プラントとの交流は他県では見られない事と聞いておりますので、今後も是非続けていっていただきたいと思います。

業界を取り巻く社会情勢は、厳しい時期にありますが、協会の一層の繁栄を祈念し、そのための協力も進めていきたいと思っています。



共同企業体浜松中央アスコン 工場長 五十嵐 克彦

この度、貴協会が創立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。長年にわたり、地域社会の発展とインフラ整備に多大なる貢献をされてきたことに深く敬意を表します。貴協会の皆様の努力と情熱が、地域の道路整備や安全性向上に大きく寄与していることは、私たちにとっても大きな誇りです。

貴協会の活動は、地域の発展に欠かせないものであり、その成果は多くの人々に恩恵をもたらしています。これからも変わらぬご活躍を期待するとともに、さらなる飛躍を遂げられ、ますますのご発展とご繁栄をお祈り申し上げます。

弊社は平成19年2月より、前田道路(株)と西遠コンクリート工業(株)による2社の共同企業体 浜松中央アスコン 前田工場となりました。これからも貴協会の皆様と地域社会の発展に寄与し続けたいと考えておりますので、変わらぬお付き合いの程よろしくお願い致します。



西遠アスコン共同企業体 所長 川上 恭司

この度は、当協会の創立50周年に立ち会えたことを大変光栄に思います。諸先輩方より舗装材製造を通じた社会貢献の精神を受け継ぎ、長年精力的に協会活動に携わってこられた皆様に心より敬意を表します。私事2002年赴任先の静岡で初めて合材製造に携わり、以降近県各所を巡って現在に至りますが、その当時「クロスチェック制度」をはじめとし

て他にはない活発な技術交流のなかで会員の仲間に随分助けいただきました。時は流れ、材料技術の向上や道路事情も新設から維持に変わり、現在はCO2削減や長寿命化が求められています。これらの変化に合わせて当協会活動が活発に継続されることを願うと同時に、今後も会員の皆様からの学びを大切にしながら舗装用製品を末永く供給し続けたいと思います。



中遠合材センター

中遠アスコン株式会社 代表取締役 矢口 喜章

この度、静岡県アスファルト合材協会が創立 50 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。50 年の永きにわたり協会活動にご尽力いただいた皆様に敬意を表します。

私は、今年度 4 月にこちらに異動してきました。静岡県のクロスチェック制度は、他社様の合材事業に対する取組や様々な工夫を拝見することが出来、勉強になることが多数あり、協会会員同士の交流も盛んで素晴らしいシステムだと感じております。今後も益々この制度が発展していくことを望みます。

さて当工場では、カーボンニュートラルへの取り組みが加速する世の中において、燃料を Co2 フリーのガスを使用しております。また、フォームド装置を設置し、中温化合材を出荷し、排出 CO2 の削減に取り組んでおります。

最後に、静岡県アスファルト合材協会と会員企業様の益々の発展をお祈りいたします。



天竜川砂利プラント協同組合 アスファルト合材工場 工場長 神谷 裕

静岡県アスファルト合材協会創立 50 周年を迎え誠にありがとうございます。

弊社は昭和 39 年に天竜川砂利プラント協同組合を設立、44 年に生コン工場・55 年に合材工場を開設し今日を迎えております。

すべての工場を天竜川の沿線に配置し、地域に密着した砂利・砂・生コン・アスファルト合材の製造販売を致しております

過ぎてしまえばあっという間ですが、そんな日々の中、流行り廃りではないですが、アスファルト合材・工法も変化、進化をして来ています。全社員一丸となって品質向上・技術の向上に努めてまいりますので、これからも皆様の御指導、御鞭撻よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが静岡県アスファルト合材協会がこの先、80 年、100 年と迎えられる事を祈念いたします。



浜岡アスコン共同企業体 工場長 丸尾 佳秀

静岡県アスファルト合材協会創立 50 周年おめでとうございます。

当工場も操業開始から 30 年を迎えることができました。

また破碎工場も合材工場の隣に令和 3 年 11 月に新設することができました。

私は、工場長としてまだ 2 年目ではありますが、品質管理担当のころから、静岡県アスファルト合材協会会員の皆様にはクロスチェックなどの協会活動を通じていろいろなご指導・ご協力をいただき大変感謝しております。

今後も、周辺の環境に配慮し品質向上と安全確保に努め、地域のみなさまから信頼される工場を目指したいと思っております。

最後になりますが、静岡県アスファルト合材協会の益々のご発展をお祈りいたします。



西遠コンクリート工業株式会社 代表取締役社長 内山 淳

静岡県アスファルト合材協会創立 50 周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

私は土木の現場監督と営業を数年経験した後、平成 11 年より異動で当社へ従事しました。翌年の平成 12 年には西部支部の AS 合材出荷量は 9 万 7 千 t とピークを記録し、寝る暇なく働いた事は今では良い思い出です。時代は流れ、働き方改革が進み、今後も AI の

活用等で課題の労働力不足を補うべく、更なる改善に向け進化していかなければいけません。また我々には CO2 削減という課題もあり、化石燃料の削減、クリーン・再生可能エネルギーの積極的採用や中温化技術の活用など、目標達成に向けて真摯に取り組み、循環型社会の形成、持続可能な社会の確立は必須であり、私も残る社会人人生を微力ながら尽力して参る所存です。

今後も皆様方より更なるご厚情を賜りますようお願い申し上げますと同時に、本周年史の編集にご尽力された編集委員の皆様方にも感謝を申し上げ、結びとさせていただきます。



共同企業体掛川アスコン 工場長 重松 和徳

静岡県アスファルト合材協会設立 50 周年おめでとうございます。

当プラントは、前田道路(株)、(株)川島組との企業体として平成 16 年 2 月より、掛川市上内田に創業し、平成 24 年 10 月(株)鈴木組、令和 5 年 4 月西遠コンクリート工業(株)が企業体に加わりました。当プラントは掛川市及び静岡県西部地区を営業エリアとして活動しております。又、周辺にはお茶畑に囲まれており、環境保全を第一に日々取り組んでいます。今年度には中温化設備の設置も予定しており、CO2 削減にも貢献できる見込みです。

今後も地域環境保全と良い品質が提供できるよう職員一同より一層精進して参ります。



共同企業体協和アスコン 工場長 五十嵐 克彦

この度、貴協会が創立 50 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。長年にわたり、地域社会の発展とインフラ整備に多大なる貢献をされてきたことに深く敬意を表します。貴協会の皆様の努力と情熱が、地域の道路整備や安全性向上に大きく寄与していることは、私たちにとっても大きな誇りです。

貴協会の活動は、地域の発展に欠かせないものであり、その成果は多くの人々に恩恵をもたらしています。これからも変わらぬご活躍を期待するとともに、さらなる飛躍を遂げられ、ますますのご発展とご繁栄をお祈り申し上げます。

弊社は平成 28 年 7 月より、協和建設協業組合から前田道路(株)・西遠コンクリート工業(株)が新たに加わり 3 社の 共同企業体 協和アスコン となりました。これからも貴協会の皆様と地域社会の発展に寄与

し続けたいと考えておりますので、変わらぬお付き合いの程よろしくお願い致します。

貴協会の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



湖西アスコン共同企業体 工場長 児玉 速人

静岡アスファルト合材協会創立 50 周年に際しまして、まずは一言祝辞を申し上げます。
50 年という月日を振り返りますと、時は昭和、三木内閣の頃だったと記憶しております。
それから平成、令和とまさに激動の時代を駆け抜けてこられたことに感服いたします。

50 年前、当時小学生だった私の周りは道路の新設工事が盛んに行われていたように思います。
砂利道だった道に歩道が付き、アスファルトで舗装されていく現場をいくつも目にしました。街の
景色が変わっていき、どんどん便利になってきました。これからの舗装業界は逆風といってもいいくらい
厳しい環境かと推測しますが、仕事はなくなることは未来永劫無いと思います。次世代にむけて益々技術
の研鑽、製品の開発や業界の発展に寄与するべく、貴協会の益々の発展を祈念します。
また湖西アスコンとしても微力ながらご支援申し上げる所存ですので今後ともよろしくお願い申し上げます。



神谷建設株式会社 取締役工事部長 藤森 真次

創立 50 周年を迎えられました事を心よりお喜び申し上げます。

協会の活動には、歴代会員のご指導を仰ぎ、数々の場面で会員の皆様には
ご指導・ご協力を頂き感謝申し上げます。

今日までの数多くの成果に敬意を表すると共に、協会と会員の皆様のより一層の発展を祈
念いたします。

当協会の発行資料によりますと、加熱アスファルト混合物の製造データに継続的な減少傾向がみられる
反面、四半期別の統計では、改正品確法の施行を契機により出荷量の平準化が進んでおります。これらの
効果により、私たち業界の働き方改革がより一層進み、新技術の導入による効率化と担い手確保を推進し
ていく所存です。

これからも、情勢変化に呼应し視野を広げ、安全意識を保持する中で協会の活動に積極的に参加してま
いりたいと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



株式会社中村組 土木部長 山本 茂

創立 50 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。これは歴代の会長・役員はじめ会員の皆様のご活躍の賜物であり、深く敬意を表します。そして日頃より協会の皆様方にはご指導・ご協力をいただき感謝いたします。

我が社はこれからも協会の活動や様々な行事への参加を通して、会員相互の信頼を深め、お互いに連携し合いながら取り組んでいきたいと思っております。

これまでの歴史と活動を礎として、協会の更なる発展を祈念いたしますと共に、協会の一員として、日々着実な業務の遂行に励み、会員各社の皆様ともども協会の活動に積極的に参加していきたいと存じますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

年史 ～50年のあゆみ～

= 静岡県アスファルト合材年表 =

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
昭和50年 (1975)	6 10	静岡県アスファルト合材協会設立 初代会長 齋藤恒三郎氏（東海瀝青工業）就任 会員数37 「日合連」入会申し込み 県土木部よりプラントの実態調査依頼あり
昭和51年 (1976)	12	県土木部に加熱安定処理工法について陳情
昭和52年 (1977)		加熱安定処理工法試験施工実施
昭和53年 (1978)	12	碎石協会との懇談会 アスファルト合材の水平積み運動実施
昭和54年 (1979)	4	アスファルト合材の積算方法が、積み上げ方式から生アス方式に変更となる 第2次石油ショック（イラン問題）油類値上がり
昭和55年 (1980)	5	二代会長 平松金一氏（東海瀝青工業・花菱合成）就任
昭和56年 (1981)	1	アスファルト廃材のリサイクルについての研究 煤塵の排出基準強化される
昭和57年 (1982)	8 12	建設資材問題研究会にて資材の調査研究 都市型災害（騒音・振動）防止調査（東・中・西部）
昭和58年 (1983)	1	静岡県建設関連団体暴力追放連絡協議会設立大会参加
昭和59年 (1984)	9 3	日合連再生合材委員会（再生問題について議論） 県設計検査課、道路維持課との技術懇談会
昭和60年 (1985)	7 3	(社)日本アスファルト合材協会設立 静岡県アスファルト合材協会参加 リサイクル部会技術委員会
昭和61年 (1986)	4	加熱アスファルト合材の取り扱い基準の説明会（県設計検査課、道路維持課）
昭和62年 (1987)	3	日合協独禁法の研究会（千石弁護士、西村弁護士） 合材協会リサイクル部会開催
昭和63年 (1988)	11 1	技術委員会、リサイクル部会合同会議 県設計検査課、道路維持課とのプラント設備に関する懇談会
平成元年 (1989)	6 2	県設計検査課・道路維持課とアスファルト混合物の試験の扱いについての懇談会 県道路維持課と再生合材使用地域についての懇談会
平成2年 (1990)	9	県道路維持課との再生合材他についての技術懇談会
平成3年 (1991)	6	日合協舗装廃材再生利用技術指針改訂についての懇談会（建設省）

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成 3 年 (1991)	9	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会 ・アスファルト舗装廃材の不法投棄対策 ・再生合材の試験練り ・ホイトラッキング試験について
平成 4 年 (1992)	8	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会 ・再生クラッシャーランの使用について
	11	ホイトラッキング試験講習会
平成 5 年 (1993)	5～6	プラント検査講習会（東部、中部、西部）
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）
	8	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会 ・間接加熱方式の再生アスファルトプラントについて他
	10	技術研修会開催 （県道路維持課：近松舗装係長、日本舗道：羽山孝義氏、大有建設：吉兼 亨氏）
	12	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会 ・改質合材の取り扱いについて他
平成 6 年 (1994)	4	正副会長会議 ・道路交通法改正について他
	5	三代会長 岡本彦一氏（須山建設）就任
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）
	10	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会 ・プラント検査の実施状況について他
	11	技術委員会現地視察 ・千葉県における「事前審査制度」の実施状況
平成 7 年 (1995)	7	日合協東海地区アスファルト混合製造管理者講習会（於 浜松市）
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）
	1	技術委員会 ・塩素系溶剤の規制について他
平成 8 年 (1996)	4	平松金一氏（常任相談役、二代会長）勲五等瑞宝章叙勲
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）
	9	常任幹事、技術委員会 ・排水性合材に関する問題について他
	9	会長、常任幹事、技術委員会 ・千葉県事前審査制度の視察
	1	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会 ・排水性合材の取り扱いについて他
平成 9 年 (1997)	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）
	3	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会 ・アスファルト合材の品質管理について他

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成10年 (1998)	8	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会 ・アスファルト合材の品質管理について他
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）
	9	クロスチェック試行
	10	技術委員会 ・ISO取得アスファルトプラントの見学会（於 松崎町）
	11	県道路維持課との技術懇談会 ・クロスチェックについて他）
	3	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会 ・品質管理と検査について他
平成11年 (1999)	5	中間処理工場における産業廃棄物の適正処理についての講習会 講師：日本舗道 藤生晴彦氏
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）
	9	第1回クロスチェック施行
	10	技術委員会 ・クロスチェックまとめについて他）
平成12年 (2000)	6	第1回日合協東海地区技術委員長会議開催（於 岐阜県下呂町） ・各県における技術の諸問題について
	7	県道路保全室との技術懇談会 ・アスファルト合材の品質管理について
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路保全室、技術指導室、検査監）
	9	第2回クロスチェック施行
	11	環境問題に関する講演会 講師：富士常葉大学 松田美夜子氏、県廃棄物対策室 曾我俊幸氏
	2	県道路保全室との技術懇談会 ・県、国土交通省の仕様書について
平成13年 (2001)	4	環境研修会 「中間処理場における産業廃棄物の適正処理」藤生晴彦氏(日本舗道)62名参加
	5	第2回日合協東海地区技術委員長会議（於 浜松市） ・性能規定について、各県現状報告他
	5	県道路保全室との意見交換会 ・プラント管理に関する諸問題について（正副会長、技術委員長、技術委員）
	6	日合協「下請法、独占禁止法、産廃の適正処理」についての講習会（於 東京鐵鋼会館）
	6	県土木職員研修会（於 東海瀝青工業プラント） ・アスファルト合材の製造品質管理について他に講師派遣
	7	第1回技術委員会 ・事前審査制度について、クロスチェックについて他

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成13年 (2001)	7	事前審査の説明会 国土交通省、(財)道路保全技術センター、県道路保全室、正副会長、技術委員長、技術委員
	7	第2回技術委員会 ・仕様書改訂について他
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路保全室、技術指導室、検査監）
	8	第3回技術委員会 ・クロスチェックの実施について他
	9	第3回クロスチェック施行
	10	アスファルト混合物自主品質管理委員会開催
	11	第4回技術委員会・研修会（於 下田市） ・クロスチェック総括、プラントの管理運営について
	1	日合協「職場のメンタルヘルス・自主品質管理」についての講習会（於 東京鐵鋼会館）
平成14年 (2002)	4	第1回技術委員会 ・県の新仕様書について
	5	第1回調査委員会 ・日合協合材工場調査取りまとめ
	5	県土木職員研修会に講師派遣（於 東海瀝青工業プラント） ・アスファルト合材の製造品質管理について他
	6	日合協講習会 ・製造管理、品質管理と事前審査、等
	6	日合協 合同安全パトロール
	6	第2回資料調査委員会 ・数量処理法の改善について
	7	県土木との技術懇談会 ・新仕様書の実施等について（正副会長、技術委員長、技術委員）
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路保全室、技術指導室、検査監）
	8	技術委員会支部代表者会議 ・平成14年支部間クロスチェックの実施について
	9	日合協講習会 ・産業廃棄物の実務とQ & A
	9	第3回日合協東海地区技術委員長会議（於 愛知県蒲郡市） ・各県の現状報告及び諸問題について
	9	第4回クロスチェック施行
	10	リデュース、リユース、リサイクル推進功労表彰
	11～3	静岡県アスファルト合材協会30周年記念誌編集委員会開催（平成14年延3回開催）
	11	第1回技術委員会 ・平成14年クロスチェックの総括について

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成14年 (2002)	11	第5回技術委員会研修会（於 南伊豆町） ・平成14年クロスチェックの結果の検討とまとめについて他
	12	静岡土木事務所職員舗装技術研修会に講師派遣（於 東海瀝青工業プラント）
	12	アスファルト混合物自主品質管理委員会開催
	3	第3回資料調査委員会
平成15年 (2003)	4～ 翌3月	静岡県アスファルト合材協会30周年記念誌編集委員会開催（平成15年延14回開催）
	5	第1回調査委員会 ・日合協合材工場調査取りまとめ
	5	県土木職員研修会に講師派遣（於 東海瀝青工業プラント） ・アスファルト合材の製造品質管理について他
	6	第4回日合協東海地区技術委員長会議 ・各県の現状報告及び諸問題について（於 三重県伊勢市）
	6	日合協 合同安全パトロール
	7	静岡県土木部との技術懇談会 ・性能規定発注工事、土木共通仕様書、検査技術基準等について
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路保全室、技術指導室、検査監）
	7	県土木との技術懇談会 ・新仕様書の実施等について（正副会長、技術委員長、技術委員）
	7	第2回資料調査委員会 ・アスファルト合材資料集計方法の検討について
	9	静岡県アスファルト合材協会30周年記念座談会（行政業界団体長）
	9	第5回クロスチェック施行
	11	第1回技術委員会 ・平成15年クロスチェックの結果について
	11	技術研修会 ・「性能規定工事について」 県道路保全室森田舗装係長・日合協 内山技術総務部会長
	11	第5回技術委員会・研修会（於 松崎町） ・平成15年クロスチェック結果の検討とまとめについて他
	12	アスファルト混合物自主品質管理委員会開催 アスファルト廃材ストック量明示方法打合せ会議
	1	静岡県アスファルト合材協会30周年記念表彰者選定委員会
	3	建設廃材（アスガラ）受入れ調査打合せ会議
	3	再生改質合材技術懇談会 （県道路保全室 森田舗装係長・日合協 内山技術総務部会長）
	3	「アスファルトプラントの自主品質管理」平成15年クロスチェック報告冊子刊行

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成16年 (2004)	4	静岡県アスファルト合材協会30周年記念誌編集委員会 ・ 式典打合せ（延 3 回実施）
	5	資料調査委員会 ・ 合材工場の調査表について
	6	静岡県アスファルト合材協会設立30周年式典（於 クーポール会館）
	6	県土木職員研修会に講師派遣（於 東海瀝青工業プラント） ・ アスファルト合材の製造品質管理について他
	7	静岡県土木部との技術懇談会
	8	技術委員会
	9	技術委員会
	9	第 1 回理事会 ・ A S プラント検査等に係る緊急課題について ・ 技術委員の派遣について ・ プラント検査費増額について
	9	第 6 回クロスチェック施行
	11	技術委員会 ・ クロスチェック試験結果取り纏め、全国技術委員長会議の報告
	12	役員会 ・ クロスチェックについて、特別プラント検査について、特別骨材と施設検査について
	12	技術委員長会議
	2	溶融スラグ入り A S 混合物の試作の説明会
	2	技術委員長会議 ・ 決算、予算について
	3	役員会 ・ 決算、予算について
	3	平成16年度クロスチェック試験の検討結果について
平成17年 (2005)	4	常任幹事、技術委員長合同会議
	5	技術委員長会議
	5	資料調査委員会 ・ 合材工場の調査表について
	6	県土木職員研修会へ講師派遣（於 総合管理公社用宗研修室）
	6	通常総会
	8	静岡県土木部との技術懇談会
	9	技術委員会
	9	第 7 回クロスチェック施行
	11	技術委員会研修会 ・ 骨材実態調査、プラント検査、クロスチェック試料採取、工程審査 総括

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成17年 (2005)	12	役員会 ・ A S 合材を取り巻く環境 ・クロスチェックの状況について
	3	技術委員長会議 ・ 決算、予算について
	3	役員会 ・ 決算、予算について
平成18年 (2006)	4	第 1 回技術委員会
	4	三団体技術者協議会開催
	4	資料調査委員会 ・ 合材工場の調査表について
	6	第 1 回役員及び常任幹事合同会議
	6	通常総会
	6	県土木職員研修会へ講師派遣（於 T O R E K I ・ N I P P O J V）
	6	三団体技術者協議会交流会（砕石編：東部、中部、西部各支部で開催）
	8	県・静岡市・浜松市との技術懇談会
	9	第 2 回技術委員会
	10	第 8 回クロスチェック施行
	11	技術委員会研修会 ・ プラント検査総括 ・クロスチェック中間報告 ・三団体協議会用資料提示
	12	第 2 回役員会
	12	アスファルト合材自主品質管理委員会開催
	2	常任幹事会
	3	常任幹事会
	3	第 3 回役員会 ・ 決算、予算について
平成19年 (2007)	4	三団体技術者協議会
	4	資料調査委員会 ・ 合材工場の調査表について
	5	第 1 回常任幹事、各委員連絡協議会
	5	第 1 回正副技術委員長会議
	6	第 1 回役員及び常任幹事合同会議
	6	通常総会
	6	県土木職員研修会へ講師派遣（於 T O R E K I ・ N I P P O J V） 三団体技術者協議会交流会（合材編：東部、中部・西部各支部で開催）
	7	第 2 回正副技術委員長会議 ・ 三団体技術者協議会交流会を終えて ・東海地区連絡協議会技術委員長会議の提案議題 ・ 県との技術懇談会 ・ A S プラントの定期点検検査 ・溶融スラグ利用について

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成19年 (2007)	9	県土木関係職員研修 参加者55名
	9	第8回日合協東海地区技術委員長会議開催（於 三重県志摩郡磯辺町）
	10	第9回クロスチェック施行
	11	技術委員会研修会 ・プラント検査総括、クロスチェック中間報告
	11	静岡県、静岡市、浜松市との技術懇談会
	12	第2回役員及び常任幹事合同会議
	1、3 3	常任幹事会 第3回役員会 ・決算、予算について
平成20年 (2008)	4	溶融スラグ委員会
	4	三団体技術者協議会
	4	資料調査委員会 ・合材工場の調査表について
	5	第1回技術委員会 ・平成20年度事業計画
	5	三団体技術者協議会交流会（舗装編）
	6	第1回役員会
	6	通常総会
	6	県土木職員研修会へ講師派遣（於 T O R E K I ・ N I P P O J V）
	6	技術講習会 ・溶融スラグの現状と今後の課題、日合協の研究結果、県の道路財源について
	8～9	プラント定期点検検査
	9	第2回溶融スラグ委員会
	9	第9回日合協東海地区技術委員長会議開催（於 岐阜県下呂市）
	10	技術委員会 ・プラント検査総括、クロスチェックについて
	10～12	第10回クロスチェック施行
	11	技術委員会研修会 ・プラント検査総括、クロスチェック中間報告
	12	常任幹事会
	2	常任幹事会
	3	第3回役員会 ・決算、予算について
平成21年 (2009)	4	三団体技術者協議会
	4	県道路保全室訪問（技術委員会） ・今年度の検査、政令市の対応について

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成21年 (2009)	4	資料調査委員会 ・合材工場の調査表について
	5	第1回技術委員会 ・平成21年度事業計画
	6	第1回役員会
	6	通常総会
	6	三団体技術者協議会交流会 (砕石編：中部採石工業㈱浜北工場・二葉建設㈱東山工場で開催)
	6	第2回技術委員会
	6	県土木職員研修会へ講師派遣 (於 TOREKI・NIPPO JV)
	7	浜松市 溶融スラグ打合せ会
	7	常任幹事会
	8	浜松市職員 アスファルト合材研修会 (於 西部合材リサイクルセンター)
	9	第10回日合協東海地区技術委員長会議開催 (於 浜松市)
	9～11	プラント定期点検検査
	9	常任幹事会
	10	第1回溶融スラグ委員会 ・静岡市、島田市、浜松市の現状と動向
	10～11	第11回クロスチェック施行
	11	技術委員会研修会 ・プラント検査総括 ・クロスチェック中間報告
	12	自主品質管理委員会開催
	2	正副技術委員長会議 ・三団体技術者交流会について ・クロスチェック冊子について
	2	常任幹事会
	3	常任幹事会
	3	第3回役員会 ・決算、予算について
平成22年 (2010)	4	正副技術委員長会議
	5	正副技術委員長会議
	6	第1回役員会
	6	通常総会
	6	県土木職員研修会へ講師派遣 (於 TOREKI・NIPPO JV)
	7	三団体技術者交流会 (合材編：浜松市西部清掃工場) ・溶融スラグについて講習 (参加者180名)
	8	プラント定期点検検査
	9	浜松市職員 アスファルト合材研修会 (於 西部合材リサイクルセンター)

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成22年 (2010)	9	第11回日合協東海地区技術委員長会議開催（於 愛知県犬山市）
	10	常任幹事会
	10～11	第12回クロスチェック施行
	11	技術委員会研修会 ・プラント検査総括 ・クロスチェック中間報告
	12	第2回役員会
	1	資料調査委員会 ・合材生産報告システムについて
	1	自主品質管理委員会開催 (静岡県、静岡市、浜松市、合材協会参加)
平成23年 (2011)	4	第1回正副技術委員長会議
	4	第1回役員会
	6	第2回正副技術委員長会議
	6	県土木職員研修会へ講師派遣（於 TOREKI・NIPPO JV）
	6	第2回役員会
	6	通常総会
	9	第12回日合協東海地区技術委員長会議開催（於 三重県志摩郡磯辺町）
	9～10	プラント定期点検検査実施
	9	三団体技術者協議会交流会 (舗装編：国交省 尾中氏、NPO都市環境研究会 三浦氏による講習会)
	10	浜松市職員 アスファルト合材研修会（於 西部合材リサイクルセンター）
	10	正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査 ・クロスチェックについて
	10～12	第13回クロスチェック施行
	12	技術委員会研修会 ・プラント検査総括 ・クロスチェック中間報告
	12	第3回役員会
	1	技術委員会技術研修会 (日合協講師、県保全課 戸塚氏による講習)
	2	自主品質管理委員会開催
平成24年 (2012)	4	四代会長 田中 豊氏（丸三工業）就任
	4	三代会長 岡本彦一氏（須山建設）は名誉会長に就任 正副会長・常任幹事会
	4	第1回正副技術委員長会議 新旧顔合わせ
	5	第2回正副技術委員長会議
	5	県土木職員研修会へ講師派遣（於 TOREKI・NIPPO JV）
	6	第1回役員会

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成24年 (2012)	6	通常総会
	6	三団体技術者協議会交流会 (砕石編：伊豆市コマツテクノセンターで開催) 合材協会29名参加
	7	正副会長、常任幹事会
	7	正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査 ・クロスチェックについて
	9	第13回日合協東海地区技術委員長会議開催 (於 岐阜県下呂市)
	9～10	プラント定期点検検査実施
	10	浜松市職員 アスファルト合材研修会 (於 西部合材リサイクルセンター)
	10～11	第14回クロスチェック施行
	11	技術委員会研修会 ・プラント検査総括 ・クロスチェック中間報告
	12	第2回役員会
	1	自主品質管理委員会開催
	1	アスファルト舗装技術研修会開催 (道建協の講師による事前審査制度についての概要説明)
平成25年 (2013)	4	第1回正副技術委員長会議 ・活動計画 ・県土木職員研修について
	4	正副会長・常任幹事会
	5	第2回正副技術委員長会議
	5	県土木職員研修会へ講師派遣 (於 TOREKI・NIPPON JV)
	6	第1回役員会
	6	通常総会
	7	静岡県と施工パッケージ型積算導入についての懇談会
	7	三団体技術者協議会交流会 (合材編：日合協、日工(株)の講師による講習) 参加者174名
	8	正副会長・常任幹事・技術委員長会議 ・40周年記念事業について
	8	第3回正副技術委員長会議
	9	第14回日合協東海地区技術委員長会議開催 (静岡県主催：於 伊豆の国市)
	9～10	プラント定期点検検査実施
	11～12	第15回クロスチェック施行
	12	第2回役員会
	1	第4回正副技術委員長会議
	2	自主品質管理委員会開催
	3	正副会長・常任幹事・技術委員長会議

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成26年 (2014)	4	第1回正副技術委員長会議 ・活動計画、県土木職員研修について他
	5	県土木職員研修会へ講師派遣（於 TOREKI・NIPPON J V）
	6	第1回役員会
	6	通常総会
	7	日合協安全パトロール実施 ・西部合材、浜松中央アスコン前田工場の2工場
	8	福用産業(株)倒産に関する打合せ ・関係合材工場間での意見調整 ・道路保全課を交えての善後策の検討
	9	第15回日合協東海地区技術委員長会議開催（於 愛知県犬山市）
	9～10	プラント定期点検検査実施
	10	三団体技術者協議会交流会 （舗装編：新東名新城工区の見学）合材協会22名参加
	11	浜松市職員 アスファルト合材研修会（於 西部合材リサイクルセンター）
	11～12	第16回クロスチェック施行
	1	自主品質管理委員会開催
	1	アスファルト舗装技術研修会開催 ・日合協の講師によるアスファルト合材工場ガイドブックの解説 ・品質管理データ処理の統計的手法についての解説
平成27年 (2015)	4	第1回正副会長、常任幹事会（於 静岡県建設業会館）
	4	会計監査（於 静岡県建設業会館）
	4	第1回正副技術委員長会議（於 清水区由比西山） ・平成27年度活動計画について ・静岡県土木関係職員研修会講師派遣について
	5	静岡県土木関係職員研修会講師派遣（於 静岡県技術監理センター）
	5	資料調査委員会（於 静岡県建設業会館）
	5	正副会長・常任幹事・技術委員長会議（於 静岡県建設業会館）
	6	第1回役員会（於 クーポール会館） ・総会に上程する議案について
	6	平成27年度40周年記念総会（於 クーポール会館） ・平成26年度事業報告ならびに収支決算報告の承認について ・平成27年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)について
	6	創立40周年記念式典（於 クーポール会館） ・功労者表彰 ・創立40周年の経過報告 ・創立40周年記念誌配布
	6	三団体技術者協議会交流会（於 コマツテクノセンター） ・石灰安定処理材製造の見学
	8	正副会長、常任幹事、技術委員長会議（於 グランドホテル中島屋）
	9	第16回日合協東海地区連絡協議会技術委員長会議（於 三重県志摩市）

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成27年 (2015)	9	正副会長、常任幹事、技術委員長、資料委員長会議（於 静岡県建設業会館）
	10	日合協 第1回技術委員会ならびに全国技術委員長会議（於 東京八重洲カンファレンスセンター）
	11	日合協 平成27年度資料・広報委員会（於 東京建設会館） 日合協 平成27年度労働安全委員会（於 東京建設会館）
	12	第2回役員会（於 クーポール会館） ・平成27年度の状況について
	1	静岡県建設産業団体連合会 新年賀詞交換会（於 グランディエールブクトーカイ）
	2	自主品質管理委員会（於 静岡県建設業会館） ・平成27年度クロスチェック試験結果及びその検討
	3	正副会長、常任幹事、技術委員長、資料調査委員長会議（於 クーポール会館） ・静岡県への陳情について ・平成27年度決算見込み及び平成28年度予算(案)について ・平成28年度役員改選について
	3	資料調査委員会（於 静岡県建設業会館）
	4	会計監査（於 静岡県建設業会館）
	5	日合協 第5回定時総会（於 A P 東京八重洲）
平成28年 (2016)	6	第1回役員会（於 クーポール会館） ・総会に上程する議案について 通常総会（於 クーポール会館） ・平成27年度事業報告並びに収支決算報告の承認について ・平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
		第1回正副技術委員長会議（於 TOREKI・NIPPON J V） ・平成28年度活動計画について ・3年目研修講師派遣について ・三団体技術者協議会技術交流会について
	7	東海四県アスファルト合材協会意見交換会（於 名古屋ガーデンパレス） ・アスファルトの動向について ・合材市況の動向について
	7	三団体技術者協議会技術交流会（於 静岡商工会議所）
	9	日合協 東海地区連絡協議会技術委員長会議（於 岐阜県下呂市）
	9	日合協 平成28年度理事会（於 東京建設会館）
	10	日合協 平成28年度第1回技術委員会（於 東京八重洲カンファレンスセンター）
	11	日合協 平成28年度労働安全委員会（於 東京建設会館）
	12	日合協 平成28年度第1回業務企画委員会（於 東京建設会館）
	12	第2回役員会（於 クーポール会館） ・平成28年度の状況について
	1	静岡県建設産業団体連合会 新年賀詞交歓会（於 グランディエールブクトーカイ）
	2	自主品質管理委員会（於 静岡県建設業会館） ・平成28年度クロスチェック試験結果報告ならびに検討
	3	日合協 平成28年度第2回業務企画委員会（於 東京建設会館）

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成29年 (2017)	4	会計監査
	4	正副会長、常任幹事県に新年度挨拶
	4	正副会長、常任幹事、技術委員長、資料調査委員長会議 ・平成29年度の運営について
	4	日合協 平成29年度第1回理事会
	4	第1回正副技術委員会 ・クロスチェック冊子配布について ・平成29年度活動計画について ・平成29年度採用3年目研修会について ・東海四県技術委員長会議について
	5	資料調査委員会
	6	第1回役員会 ・総会に上程する議案について
	6	通常総会 ・平成28年度事業報告並びに収支決算報告の承認について ・平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
	6	静岡県土木関係職員3年目研修講師として参加 ・アスファルト材料について
	8	第2回正副技術委員長会議 ・東海四県技術委員長会議について ・プラント定期点検検査について ・クロスチェックについて
	9	三団体技術者協議会現場見学会（舗装協会主催） ・1号藁科トンネル舗装工事
	9	東海地区連絡協議会技術委員長会議
	10	日合協 平成29年度第1回技術委員会
	11	クロスチェック書類審査、試料採取 ・管理書類等帳票類の審査 ・代表混合物の試料採取（マーシャル供試体、As抽出試験）
	11	日合協 平成29年度労働安全委員会
	11	アスファルト舗装に関する技術研修会 ・圧裂試験、抽出試験に使用する溶剤について
	12	日合協 平成29年度第1回業務企画委員会
	12	第2回役員会 ・平成29年度の諸課題について ・活動報告、中間決算報告、出荷状況について
	12	日合協 平成29年度第5回理事会
	2	自主品質管理委員会 ・平成29年度クロスチェック試験結果報告及びその検討
	3	日合協 平成29年度第2回業務企画委員会
	3	臨時技術委員長会 ・平成29年度クロスチェック冊子最終校正（内容確認）

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成29年 (2017)		・技術委員会に関する今後の人事（人選）について
平成30年 (2018)	4	第1回役員会 ・平成29年度の総括 ・平成30年度の予定（総会含めて） ・日合協からの報告
	4	第1回正副技術委員長会議 ・クロスチェック冊子配布について ・平成30年度活動計画について ・平成30年度採用3年目研修会について
	4	日合協 平成30年度第1回理事会
	4	会計監査
	5	資料調査委員会 ・調査表取り纏め
	5	アスファルト舗装に関する技術研修会 ・SDS、化学物質のリスクアセスメントとアスファルトの表示 ・通知義務対象物質化について 講師:加納孝志氏
	6	第2回役員会 ・総会に上程する議案について
	6	平成30年度通常総会 ・平成29年度事業報告並びに収支決算報告の承認について ・平成30年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について ・役員改選について
	6	静岡県土木関係職員3年目研修講師
	8	第2回正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査について ・東海四県技術委員長会議について ・クロスチェックについて
	9	東海地区連絡協議会技術委員長会議（於 愛知県犬山市）
	9	日合協 平成30年度第3回理事会及び独禁法研究部会（講演会）
	10	日合協 平成30年度第1回全国技術委員長会議
	11	三団体技術者協議会現場見学会 ・防潮堤整備工事に使用する砕石採取工場の見学 ・浜松市沿岸域防潮堤整備工事の見学
	11	静岡県建設産業団体連合会 静岡県建設産業の主張2018
	11	クロスチェック立合い試験 ・品質確認試験 ・マーシャル安定度試験、As抽出及び骨材ふるい分け試験
	11	日合協 平成30年度第3回業務企画委員会
	12	第3回役員会 ・平成30年度4月～11月の総括

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
平成30年 (2018)	1	自主品質管理委員会 ・クロスチェック審査結果及び試験総括報告、承認
	3	日合協 平成30年度第2回業務企画委員会
平成31年 (2019)	4	第1回役員会 ・平成31年度の予定について
	4	会計監査
令和元年 (2019)	4	日合協 平成31年度(2019年度)第1回理事会
	4	第1回正副技術委員長会議 ・クロスチェック冊子配布について ・平成31年度(令和元年度)年度活動計画について ・平成31年度(令和元年度)採用3年目研修会について
	5	資料調査委員会 ・調査表取り纏め
	6	第2回役員会 ・総会に上程する議案について
	6	平成31年度(令和元年度)通常総会 ・平成30年度事業報告並びに収支決算報告の承認について ・平成31年度(令和元年度)事業計画(案)並びに収支予算(案)について
	6	静岡県土木関係職員3年目研修会【講師】 ・アスファルト材料について
	7	第2回正副技術委員長会議 ・三団体技術者交流会について ・プラント定期点検検査について
	8	第3回正副技術委員長会議 ・三団体技術者交流会最終打ち合わせ
	8	令和元年度三団体技術者協議会技術交流会 ・舗装の長寿命化について ・混合物に関する試験について
	9	アスファルトプラント定期点検検査 ・計量器、温度計、As吐出量、常温骨材流量の各検査
	9	日合協 2019年度連絡協議会事務担当者会議
	9	東海地区連絡協議会 技術委員長会議(於 三重県賢島)
	10	日合協 2019年度第1回全国技術委員長会議(於 愛知県名古屋市)
	10	第4回正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査総括 ・全国技術委員長会議報告 ・クロスチェックの方針と冊子作成について
	11~12	混合物の自主品質管理試験[クロスチェック審査] ・工場作業標準及び品質管理書類の審査 ・混合物の試料採取、供試体の作製 ・工場内設備、中間処理設備等の確認 ・混合物の性状確認及び試験結果の比較
	11	静岡県建設産業団体連合会 静岡県建設産業セミナー2019

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
令和元年 (2019)	12	日合協 2019年度第1回業務企画委員会
	12	第3回役員会 ・令和元年度の諸課題について
	12	日合協 2019年度第4回理事会
	1	自主品質管理委員会 ・令和元年度クロスチェック試験結果報告及びその検討
	3	日合協 2019年度第2回業務企画委員会
令和2年 (2020)	4	会長、常任幹事長打ち合わせ ・令和2年度の総会について
	4	会計監査
	7	第1回正副技術委員長会議 ・令和2年度活動計画について ・令和2年度採用3年目研修会について ・プラント定期点検検査について
	8	第1回静岡県土木技術職員採用3年目研修会【講師】（於 静岡県建設技術監理センター） ・アスファルト材料について
	8	第2回正副技術委員長会議 ・静岡県職員採用3年目研修について ・プラント定期点検検査の対応について ・クロスチェックの審査方法等について
	8	第2回静岡県土木技術職員採用3年目研修会【講師】（於 静岡県建設技術監理センター） ・アスファルト材料について
	9	アスファルトプラント定期点検検査 ・計量器、温度計、As吐出量、常温骨材流量の各検査
	9	静岡県建設産業団体連合会 建設産業構造改善推進のつどい
	10	第1回資料調査委員会 ・今後の活動予定について
	10	第3回正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査の実施報告等 ・クロスチェック審査の審査方法等について
	11	混合物の自主品質管理試験〔クロスチェック審査〕 ・工場作業標準及び品質管理書類の審査 ・混合物の試料採取、供試体の作製 ・工場内設備、中間処理設備等の確認
	12	混合物の自主品質管理試験〔クロスチェック審査〕 ・審査時にサンプリングした混合物の性状確認（自社と他社の試験結果の比較）
	1	自主品質管理委員会 ・クロスチェック審査結果報告及び次年度の検討と課題
令和3年 (2021)	4	会計監査
	4	第1回正副技術委員長会議 ・令和3年度活動計画について ・各支部の懸案事項について

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
令和3年 (2021)	5	第1回資料調査委員会 ・調査票取り纏め ・ホームページの運営、更新について ・令和3年度通常総会書面決議結果報告
	6	第2回正副技術委員長会議 ・静岡県土木技術職員研修打ち合わせ ・試験練り進行状況と今後の課題や要望
	6	静岡県土木技術職員採用3年目研修会【講師】（於 静岡県建設技術監理センター） ・アスファルト材料について
	8	第3回正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査の日程、実施要領打ち合わせ ・東海四県技術委員長会議の議題、提案事項について ・プラント試験練り要望事項について
	9～10	アスファルトプラント定期点検検査 ・計量器、温度計、As吐出量、常温骨材流量の各検査
	10	第4回正副技術委員長会議 ・クロスチェック審査日程及び実施要領打ち合わせ ・東海四県技術委員長会議における提案議題の取り纏め ・プラント試験練り要望事項（各支部）の進行状況について ・廃材アンケート集計結果について
	10	静岡県建設産業団体連合会 静岡県交通基盤部との意見交換会 ・建産連からの意見、要望に対する県からの回答 ・県交通基盤部からの情報提供
	11	混合物の自主品質管理試験 [クロスチェック審査] ・工場作業基準及び品質管理書類の審査 ・混合物の試料採取、供試体の製作 ・合材工場、中間処理設備等の確認
	11	三団体技術者協議会 現場見学会 ・ICT舗装工（舗装修繕）の現場見学 ・MC切削機の施工状況 ・施工履歴測定状況 ・地上型レーザースキャナーの測量状況
	12	混合物の自主品質管理試験 [クロスチェック審査] ・審査時にサンプリングした混合物の性状確認（自社と他社の試験結果の比較）
	12	正副会長、常任幹事会 ・12月までの経過について ・今後の活動予定について
	1	第5回正副技術委員長会議 ・クロスチェック審査冊子編集について ・自主品質管理委員会報告内容打ち合わせ
	2	自主品質管理委員会（Web会議） ・クロスチェック審査結果報告及び次年度の検討と課題
令和4年 (2022)	4	第1回役員会 ・令和4年度の諸課題について
	4	会計監査

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
令和4年 (2022)	4	第1回役員会 ・令和4年度の諸課題について
	4	会計監査
	4	第1回資料調査委員会 ・集計システムについて
	4	第1回正副技術委員長会議 ・令和4年度活動計画について ・各支部の懸案事項について
	5	第2回資料調査委員会
	5	・三団体技術者協議会交流会に係る打ち合わせ ・三団体技術者協議会の活動方針について ・技術交流会開催内容の検討
	5	第2回役員会 ・令和4年度通常総会事前打ち合わせ
	5	通常総会 ・令和3年度事業報告並びに収支決算報告の承認について ・令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について ・令和4年度役員改選について
	6	静岡県土木技術職員採用3年目研修会【講師】（於 静岡県建設技術監理センター） ・アスファルト材料について
	6	静岡県建設産業団体連合会 足立参議院議員個人演説会
	7	静岡県道路舗装協会 技術発表会
	8	第3回正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査の日程、実施要領打ち合わせ ・東海四県技術委員長会議の日程、議題、準備について
	8	三団体技術者協議会交流会に係る打ち合わせ ・令和5年度以降の技術交流会の開催方法や体制についての協議
	9～10	アスファルトプラント定期点検検査 ・計量器、温度計、As吐出量、常温骨材流量の各検査
	9	静岡県建設産業団体連合会 建設産業構造改善推進のつどい
	10	第4回正副技術委員長会議 ・アスファルトプラント定期点検検査について ・東海四県技術委員長会議の議題、準備について ・クロスチェック審査について
	10	東海四県技術委員長会議（於 浜松市舞阪町弁天島） ・各県の近況報告ならびに諸問題（提案事項）について
	10	静岡県建設産業団体連合会 静岡県交通基盤部との意見交換会
	10	日合協 全国技術委員長会議
	11	混合物の自主品質管理試験〔クロスチェック審査〕 ・工場作業基準及び品質管理書類の審査

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
令和4年 (2022)		<ul style="list-style-type: none"> ・混合物の試料採取ならびに供試体の作製 ・合材工場及び中間処理設備等の確認
	11	静岡県建設産業団体連合会 静岡県建設産業セミナー2022
	12	混合物の自主品質管理試験〔クロスチェック審査〕 <ul style="list-style-type: none"> ・検査時に試料採取した混合物の性状試験 ・同試料による自社と他社の試験結果の比較
	1	第5回正副技術委員長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・クロスチェック審査冊子編集について ・自主品質管理委員会内容打ち合わせ
	1	技術委員会技術研修会 「SDGsとカーボンニュートラルと安全対策への取り組み」
	2	三団体技術者協議会意見交換会 <ul style="list-style-type: none"> ・各団体における現状報告とこれからの展望について ・その他意見交換
	2	第3回資料調査委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・集計システムの改修状況の報告 ・ホームページの運営業務の一部外部委託について
令和5年 (2023)	4	第1回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の総括について ・令和5年度の総会に向けて
	4	会計監査
	5	第1回資料調査委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・日合協調査表取り纏め ・統計年報について
	5	第1回正副技術委員長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度活動計画発表 ・令和5年度試験練りについて ・三団体協議会活動報告
	5	三団体技術者協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会
	5	第2回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度通常総会事前打ち合わせ
	5	通常総会 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告並びに収支決算報告の承認について ・令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について
	6	第2回正副技術委員長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県土木技術職員研修打ち合わせ ・令和5年度試験練り進行状況報告 ・プラント設備台帳、三団体技術者交流会について
	6	静岡県土木技術職員採用3年目研修会【講師】（於 静岡県建設技術監理センター） <ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト材料について
	7	(株)協振技建様との打ち合わせ
	7	第3回正副技術委員長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・プラント定期点検検査の日程、実施要領打ち合わせ ・東海四県技術委員長会議の日程、議題、準備について
	7	静岡県道路舗装協会 技術発表会

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
令和5年 (2023)	9	静岡県建設産業団体連合会 建設産業構造改善推進のつどい
	9～10	アスファルトプラント定期点検立ち会い検査〔県、政令市〕 ・計量器、温度計、As吐出量、常温骨材流量の各検査
	9	第1回正副会長、常任幹事会 ・50周年記念事業について
	9	三団体技術者協議会交流会の検討会について ・令和5年度技術交流会の開催について
	9	東海四県技術委員長会議（於 愛知県蒲郡市） ・各県の近況報告ならびに諸問題（提案事項）について
	9	50周年記念事業打ち合わせ
	10	第4回正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査実施状況について ・クロスチェック審査日程及び実施要領について ・三団体技術者交流会、東海地区連絡協議会の報告について
	10	日合協 2023年度全国技術委員長会議（於 新潟県新潟市） ・特別講演「ポリマー改質アスファルトの技術の進歩について」 ・活動報告（北陸地区ならびに日合協） ・各県技術委員長との意見交換、質疑応答
	11	混合物の自主品質管理試験〔クロスチェック審査〕 ・工場作業基準及び品質管理書類の審査 ・混合物の試料採取ならびに供試体の作製 ・合材工場及び中間処理設備等の確認
	11	第3回役員会 ・令和5年度の状況について ・50周年記念事業について
	11～12	混合物の自主品質管理試験〔クロスチェック審査〕 ・検査時に試料採取した混合物の性状試験 ・同試料による自社と他社の試験結果の比較
	1	静岡県舗装中長期管理計画改定委員会【オブザーバー】 ・現行計画の検証 ・性能低下予測式の見直し（案）の検討 ・目標管理グループ、管理目標値の見直し（案）の検討
	1	技術委員会技術研修会 「アスファルトプラントにおける低炭素に向けた取組みと環境対策」
	2	第5回正副技術委員長会議 ・自主品質管理委員会の事前打ち合わせと準備 ・各支部における現状と懸案事項の報告
	2	自主品質管理委員会 ・令和5年度クロスチェック試験結果報告ならびに検討課題
	3	三団体技術者協議会「新規職員向け現場見学会」に向けた下見会 ・砕石工場見学会の検討
令和6年 (2024)	4	会長、常任幹事長 県庁へ新年度挨拶
	4	会計監査

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
令和6年 (2024)	4	第1回役員会 ・令和5年度の総括について ・令和6年度の総会に向けて
	5	第1回資料調査委員長会議 ・統計年報について
	5	第1回正副技術委員長会議 ・令和6年度活動計画発表 ・令和6年度試験練りについて ・三団体協議会活動報告
	5	技術委員会 県庁へ新年度挨拶 ・新年度活動計画の報告、各種検査立ち会い依頼 ・クロスチェック冊子の配布
	5	静岡県建設産業団体連合会 令和6年度総会（於 静岡労政会館）
	5	静岡県砕石業協同組合 令和6年度総会（於 あざれあ）
	5	第2回役員会 ・令和6年度通常総会事前打ち合わせ
	5	通常総会 ・令和5年度事業報告並びに収支決算報告の承認について ・令和6年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について ・令和6年度役員改選について
	5	三団体技術者協議会 技術交流会（於 静甲工業(株)南部工場） ・砕石工場における製造工程と品質管理 出席者38名（砕石業組合20名、舗装協会9名、合材協会9名）
	5	静岡県土木技術職員採用3年目研修会【講師】（於 静岡県建設技術監理センター） ・アスファルト材料について(配合設計、製造方法、書類案内、現場試験) 受講生67名（会場43名、Web24名）
	5	静岡県土木技術職員採用3年目研修会工場見学【講師】（於 TOREKI・NIPPO JV） ・合材工場における製造工程と品質管理 受講生48名
	7	静岡県道路舗装協会 技術発表会（於 あざれあ他2会場） 出席者56名（東部会場17名、中部会場25名、西部会場14名）
	7	第2回静岡県舗装中長期管理計画改定委員会【オブザーバー】（於 静岡市民文化会館） ・新技術、新工法導入に向けた検討 ・舗装材料選定、舗装構成の見直し ・コンクリート舗装の活用方法 ・新技術を活用した定期点検の見直し ・現行計画の見直し
	8	第2回正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査の日程 ・東海地区連絡協議会の日程、提案事項 ・合材協会50年記念誌について ・舗装技術発表会、舗装中長期化委員会の報告
	8	第1回正副会長、常任幹事会 ・土日祝日完全予約制の実施について ・県道路舗装協会との意見交換会の開催について ・静岡県との意見交換会の開催について

静岡県アスファルト合材年表

年度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き
令和 6 年 (2024)	9～10	アスファルトプラント定期点検立ち会い検査 [県、政令市] ・計量器、温度計、As吐出量、常温骨材流量についての性能検査
	9	静岡県道路舗装協会との意見交換会 ・土日祝日の完全閉所と土日祝日の出荷に関する事前予約制度の導入 出席者10名（舗装協会5名、合材協会5名）
	9	東海四県技術委員長会議（於 三重県志摩市賢島） ・各県の近況報告ならびに諸問題（提案事項）について 出席者22名（愛知県3名、三重県10名、岐阜県5名、静岡県4名）
	10	日合協 2024年度第1回技術委員会議及び全国技術委員長会議（於 東京都中央区日本橋） ・2025年事業計画について ・特別講演「舗装の永続リサイクルに向けた取り組み」 ・2024年度技術委員会活動報告 ・各県技術委員長との意見交換、質疑応答
	10	第3回正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査実施状況について ・全国技術委員長会議の報告 ・合材協会50周年記念誌について ・クロスチェック審査日程及びクロスチェック項目と進行について
	10	会長、副会長、常任幹事長 県庁に要望書提出
	11	混合物の自主品質管理試験 [クロスチェック審査] ・工場作業基準及び品質管理書類の審査 ・混合物の試料採取ならびに供試体の作製 ・合材工場及び中間処理設備等の確認
	11～12	混合物の自主品質管理試験 [クロスチェック審査] ・検査時に試料採取した混合物の性状試験 ・同試料による自社と他社の試験結果の比較
	12	第3回役員会 ・令和6年度の状況について
	2	静岡県庁道路保全課訪問 ・土日祝日の完全休業開始日時について ・お客様への見積り（製品価格）対応について ・お客様への見積り（現場着単価の明示）対応について
	2	第3回静岡県舗装中長期管理計画改定委員会【オブザーバー】（於 あざれあ） ・第2回委員会における意見への対応 ・舗装ガイドライン及び舗装中長期管理計画の改定内容
	2	第4回正副技術委員長会議 ・自主品質管理委員会の事前打ち合わせと準備 ・各支部における現状と懸案事項の報告
	2	令和6年度自主品質管理委員会 ・クロスチェック審査及び試験結果の報告 ・クロスチェック冊子の内容説明 ・その他意見交換 出席者14名（静岡県2名、静岡市1名、合材協会10名、建通新聞社1名）

役員・委員会代表者の変遷

役員・委員会代表者の変遷

	昭和50年度 【1975】	昭和51年度 【1976】	昭和52年度 【1977】	昭和53年度 【1978】	昭和54年度 【1979】	昭和55年度 【1980】
相談役						
相談役(常任)						
名誉会長						
会 長	斎藤 恒三郎 東海瀝青工業(株)					平松 金一 東海瀝青工業(株)
副会長	七澤 三郎 昭和舗道(株)					
"	中村 進 (株)中村組					
"						
理 事	海野 久夫 海野建設(株)					池ヶ谷 康二 菅原建設(株)
"	中村 国政 富士道路(株)					
"	神谷 朗男 日本舗道(株)					
"	生子 力蔵 静和工業(株)			秋山 敏夫 静和工業(株)		
"	北澤 栄一 花菱合成(株)			宮城島 光二 花菱合成(株)		
"	岡本 彦一 須山建設(株)					
"	神谷 孝一 神谷建設(株)					
"	小栗 正木 中村建設(株)					
"				大石 竹次 大石建設(株)		大石 庄十 大石建設(株)
"						
"						
会計監事	笠原 静夫 山旺建設工業(株)					
"	桑原 忠雄 大河原舗装(株)					大河原 有三 大河原舗装(株)
"	伴治 貞 協和建設協業組合					
幹 事 長	平松 金一 東海瀝青工業(株)					
常任幹事	田代 豊 富士道路(株)					
"	池田 等 (株)中村組					岩本 栄久 協和建設協業組合
"						吉野 六郎 東海瀝青工業(株)
副常任幹事				吉野 六郎 東海瀝青工業(株)		

役員・委員会代表者の変遷

昭和56年度 【1981】	昭和57年度 【1982】	昭和58年度 【1983】	昭和59年度 【1984】	昭和60年度 【1985】	昭和61年度 【1986】	
						相談役
						相談役(常任)
						名誉会長
					平松 金一 花菱合成(株)	会 長
						副会長
						〃
					大滝 輔一 東海瀝青工業(株)	〃
						理 事
					保坂 務 富士道路(株)	〃
		市村 敏行 日本舗道(株)				〃
		生子 隆則 静和工業(株)				〃
						〃
						〃
					神谷 勲雄 神谷建設(株)	〃
宗賀 元春 中村建設(株)						〃
						〃
						〃
						〃
		後藤 安宏 山旺建設工業(株)				会計監事
						〃
			久米 俊明 協和建設協業組合			〃
						幹 事 長
			杉山 昭五 東静加工品(株)		佐藤 裕司 山旺建設工業(株)	常任幹事
						〃
			山田 騏三郎 東海瀝青工業(株)			〃
						副常任幹事

役員・委員会代表者の変遷

	昭和62年度 【1987】	昭和63年度 【1988】	平成元年度 【1989】	平成2年度 【1990】	平成3年度 【1991】	平成4年度 【1992】
相談役						中村 進 (株)中村組
相談役(常任)						
名誉会長						
会 長	平松 金一 花菱合成(株)					
副会長	保坂 務 富士道路(株)			後藤 安宏 山旺建設工業(株)		
"	中村 進 (株)中村組					岡本 彦一 須山建設(株)
"	大滝 輔一 東海瀝青工業(株)				竹田 要 東海瀝青工業(株)	
理 事	池ヶ谷 康二 菅原建設(株)					
"	七澤 三郎 昭和舗道(株)					
"	市村 敏行 日本舗道(株)		浅井 治 日本舗道(株)			安田 昌宏 日本舗道(株)
"	生子 隆則 静和工業(株)					大石 良二 静和工業(株)
"				石井 利平 富士道路(株)		
"	岡本 彦一 須山建設(株)					池田 等 (株)中村組
"	神谷 勲雄 神谷建設(株)					
"	宗賀 元春 中村建設(株)		竹村 寧 磐田瀝青舗材(共)			
"	大石 庄十 大石建設(株)					
"						
"						
会計監事	後藤 安宏 山旺建設工業(株)			臼井 正信 臼幸産業(株)		海野 裕之 海野建設(株)
"	大河原 有三 大河原舗装(株)					大河原 元晴 大河原舗装(株)
"	久米 俊明 協和建設協業組合					
幹 事 長						
常任幹事	佐藤 裕司 山旺建設工業(株)	中村 拓男 山旺建設工業(株)				
"	岩本 栄久 協和建設協業組合					
"	山田 駿三郎 東海瀝青工業(株)	大高 圭介 花菱合成(株)				
副常任幹事						
業務委員長						
技術委員長						
資料調査委員長						

業務（総務）委員長・技術委員長（技術顧問）・資料調査委員長の3委員長については、確かな記録の存在する平成5年（1993年）からの記載としました。

役員・委員会代表者の変遷

平成5年度 【1993】	平成6年度 【1994】	平成7年度 【1995】	平成8年度 【1996】	平成9年度 【1997】	平成10年度 【1998】	
						相談役
	平松 金一					相談役(常任)
	—					名誉会長
	岡本 彦一 須山建設(株)					会 長
						副会長
						〃
		植松 正裕 東海瀝青工業(株)			榎本 富雄 東海瀝青工業(株)	〃
	海野 裕之 海野建設(株)					理 事
			土屋 義正 昭和舗道(株)			〃
			安原 弘修 日本舗道(株)			〃
			藤浪 準司 静和工業(株)			〃
	中西 久和 富士道路(株)					〃
		太田 雅章 (株)中村組				〃
						〃
			鈴木 武志 磐田瀝青舗材(共)			〃
						〃
	宮城島 光二 花菱合成(株)					〃
						〃
	田中 豊 丸三工業(株)					会計監事
					← (株)エコワーク	〃
	杉浦 勉 協和建設協業組合				岩本 栄久 協和建設協業組合	〃
						幹 事 長
	植松 政明 昭和舗道(株)					常任幹事
	水島 義孝 須山建設(株)					〃
						〃
						副常任幹事
平松 金一 花菱合成(株)	岡本 彦一 須山建設(株)					総務委員長
久米 俊明 協和建設協業組合	秋野 正男 大河原舗装(株)	平成7年度は技術 顧問として杉浦氏	杉浦 勉 協和建設協業組合		藤浪 準司 静和工業(株)	技術委員長
中村 拓男 山旺建設工業(株)						資料調査委員長

役員・委員会代表者の変遷

	平成11年度 【1999】	平成12年度 【2000】	平成13年度 【2001】	平成14年度 【2002】	平成15年度 【2003】	平成16年度 【2004】
相談役	中村 進 (株)中村組					
相談役(常任)						
名誉会長						
会 長	岡本 彦一 須山建設(株)					
副会長	後藤 安宏 山旺建設工業(株)			中西 久知 富士道路(株)		田中 豊 丸三工業(株)
〃						
〃	榎本 富雄 東海瀝青工業(株)					
理 事	海野 裕之 海野建設(株)					
〃	土屋 義正 昭和舗道(株)					
〃	安原 弘修 日本舗道(株)			山口 明男 日本舗道(株)	← (株)NIPPO. Corp	
〃	藤浪 準司 静和工業(株)					
〃	中西 久和 富士道路(株)			後藤 安宏 山旺建設工業(株)		
〃	太田 雅章 (株)中村組					
〃	神谷 勲雄 神谷建設(株)					神谷 一宏 神谷建設(株)
〃	鈴木 武志 磐田瀝青舗材(共)					
〃	大石 庄十 大石建設(株)					
〃	宮城島 光二 花菱合成(株)	← 花菱建設(株)				北澤 邦彦 花菱建設(株)
〃	岡本 達二 西部合材RC(協)					
会計監事	田中 豊 丸三工業(株)				佐藤 裕司 山旺建設工業(株)	
〃	内田 弘 (株)エコワーク					
〃	岩本 栄久 協和建設協業組合					
幹 事 長						
常任幹事	植松 政明 昭和舗道(株)		日比 秀次 昭和舗道(株)			
〃	水島 義孝 須山建設(株)			鈴木 正志 西部合材RC(協)		
〃	大高 圭介 花菱合成(株)	← 花菱建設(株)				
副常任幹事						
総務委員長	岡本 彦一 須山建設(株)					
技術委員長	藤浪 準司 静和工業(株)					
資料調査委員長	渡邊 拓男 山旺建設工業(株)			山梨 寛司 セイエン商事(株)	松本 富男 (共)志太アスコン	田中 豊 丸三工業(株)

役員・委員会代表者の変遷

平成17年度 【2005】	平成18年度 【2006】	平成19年度 【2007】	平成20年度 【2008】	平成21年度 【2009】	平成22年度 【2010】	
						相談役
						相談役(常任)
						名誉会長
						会 長
						副会長
						〃
	萩原 吉朗 東海瀝青工業(株)		望月 悠治 東海瀝青工業(株)			〃
						理 事
						〃
		藤田 昌弘 (株)NIPPO. Corp		← (株)NIPPO		〃
			田村 幸一 静和工業(株)			〃
						〃
		中村 早千夫 (株)中村組				〃
						〃
						〃
大石 卯吉 大石建設(株)						〃
						〃
						〃
						会計監事
						〃
						〃
						幹 事 長
						常任幹事
						〃
平成17年度より 常任幹事長						常任幹事長
						副常任幹事
						総務委員長
	飯田 雅和 山旺建設工業(株)					技術委員長
						資料調査委員長

役員・委員会代表者の変遷

	平成23年度 【2011】	平成24年度 【2012】	平成25年度 【2013】	平成26年度 【2014】	平成27年度 【2015】	平成28年度 【2016】
相談役						
相談役(常任)						
名誉会長		岡本 彦一 須山建設(株)				
会 長	岡本 彦一 須山建設(株)	田中 豊 丸三工業(株)				
副会長	田中 豊 丸三工業(株)	須山 宏造 須山建設(株)				
〃						
〃	望月 悠治 東海瀝青工業(株)			植松 盛雄 東海瀝青工業(株)		
理 事	海野 裕之 海野建設(株)	佐藤 裕司 山旺建設工業(株)				
〃						
〃	北浦 喜一 株NIPPO		米岡 拓彦 株NIPPO			丸尾 博和 株NIPPO
〃	田村 幸一 静和工業(株)				吉添 高兆 静和工業(株)	牧田 忠志 静和工業(株)
〃						
〃	中村早千夫 株中村組		小粥 孝政 株中村組			
〃	神谷 一宏 神谷建設(株)					
〃	鈴木 武志 磐田瀝青舗材(共)		松下 行雄 磐田瀝青舗材(事)		平井 美次 磐田瀝青舗材(共)	
〃	大石 卯吉 大石建設(株)					
〃						
〃						
会計監事	佐藤 裕司 山旺建設工業(株)	海野 祐一 海野建設(株)				松下 晴男 昭和舗道(株)
〃	内田 弘 株エコワーク					大河原 高広 株エコワーク
〃	岩本 栄久 協和建設協業組合					平井 美次 磐田瀝青舗材(共)
幹 事 長						
常任幹事	日比 秀次 昭和舗道(株)			大高 圭介 花菱建設(株)	(中部支部と兼任)	海野 祐一 株海野建設
〃	鈴木 正志 西部合材RC(協)					
常任幹事長	大高 圭介 花菱建設(株)					
副常任幹事						
総務委員長	岡本 彦一 須山建設(株)	田中 豊 丸三工業(株)				
技術委員長	飯田 雅和 山旺建設工業(株)	加茂 研司 株中村組				
資料調査委員長	田中 豊 丸三工業(株)	松本 富男 (共)志太アスコン				← セイエン商事(株)

役員・委員会代表者の変遷

平成29年度 【2017】	平成30年度 【2018】	平成31/令和元年度 【2019】	令和2年度 【2020】	令和3年度 【2021】	令和4年度 【2022】	
						相談役
						相談役(常任)
						名誉会長
						会 長
						副会長
						〃
望月 信好 東海瀝青工業(株)					松浦 真明 東海瀝青工業(株)	〃
						理 事
						〃
		田野 浩一 (株)NIPPO		山下 剛 (株)NIPPO		〃
						〃
						〃
						〃
神谷 美都江 神谷建設(株)					藤森 真次 神谷建設(株)	〃
						〃
	大石 健仁 大石建設(株)					〃
						〃
						〃
						会計監事
						〃
						〃
						幹 事 長
						常任幹事
						〃
						常任幹事長
						副常任幹事
						総務委員長
	佐藤 千速 セイエン商事(株)					技術委員長
				藤森 真次 神谷建設(株)		資料調査委員長

役員・委員会代表者の変遷

	令和5年度 【2023】	令和6年度 【2024】			
相談役					
相談役(常任)					
名誉会長					
会 長	田中 豊 丸三工業(株)	松浦 真明 東海瀝青工業(株)			
副会長	須山 宏造 須山建設(株)	平井 美次 磐田瀝青舗材(共)			
〃					
〃	松浦 真明 東海瀝青工業(株)	海野 祐一 (株)海野建設			
理 事					
〃					
〃	新行内 正臣 (株)NIPPO				
〃	牧田 忠志 静和工業(株)				
〃					
〃	小粥 孝政 (株)中村組	山本 茂 (株)中村組			
〃	藤森 真次 神谷建設(株)				
〃					
〃	大石 健仁 大石建設(株)	住友 哲也 花菱建設(株)			
〃					
〃					
会計監事	粉川 昌樹 山旺建設工業(株)				
〃	大河原 高広 (株)エコワーク				
〃	平井 美次 磐田瀝青舗材(共)	内山 敏 須山建設(株)			
幹 事 長					
常任幹事	海野 祐一 (株)海野建設	勝亦 徳重 臼幸産業(株)			
〃	鈴木 正志 西部合材 R C(協)	大石 健仁 大石建設(株)			
常任幹事長	大高 圭介 花菱建設(株)	鈴木 正志 西部合材 R C(協)			
副常任幹事					
総務委員長	田中 豊 丸三工業(株)	山本 茂 (株)中村組			
技術委員長	佐藤 千速 セイエン商事(株)				
資料調査委員長	藤森 真次 神谷建設(株)				

静岡県アスファルト合材協会 表彰者一覧

◎叙勲 勲 5 等瑞宝章

年度	表 彰 者		表 彰 事 由
H08	平松 金一	(常任相談役)	建設事業関係功労表彰

◎リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 会長表彰

年度	表 彰 者		表 彰 事 由
H14	静岡県アスファルト合材協会		アスファルト合材のリサイクル推進

◎国土交通大臣表彰

年度	表彰者氏名	会社名	表 彰 事 由
H15	岡本 彦一	須山建設(株)	建設事業関係功労表彰

◎(一社)全国建設産業団体連合会 会長表彰

年度	表彰者氏名	会社名	表 彰 事 由
H13	岡本 彦一	須山建設(株)	建設事業関係功労表彰

◎(一社)日本アスファルト合材協会 会長表彰

年度	表彰者氏名	会社名	表 彰 事 由
H27	岡本 彦一	須山建設(株)	日合協30周年記念功労賞

◎(一社)静岡県建設産業団体連合会 会長表彰 (平成3年度までは静岡県建設産業会議所会長表彰)

年度	表彰者氏名	会社名	年度	表彰者氏名	会社名
S56	平松 金一	東海瀝青工業(株)	H14	水島 義孝	須山建設(株)
S57	吉野 六郎	東海瀝青工業(株)	H15	田中 豊	丸三工業(株)
S58	七澤 三郎	昭和舗道(株)	H16	藤浪 準司	静和工業(株)
S59	田代 豊	富士道路(株)	H17	太田 雅章	(株)中村組
S60	神谷 孝一	神谷建設(株)	H18	加藤 幸宏	御殿場合材センター
S61	岡本 彦一	須山建設(株)	H19	田中 浩二	大林道路(株)静岡アスファルト混合所
S62	池谷 康二	菅原建設(株)	H20	鈴木 正志	西部合材リサイクルセンター(協)
〃	後藤 安宏	山旺建設工業(株)	H21	森田 富久	(株)NIPPOコーポレーション芝川合材工場
S63	岩本 榮久	協和建設協業組合	H22	松本 富雄	共同企業体志太アスコン
H01	大河原 有三	大河原舗装(株)	H23	中村 早千夫	(株)中村組
H02	大滝 輔一	東海瀝青工業(株)	H24	佐藤 裕司	山旺建設工業(株)
H03	久米 俊明	協和建設協業組合	H25	望月 悠治	TOREKI・NIPPO JV
H04	神谷 勲雄	神谷建設(株)	H26	神谷 一宏	神谷建設(株)
H05	土屋 義正	昭和舗道(株)	H27	前田 三四志	菅原建設(株)静岡営業所
H06	池田 等	(株)中村組	H28	中村 昭三	神谷建設(株)
H07	大高 圭介	花菱合成(株)	H29	萩森 寛二	鹿島道路(株)
〃	鈴木 眞康	中遠合材センター共同企業体	H30	山地 清志	花菱建設(株)松崎工場
H08	田邊 昌明	中村建設(株)	R1	平井 美次	磐田瀝青舗材事業所
〃	秋野 正男	大河原舗装(株)	R2	西野 浩二	前田道路(株)静岡支店静岡合材工場
H09	中西 久知	富士道路(株)	R3	松下 晴男	昭和舗道(株)
H10	植松 正裕	東海瀝青工業(株)	R4	小粥 孝政	(株)中村組
H11	鈴木 武志	磐田瀝青舗材共同企業体	R5	森本 和男	三井住建道路(株)
H12	海野 裕之	(株)海野建設	R6	海野 祐一	海野建設(株)
H13	榎本 富雄	東海瀝青工業(株)	R7	藤森 真次	神谷建設(株)

◎(一社)日本アスファルト合材協会 会長表彰

年度	表彰者氏名	会社名	表彰者氏名	会社名	表彰者氏名	会社名
H05	平松 金一	東海瀝青工業(株)	久米 俊明	協和建設協業組合	後藤 安宏	山旺建設工業(株)
H06	大石 庄十	大石建設(株)	池谷 康二	菅原建設(株)	池田 等	(株)中村組
H07	永井 勇	丸三工業(株)	石村 幸弘	東海瀝青工業(株)	岩本 榮久	協和建設協業組合
H08	七澤 三郎	昭和舗道(株)	鈴木 磯太郎	大石建設(株)	神谷 勲雄	神谷建設(株)
H09	土屋 義正	昭和舗道(株)	上原 仁	前田道路(株)	高木 眞	神谷建設(株)
H10	稲葉 尚武	(株)海野建設	大高 圭介	花菱合成(株)	鈴木 眞康	日本舗道(株)
H11	中西 久知	富士道路(株)	神谷 勲雄	神谷建設(株)	秋野 正男	(株)エコワーク
H12	真野 登	(株)斎藤組	山梨 寛司	セイエン商事(株)	市川 勇一郎	乗松建設(株)
H13	植松 政明	昭和舗道(株)	柏原 隆弘	鹿島道路(株)	水島 義孝	須山建設(株)
H14	海野 裕之	(株)海野建設	太田 雅章	(株)中村組	大池 鶴夫	東海瀝青工業(株)
H15	鈴木 武志	中村建設(株)	住友 哲也	花菱建設(株)	加藤 幸孝	丸三工業(株)
H16	加藤 幸宏	臼幸産業(株)	中村 昭三	神谷建設(株)	青木 圭介	佐藤道路(株)
H17	田中 豊	丸三工業(株)	榎本 富雄	東海瀝青工業(株)	伊藤 実	天竜川砂利プラント(協)
H18	佐藤 裕司	山旺建設工業(株)	藤浪 準司	静和工業(株)	堀内 安雄	協和建設協業組合
H19	山地 清志	花菱建設(株)	山田 稔弥	(株)エコワーク	岡本 達二	須山建設(株)
H20	飯田 雅和	山旺建設工業(株)	内田 弘	(株)エコワーク	森 洋一	西遠アスコン共同企業体
H21	渡邊 拓男	山旺建設工業(株)	佐藤 千速	(共)志太アスコン藤枝工場	岩崎 誠示	(共)浜松中央アスコン前田工場
H22	前田 三四志	菅原建設(株)静岡営業所	森本 和男	三井住建道路(株)岡部アスコン	水内 義典	磐田瀝青舗材共同企業体
H23	木内 政美	富士道路(株)	生子 利晴	静和工業(株)	鈴木 正志	西部合材リサイクルセンター(協)
H24	古川 照章	日本道路(株)静岡合材センター	中村 早千夫	(株)中村組		
H25	二田口 勝彦	前田道路(株)中部支店	大石 健仁	大石建設(株)		
H26	中島 守雄	TOREKI・NIPPO JV	松下 行雄	磐田瀝青舗材事業所		
H27	山本 勇蔵	御殿場合材センター	鈴木 淳二	浜岡アスコン共同企業体		
H28	原田 徹	昭和舗道(株)	市川 靖	大林道路(株)中部支店		
H29	小野田 典生	菅原建設(株)静岡支店	加茂 研司	(株)中村組		
H30	牛尾 武司	三井住建道路(株)	小粥 孝政	(株)中村組		
R1	長谷川 佳正	大有建設(株)	大木 慶信	東海瀝青工業(株)		
R2	藤澤 尚隆	(株)リサイクル御殿場				
R3	藤森 真次	神谷建設(株)				
R4	齋藤 貴宏	花菱建設(株)				
R5	海野 祐一	海野建設(株)	神谷 裕	天竜川砂利プラント(協)		
R6	岩本 真人	静和工業(株)	内山 淳	西遠コンクリート工業(株)		
R7	金刺 靖昭	御殿場合材センター	朝倉 雅好	セイエン商事(株)		

静岡県アスファルト合材協会 創立20周年記念表彰

平成7年6月15日

特別功労者（感謝状）

平松 金一	藤枝市藤枝5丁目12-24
久米 俊明	浜松市富塚町689-24

役員・委員（感謝状）

後藤 安宏	山旺建設工業(株)	池谷 康二	菅原建設(株)
中村 拓男	山旺建設工業(株)	生子 隆則	静和工業(株)
竹田 要	東海瀝青工業(株)	宮城島 光二	花菱合成(株)
大高 圭介	花菱合成(株)	神谷 勲雄	神谷建設(株)
竹村 寧	中村建設(株)	岩本 榮久	協和建設協業組合
池田 等	(株)中村組	宗賀 元春	中村建設(株)
足立 学	前田道路(株)	武井 勇	日本道路(株)
植松 政明	昭和舗道(株)	住友 哲也	花菱合成(株)
鈴木 眞康	日本舗道(株)	田邊 昌明	中村建設(株)
高木 眞	神谷建設(株)		

優良職員（表彰状）

永井 勇	丸三工業(株)	久保田 守志	花菱合成(株)
新井山 松竹	菅原建設(株)	稲葉 尚武	(株)海野建設
志村 茂	大有建設(株)	中野 睦雄	昭和舗道(株)
広海 通穂	白幸産業(株)	田村 嘉之	山旺建設工業(株)
野上 正明	前田道路(株)	木内 政美	富士道路(株)
芝田 耕造	東海瀝青工業(株)	園田 久夫	住友建設(株)
松村 嗣郎	セイエン商事(株)	平松 範夫	大河原舗装(株)
山本 治夫	大石建設(株)	三島 健一	日本舗道(株)
市川 勇一郎	乗松建設(株)	黒田 修一	大成ロテック(株)
杉山 丈壺	(株)中村組	石川 南	前田道路(株)
太田 良雄	須山建設(株)	柘植 敏彦	協和建設協業組合

静岡県アスファルト合材協会 創立30周年記念表彰

平成16年6月1日

特別功労者（感謝状）

岡本 彦一	須山建設(株)
藤浪 準司	静和工業(株)
内田 弘	(株)エコワーク

役員・委員（感謝状）

中西 久知	富士道路(株)	秋野 正男	(株)エコワーク
海野 裕之	海野建設(株)	山梨 寛司	セイエン商事(株)
田中 豊	丸三工業(株)	太田 雅章	(株)中村組
榎本 富雄	東海瀝青工業(株)	鈴木 武志	磐田瀝青舗材共同企業体
大石 庄十	大石建設(株)	水島 義孝	須山建設(株)

優良職員（表彰状）

佐藤 照光	丸三工業(株)	鈴木 秀昭	静和工業(株)
山地 清志	花菱建設(株)	佐藤 紀夫	東海瀝青工業(株)
原田 徹	昭和舗道(株)	堀内 安雄	協和建設協業組合
飯田 雅和	山旺建設工業(株)	前田 高	大成ロテック(株)
加藤 幸宏	白幸産業(株)	芥川 直己	乗松建設(株)
影山 貫也	大有建設(株)静岡支店	本田 哲夫	西遠アスコン
佐野 良一	富士道路(株)	水内 義典	磐田瀝青舗材共同企業体
佐野 国光	(株)NIIPOコーポレーション芝川合材工場	岩崎 誠示	前田道路(株)浜松合材工場
河村 盛男	大石建設(株)	鈴木 淳二	浜岡アスコン
村澤 和宏	(株)エコワーク		

静岡県アスファルト合材協会 創立40周年記念表彰

平成27年6月3日

特別功労者（表彰状）

田中 豊	丸三工業株式会社
岩本 榮久	協和建設協業組合
大高 圭介	花菱建設株式会社

役員・委員（感謝状）

神谷 一宏	神谷建設株式会社	鈴木 正志	西部合材リサイクルセンター協同組合
大石 卯吉	大石建設株式会社	佐藤 裕司	山旺建設工業株式会社
内田 弘	株式会社 エコワーク	松本 富雄	共同企業体 志太アスコン

優良職員（表彰状）

井上 高廣	昭和舗道株式会社	金田 博志	須山建設株式会社
安西 美由紀	日本道路㈱静岡合材センター	海野 錠一	大林道路㈱静岡アスファルト混合所
佐藤 紀夫	TOREKI・NIPPO JV		

静岡県アスファルト合材協会 創立50周年記念表彰

令和7年5月30日

（一社）日本アスファルト合材協会 会長表彰

金刺 靖昭	御殿場合材センター
朝倉 雅好	セイエン商事株式会社

役員・委員（感謝状）

海野 祐一	株式会社海野建設
平井 美次	磐田瀝青舗材共同企業体

静岡県におけるアスファルト合材の推移

= 資料調査委員会 報告 =

静岡県におけるアスファルト合材の推移

静岡県アスファルト合材協会 資料調査員
神谷建設株式会社

中村 昭三

はじめに

協会設立50周年の節目を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

既に設立40周年記念誌が発刊されていることから、平成26年度から令和5年度の年10年間を主に全体の推移を掲載させていただきます。10年間の経緯としまして、令和元年(2019)末より新型コロナウイルス感染症が全世界に流行し、社会が未曾有の大混乱に陥りました。原油価格・エネルギー価格等が著しく高騰し、非常に厳しい事業運営となりました。しかし、この状況下ですが県内の合材製造量の推移は「図－1」に示すように、国交省並びに公団の受注が急増し、オリンピック効果も相まって平成27年度(2015)の128万tより徐々に上昇し、令和2年度(2020)にはコロナ禍にも関わらず160万tに達しました。また、緊急事態の渦中においては発注機関の皆様方に多大なるご尽力を頂き、厚く感謝すると共に御礼申し上げます。全国の合材製造量が年々減少傾向にある中で、当県の製造状況を以下に示します。

1. 表-1 As合材製造量とプラント能力の推移(1990～2023)

年度	支部別	合材製造量 (千t)			工場数	能力(t/h)	プラント能力分布 (基)							稼働時間 (h)	稼働率 (%)
		普通	再生	計			～30	～45	～60	～90	～120	～150	計		
1990 H2	東 部	762	107	869	14	830	3		9	1		1	14	1,047	87
	中 部	461	114	575	10	510	4		5	1			10	1,126	94
	西 部	746	147	893	14	900	1	2	7	3	1		14	992	83
	合 計	1,969	368	2,337	38	2,240	5	2	21	5	1	1	38	1,043	87
2000 H12	東 部	218	424	642	13	966		3	5	1	4		13	664	55
	中 部	130	352	482	6	540			2	2	2		6	892	74
	西 部	223	755	978	13	1,110		1	5	2	5		13	881	73
	合 計	571	1,531	2,102	32	2,616		4	12	5	11	0	32	803	67
2010 H22	東 部	183	378	561	11	906		3	1	3	4		11	619	52
	中 部	105	284	389	6	600			1	2	3		6	649	54
	西 部	87	467	554	11	1,110			2	3	6		11	499	42
	合 計	375	1,129	1,504	28	2,616		3	4	8	13	0	28	575	48
2023 R5	東 部	177	283	460	11	966		3	1	2	4	1	11	476	40
	中 部	82	195	277	6	618				3	3		6	448	37
	西 部	106	372	478	10	1,080			1	3	5	1	10	443	37
	合 計	365	850	1,215	27	2,664		3	2	8	12	2	27	456	38

稼働率＝合材製造量÷(プラント能力×5h×20日×12ヶ月)×100 稼働時間＝合材製造量÷プラント能力

(1) As合材製造量の推移

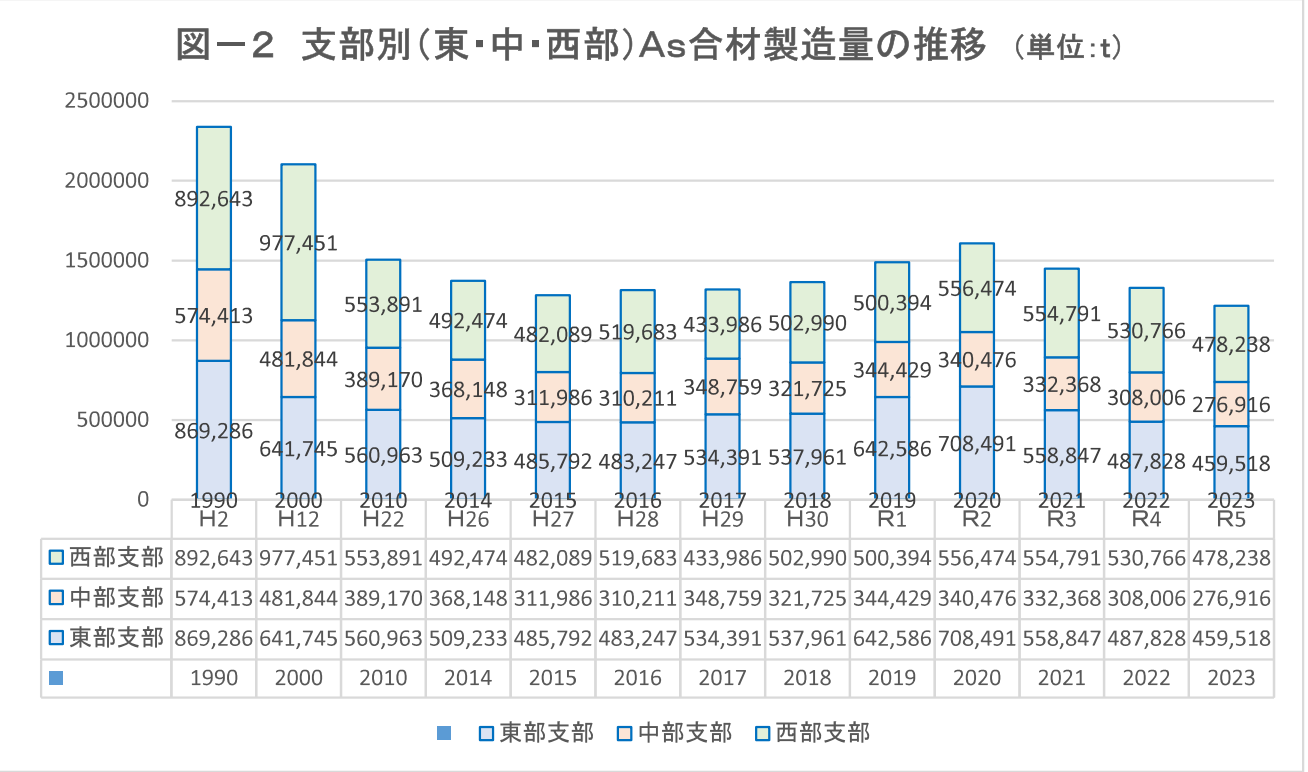
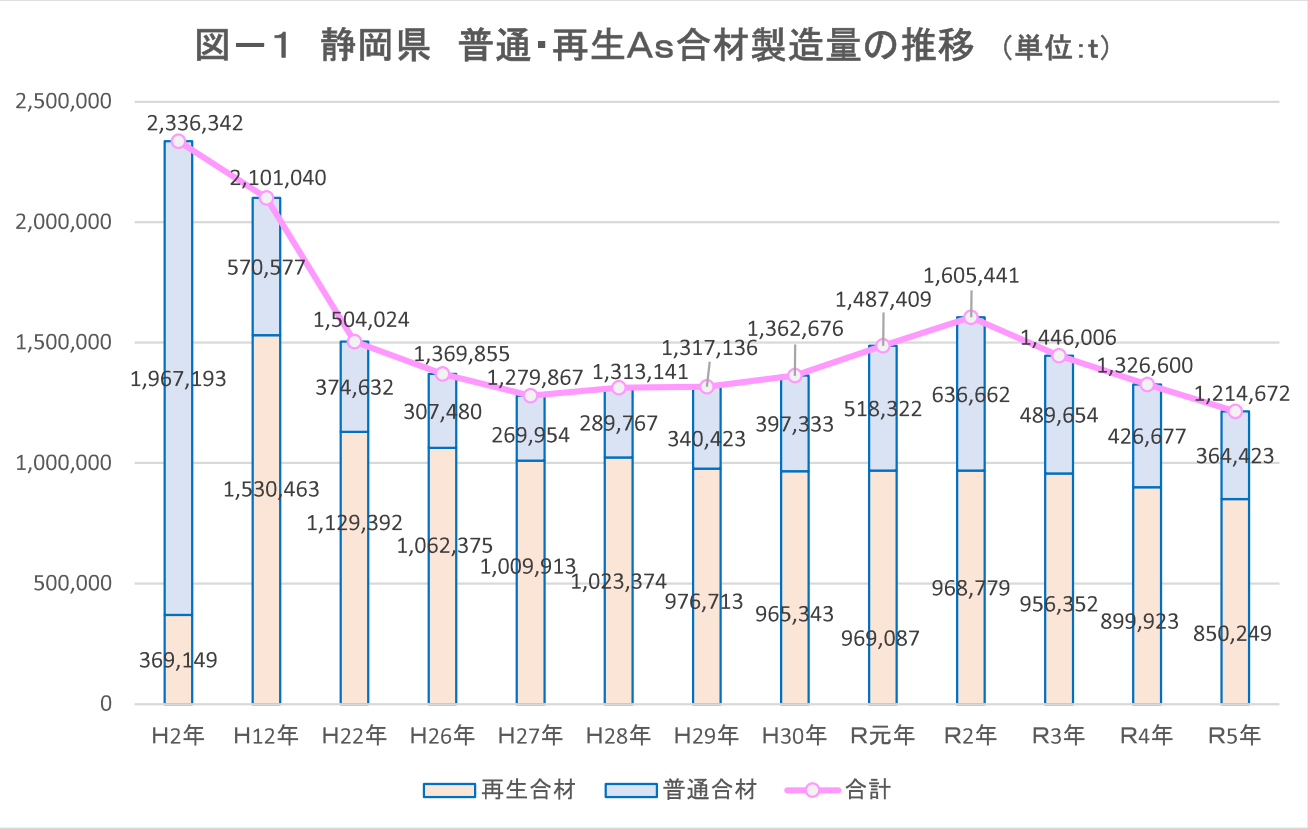
「図－1」はAs合材の製造量を示す。平成26年度(2014)の1,370千tから平成27年度(2015)は1,280千tに減少しますが、これより徐々に製造量が増加を始め、令和2年度(2020)には1,605千tに達しました(125%の上昇)。令和5年度(2023)は1,215千tとなり、上昇を始めた年度とほぼ同じ製造量となりました。

普通合材：平成26年度(2014)は307千tから、令和2年度は637千t(207%)、令和5年度(2023)は364千t(119%)と上昇が大きな値となりました。

再生合材：平成26年度(2014)は1,129千tから、令和5年度(2023)は850千t(75%)の279千t減少。

普通・再生の割合：平成26年度(2014)は 22:78(%)、令和2年度(2020)は 40:60(%)
令和5年度(2023)は 30:70(%)

「図－2」は支部別の製造量を示す。
東部支部：平成26年度(2014)509千tから、令和2年度(2020)708千t(139%)、令和5年度460千t(90%)
中部支部：平成26年度(2014)368千tから、令和2年度(2020)340千t(92%)、令和5年度277千t(75%)
西部支部：平成26年度(2014)492千tから、令和2年度(2020)556千t(113%)、令和5年度478千t(97%)



地域別As合材製造量 「表-2」「図-3」「図-4」

東部支部はA・B・C、中部支部はD・E、西部支部はF・Gに区分。

「図-3」

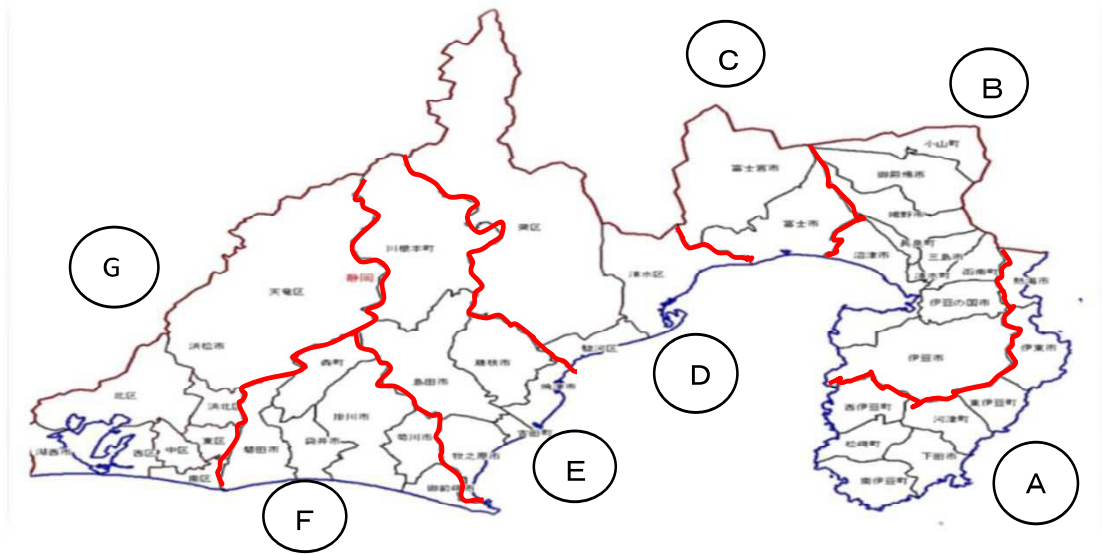


図-4 地域別As合材製造量 (単位:t)



表-2 地域別As合材製造量 (単位:t)

支部	地区	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
東部	A	34,061	31,898	34,404	29,647	32,665	30,123	29,609	28,907	31,807	29,888
	B	282,048	278,280	261,355	292,095	303,299	363,437	408,658	344,890	281,448	241,878
	C	193,124	175,614	187,488	212,649	201,997	249,026	270,224	185,050	174,573	187,752
中部	D	172,400	159,180	169,380	182,771	171,356	158,337	150,941	145,178	117,094	118,331
	E	195,748	152,806	140,831	165,988	150,369	186,092	189,535	187,190	190,912	158,585
西部	F	235,550	222,688	213,884	187,929	220,451	233,893	262,619	250,766	258,305	232,498
	G	256,924	259,401	305,799	246,057	282,539	266,501	293,855	304,025	272,461	245,740
合 計		1,369,855	1,279,867	1,313,141	1,317,136	1,362,676	1,487,409	1,605,441	1,446,006	1,326,600	1,214,672

(2) 工場数 「表－1」「表－3」

平成26年度(2014)から令和5年度(2023)までは、令和元年度(2019)に1基減少の27基。
平成2年度(1990)の38基からは、11基減少。

(3) プラント能力 「表－1」「表－3」

平成26年度(2014)の2,626t/hから、令和5年度(2023)は2,664t/hの上昇。

(プラントは1基減少したが、数社の合材生産能力が向上。)

(4) プラント能力分布 「表－1」「表－3」

令和5年度(2023)では120t/hクラスが主流で44%、次いで90t/hクラスが30%の構成である。

(5) 稼働時間 「表－1」「表－3」「図－5」

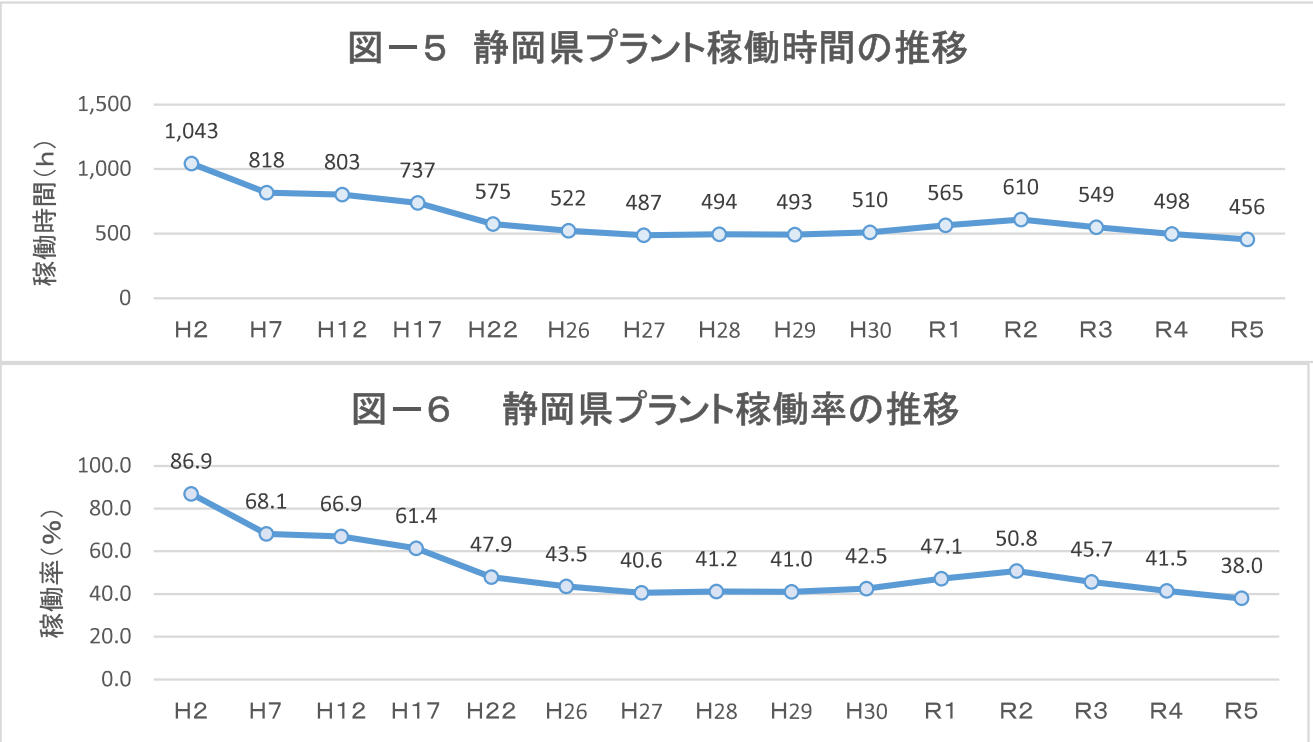
平成26年度(2014)には522hですが、令和2年度(2020)は610hの88h上昇。

令和5年度(2023)では456hの66h減少。

(6) 稼働率 「表－1」「表－3」「図－6」

平成26年度(2014)には43.5%ですが、令和2年度(2020)では50.8%の7.3ポイント上昇。

令和5年度(2023)では38.0%の5.5ポイント減少。



表－3

年 度	1990	1995	2000	2005	2010	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
基 数	38	32	32	29	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27	27
製造能力(t/h)	2,240	2,424	2,616	2,634	2,616	2,626	2,626	2,656	2,674	2,674	2,634	2,634	2,634	2,664	2,664
稼働時間(h)	1,043	818	803	737	575	522	487	494	493	510	565	610	549	498	456
稼働率(%)	86.9	68.1	66.9	61.4	47.9	43.5	40.6	41.2	41.0	42.5	47.1	50.8	45.7	41.5	38.0

2. 四半期別As合材製造量の推移 「表-4」「図-7」「図-8」

平成26年度の上半期の製造量は508千tで構成比は37%、下半期は861千tで63%。
令和5年度の上半期の製造量は546千tで45%、下半期は669千tで55%で8ポイントの上昇であった。
下半期に製造数量が集中する環境を改善することは、事業の平準化につながり、施策が目指している方向性が現れている資料となっています。

図-7 静岡県四半期別合材製造量の推移 (単位:t)

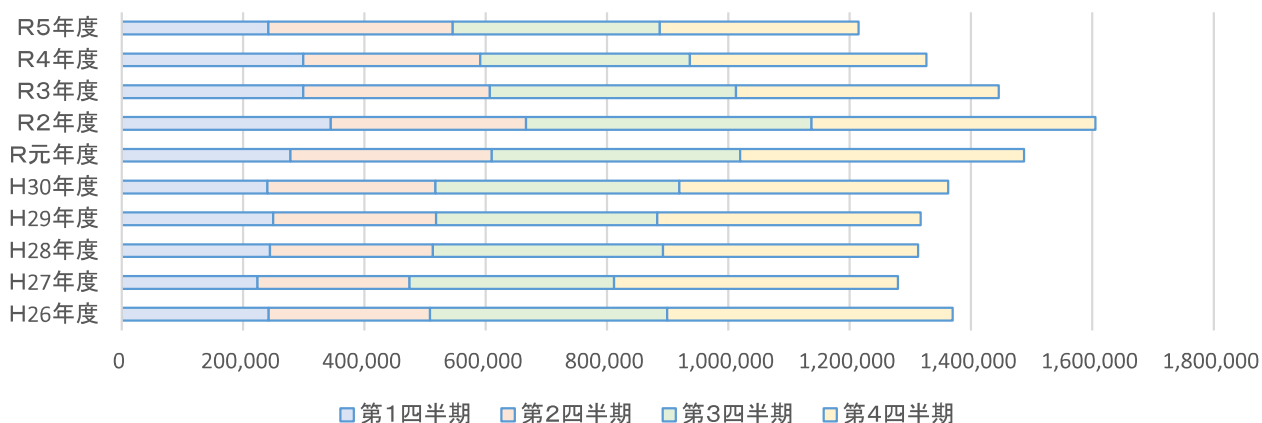


図-8 静岡県 四半期別 構成比の推移

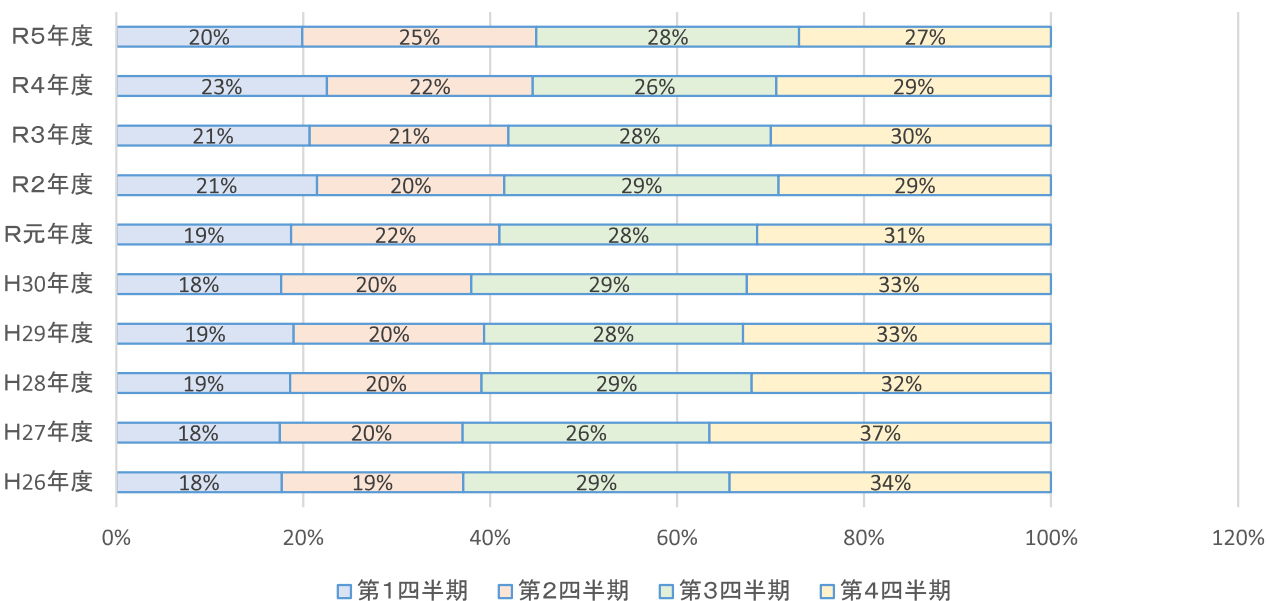


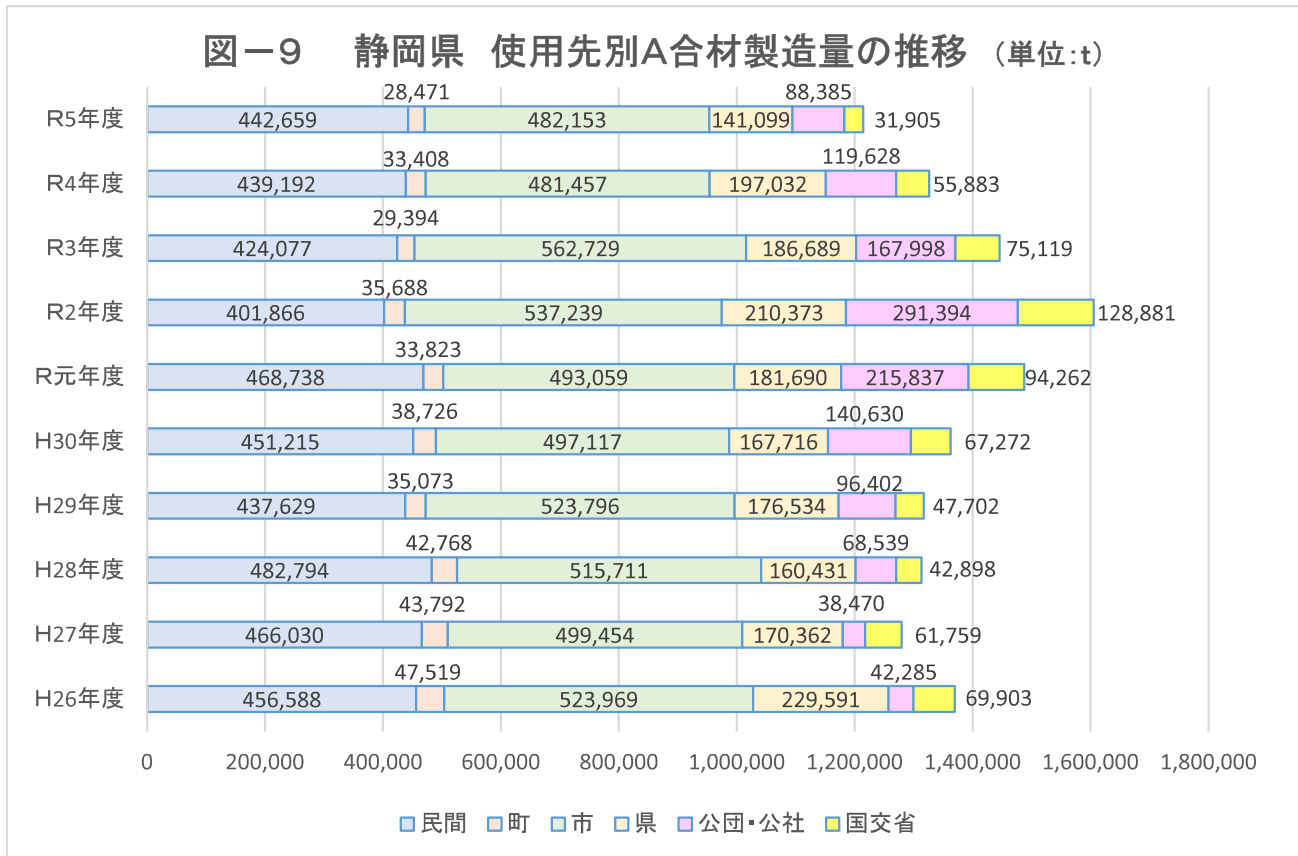
表-4 静岡県四半期別As合材製造量の推移 (単位:t)

年 度	第1四半期	第2四半期	上半期	構成比	第3四半期	第4四半期	下半期	構成比	合 計
R5年度	241,703	304,090	545,793	45%	341,439	327,440	668,879	55%	1,214,672
R4年度	299,209	291,796	591,005	45%	345,812	389,783	735,595	55%	1,326,600
R3年度	299,323	307,506	606,829	42%	405,731	433,446	839,177	58%	1,446,006
R2年度	344,709	321,754	666,463	42%	470,943	468,035	938,978	58%	1,605,441
R元年度	278,381	331,574	609,955	41%	409,885	467,569	877,454	59%	1,487,409
H30年度	240,449	277,063	517,512	38%	401,804	443,360	845,164	62%	1,362,676
H29年度	250,081	268,089	518,170	39%	364,859	434,107	798,966	61%	1,317,136
H28年度	244,570	268,668	513,238	39%	379,211	420,692	799,903	61%	1,313,141
H27年度	224,046	250,508	474,554	37%	337,435	467,878	805,313	63%	1,279,867
H26年度	242,540	265,879	508,419	37%	390,633	470,803	861,436	63%	1,369,855

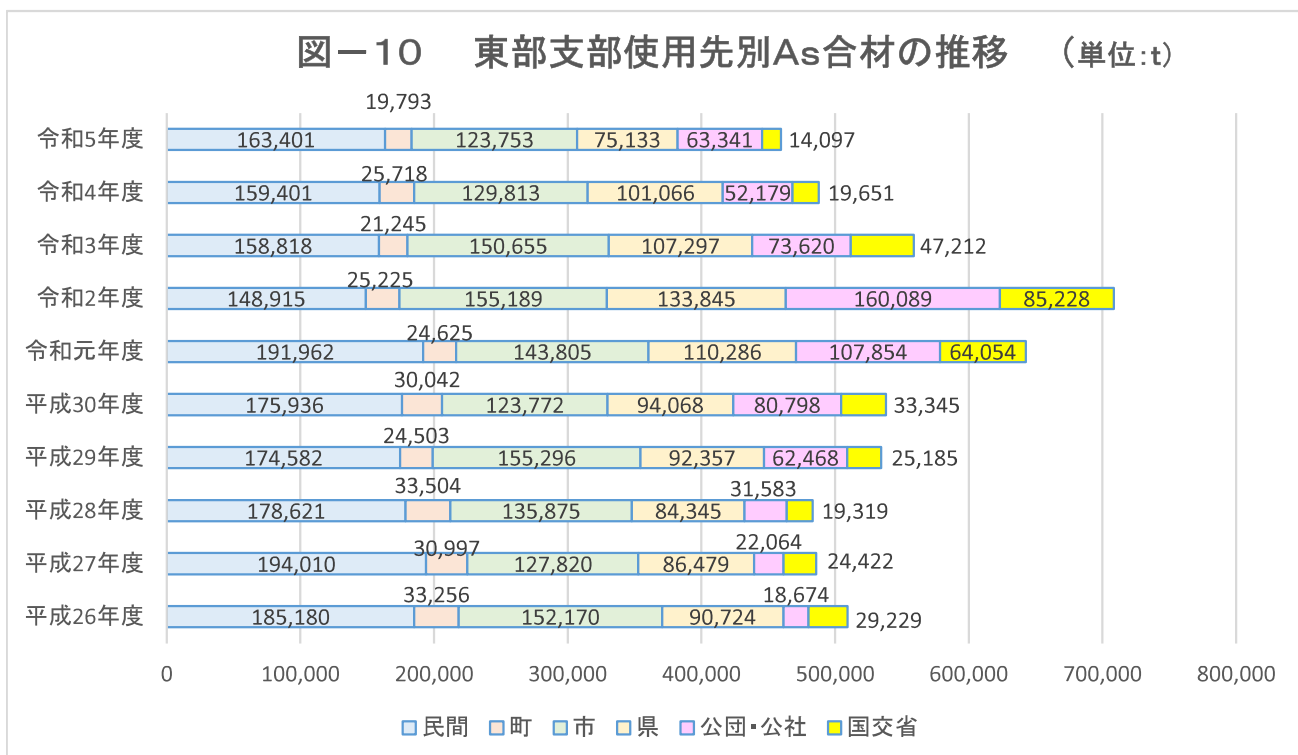
3. 使用先別As合材製造量の推移 「図-9」「図-10」「図-11」「図-12」

静岡県の使用先別As合材製造量の推移 「図-9」

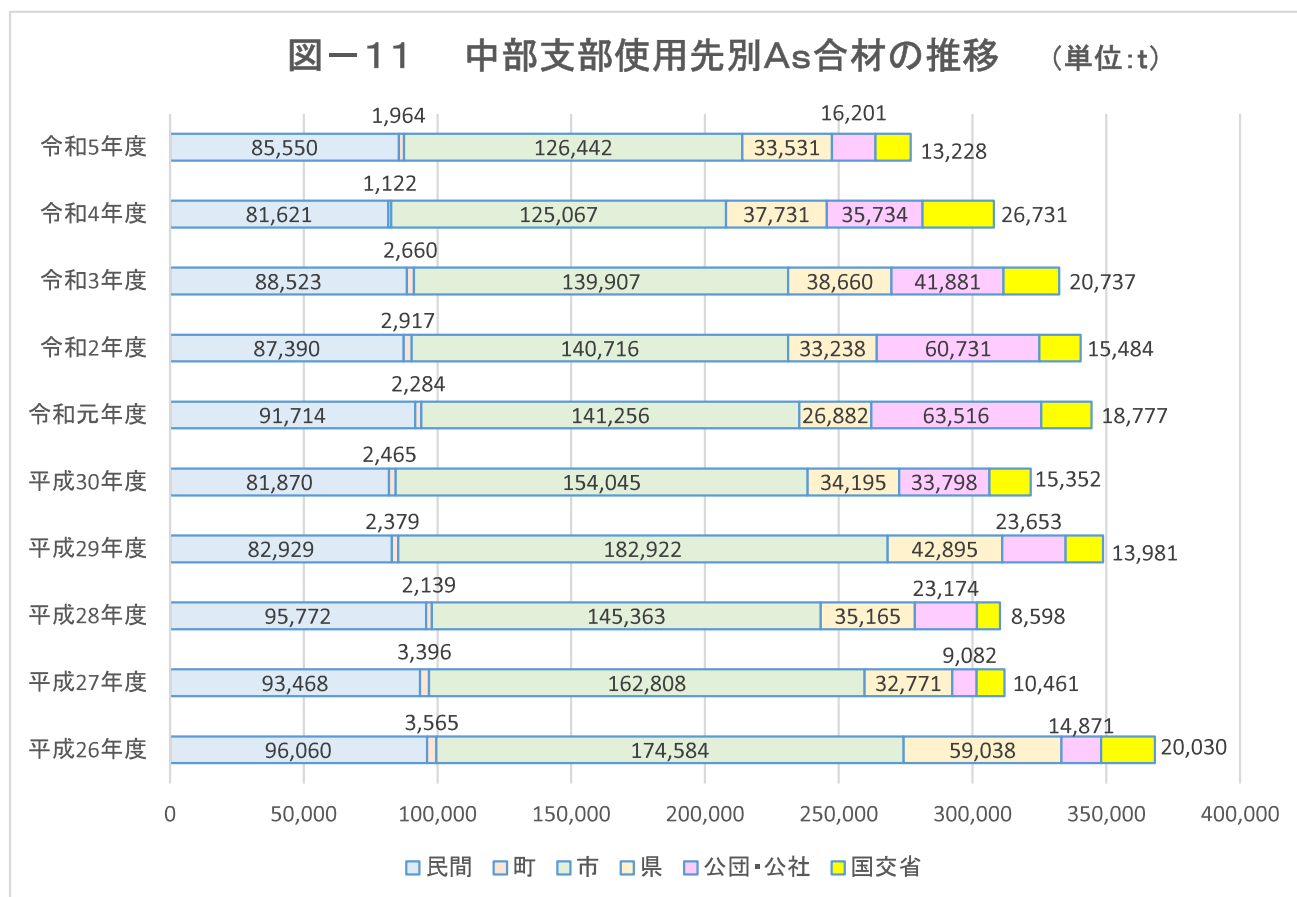
製造量が上昇し始める平成27年度と最高値の令和2年度を比較すると、(国)61千tから128千tの210%・(公団)38千tから291千tの766%・(県)170千tから210千tの124%・(市)499千tから537千tの108%・(町)48千tから37千tの77%・(民間)457千tから402千tの88%となる。



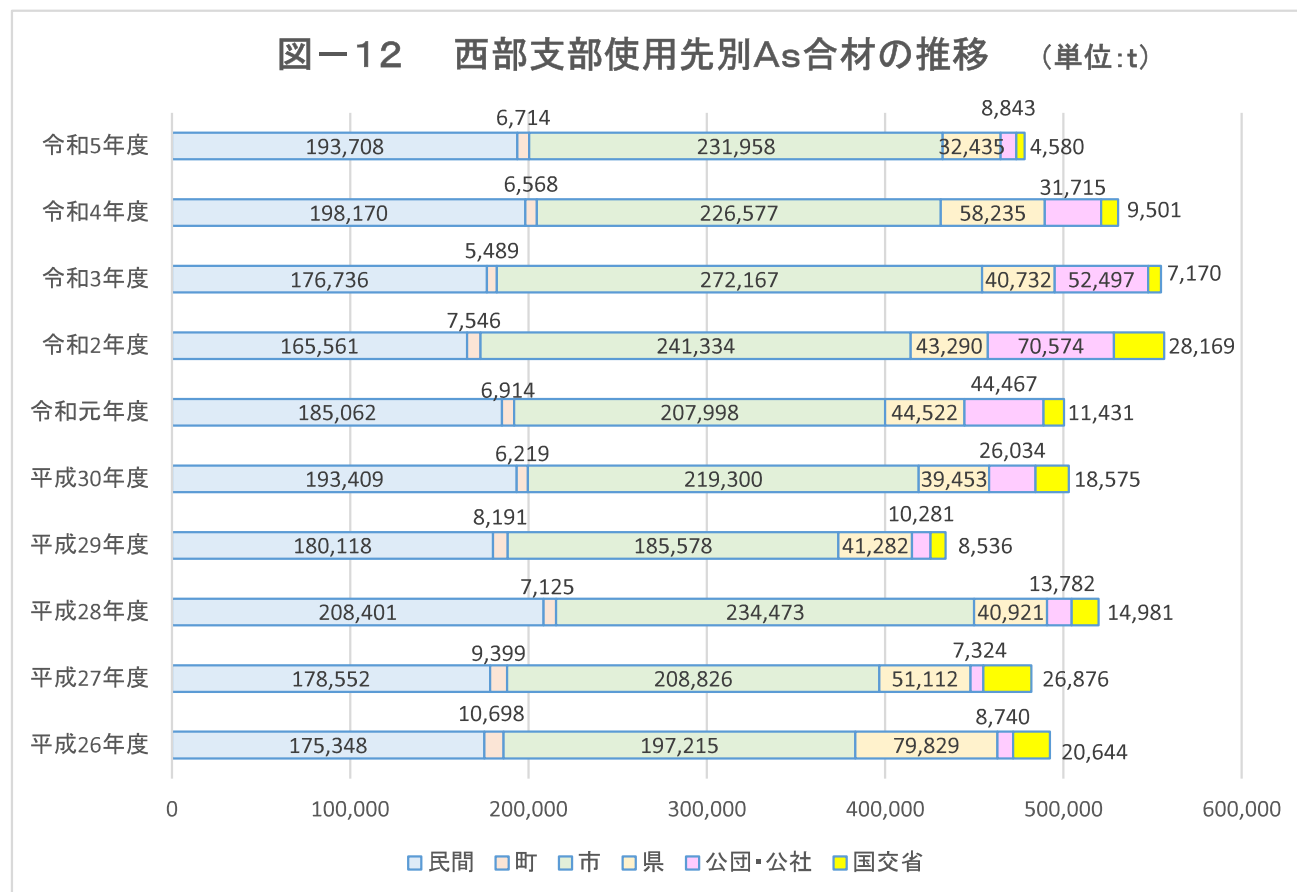
東部支部 使用先別As合材製造量の推移 「図-10」



中部支部 使用先別As合材製造量の推移 「図－11」



西部支部 使用先別As合材製造量の推移 「図－12」

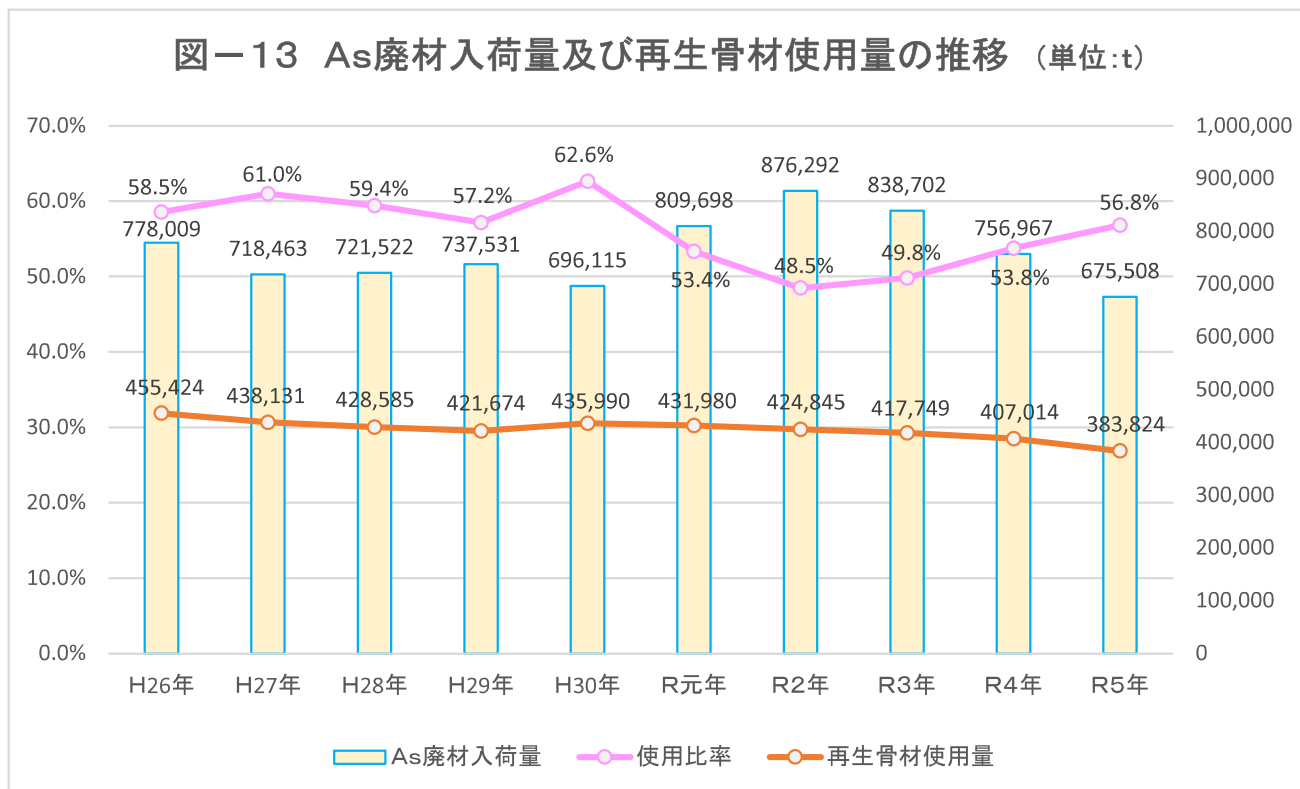


4. As廃材入荷量及び再生骨材使用量の推移 「図－13」

「図－13」はAs廃材入荷量入荷量に対して、再生合材に使用された再生骨材の比率である。

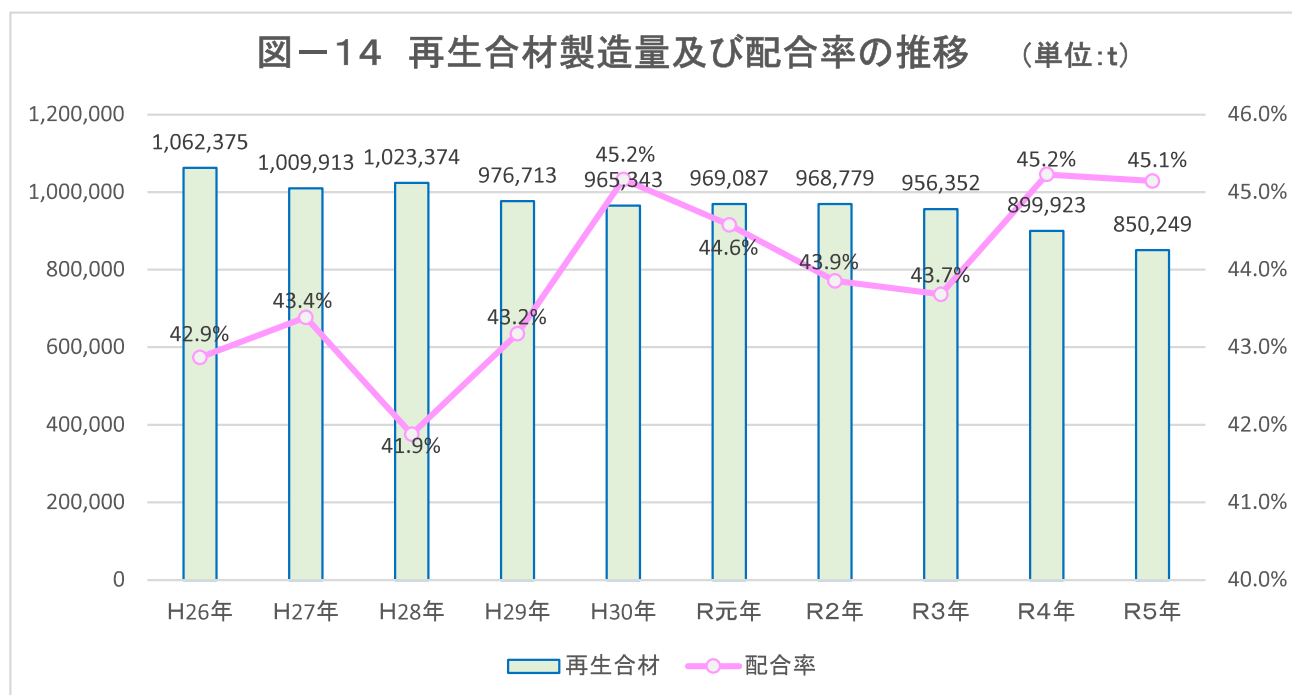
廃材入荷量は平成26年度(2014)778千tから、令和2年度(2020)876千t(112%)、令和5年度676千t(87%)
再生骨材使用量は平成26年度(2014)455千tから、令和5年度(2023)384千t(84%)

As廃材入荷量に対する再生骨材使用割合は平成26年度(2014)の58.5%から、
令和2年度(2020)は48.5%の10ポイント減少、令和5年度は56.8%の1.7ポイント減少



5. 配合率の推移 「図－14」

配合率は平成26年度(2014)の42.9%から、令和5年度(2023)45.1%へ2.2ポイント上昇



あとがき

毎月の合材製造実績の集計方法も、ファクシミリからインターネットへと時代は変遷し、各社の資料調査員の皆様方には業務多用にもかかわらず実績報告を頂き、厚く御礼を申し上げます。

協会設立後、50年に亘り地域のニーズに応え製造したAs合材が、間もなく9,000万トンに到達します。これらの出荷により、当県道路網(全国10位)が重要インフラとして県下352万人(全国10位)の生活を支えているということが、集計する立場として実感できました。

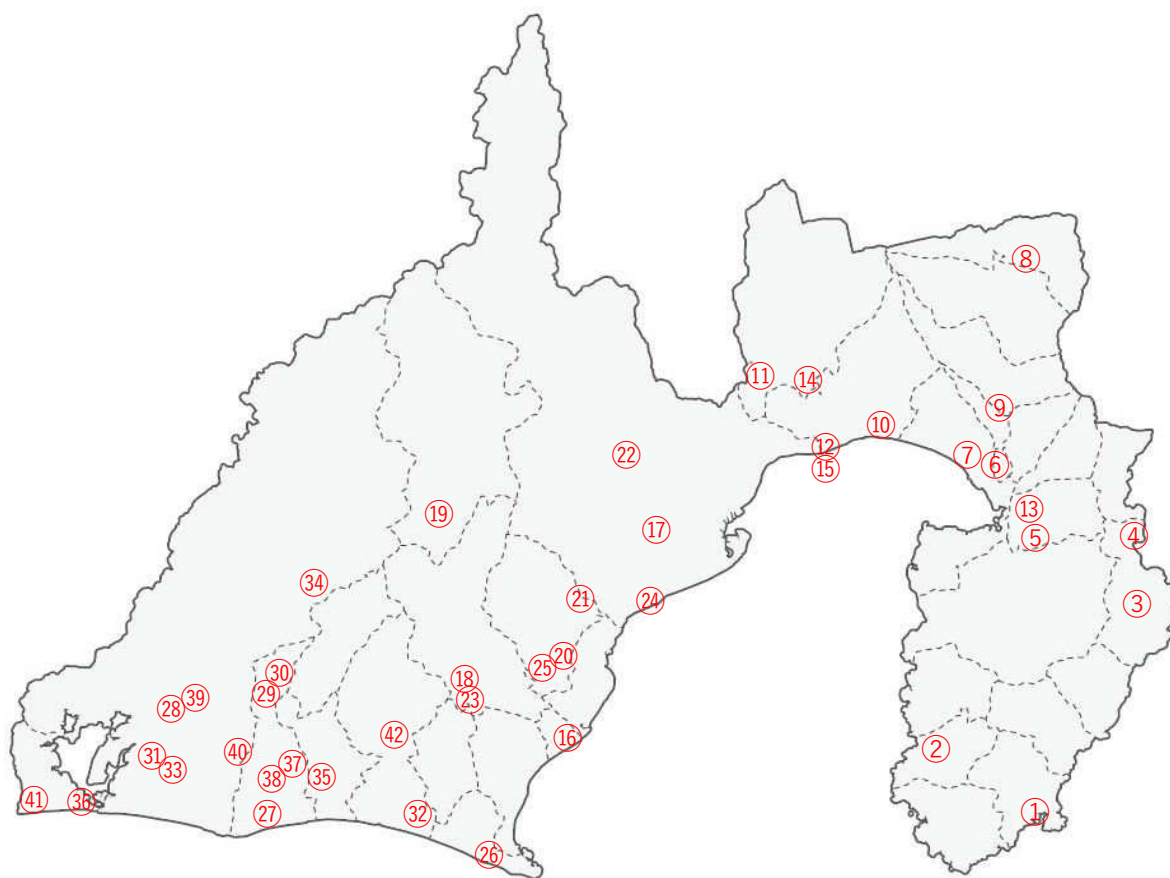
東日本大震災や能登半島地震を経験し東南海地震の発生が懸念されている現在、わが県の防災減災に寄与すべく、AS合材協会として累計製造1億トンを目指して参りましょう。

静岡県におけるアスファルトプラント数の変化

= プラント保有調書の記録より =

住所や文字等の不明確な部分は、記録からそのまま記載しています

【 昭和50年（1975年） 】 プラント数 ： 42 基



【 東部支部 】 15 基

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ(kg)
①	丸三工業(株)	下田市中字宇内山836-1	新潟鉄工	35	500
②	花菱合成(株)	賀茂郡松崎町那賀22-1	日工	35	500
③	(株)海野建設	伊東市萩向山649	田中铁工	60	1000
④	菅原建設(株)	伊東市宇佐美桜田1650	日工	50	800
⑤	昭和舗道(株)	田方郡大仁町三福岩下396-1	新潟鉄工	105	1500
⑥	山旺建設工業(株)	駿東郡清水町長沢1151	日工	45	500
⑦	落合建設(株)	沼津市西沢田117	東京工機	35	500
⑧	臼幸産業(株)	駿東郡小山町棚頭1226-1	日工	50	800
⑨	大有道路建設(株)	裾野市富沢235	10WA SEDARPIDS社	75	1000
⑩	富士道路(株)	富士市今井434-1	日工	80	1000
⑪	日本舗道(株)名古屋支店	富士郡芝川町長貫字中川原551-1	新潟鉄工	70	1000
⑫	日本道路(株)富士瀝青混合所	富士市五貫島1156	日工	60	1000
⑬	前田道路(株)	田方郡菰山町中条字前原406-1	日工	35	500
⑭	前田道路(株)	富士宮市黒田五反田230	日工	45	700
⑮	大成道路(株)静岡瀝青混合所	富士市五貫島1156	住友重工	60	1000

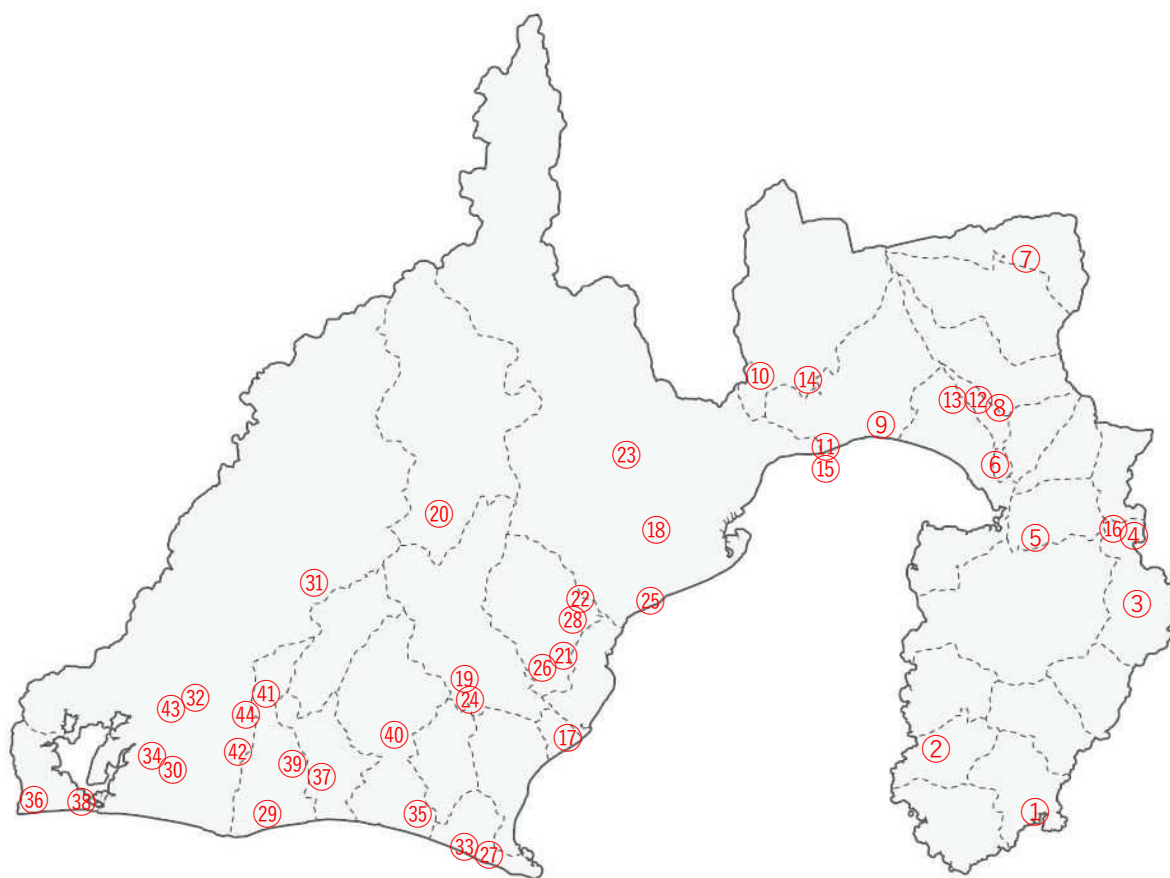
【 中部支部 】 1 1 基 ※製造能力の記録なし

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
⑯	大石建設(株)	榛原郡吉田町大幡1462-1	日工	-	1000
⑰	大林道路(株)	静岡市有水川原尻1035-5	日工	-	1000
⑱	大河原舗装(株)	榛原郡金谷町牛尻字下提畔	日工	-	1600
⑲	神谷建設(株)	中川根町上長尾	新潟鉄工	-	500
⑳	木内建設(株)	藤枝市稲川字大下852	日工	-	1000
㉑	住友建設(株)	志太郡岡部町吉本1646-4	日工	-	500
㉒	静和工業(株)	静岡市中沢15-1	日工	-	500
㉓	静和工業(株)	金谷町島	日工	-	1000
㉔	東海瀝青工業(株)	静岡市下川原3508-1	新潟鉄工	-	1000
㉕	花菱合成(株)	藤枝市瀬戸新屋355-1	東京工機	-	500
㉖	渡辺組	御前崎町白羽1832-1	東京工機	-	500

【 西部支部 】 1 6 基 ※製造能力の記録なし

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
㉗	(株)小笠原組	磐田郡竜洋町飛平松200-4	日工	-	500
㉘	(株)水野組	浜松市都田町鴨ヶ谷8546-2	日工	-	400
㉙	乗松建材合資	磐田郡豊岡村神増	田中鉄工	-	400
㉚	天竜土建工業(株)	磐田郡豊岡村下町部西の谷531	東京工機	-	250
㉛	須山建設(株)	浜松市伊左地町2497	住友重工	-	1000
㉜	須山建設(株)	小笠郡大東町大坂6369	日工	-	700
㉝	神谷建設(株)	浜松市和合町320	新潟鉄工	-	600
㉞	神谷建設(株)	周智郡春野町堀之内1262	新潟鉄工	-	600
㉟	(株)中村組	磐田郡浅羽町諸井1958-1	日工	-	800
㊱	(株)中村組	浜名郡新居町三つ谷2618-1	日工	-	700
㊲	中村建設(株)	磐田市岩井1907-204	日工	-	700
㊳	石川建設(株)	磐田市西貝塚2721-2	新潟鉄工	-	350
㊴	協和建設協業	引佐郡細江町847-5	新潟鉄工	-	1500
㊵	前田道路(株)	浜松市常光町字野永1570-1-1	日工	-	1000
㊶	大成道路(株)静岡瀝青混合所	湖西市白須賀字宿南3629-1	日工	-	750
㊷	日本舗道(株)名古屋支店	掛川市杉谷字京田	パースペクティブ社	-	1000

【 昭和60年（1985年） 】 プラント数 ： 44 基



【 東部支部 】 16 基

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ(kg)
①	丸三工業(株)	下田市中836-1	新潟鉄工	35	500
②	花菱合成(株)	賀茂郡松崎町那賀22-1	日工	35	500
③	(株)海野建設	伊東市萩向山649	田中铁工	40	600
④	菅原建設(株)	伊東市宇佐美下生土420	日工	48	800
⑤	昭和舗道(株)	田方郡大仁町三福岩下396-1	新潟鉄工	105	1500
⑥	山旺建設工業(株)	駿東郡清水町長沢1151	日工	60	1000
⑦	臼幸産業(株)	駿東郡小山町棚頭1226-1	日工	48	800
⑧	大有建設(株)	裾野市富沢235	田中铁工	60	1000
⑨	富士道路(株)	富士市今井434-1	日工	60	1000
⑩	日本舗道(株)芝川合材工場	富士郡芝川町長貫551-1	新潟鉄工	70	1000
⑪	日本道路(株)富士瀝青混合所	富士市五貫島1156	日工	60	1000
⑫	東静化工品(有)	駿東郡長泉町東野字入分平50-8	日工	30	500
⑬	前田道路(株)伊豆合材混合所	沼津市足高字尾の上441-200	日工	60	1000
⑭	前田道路(株)静岡瀝青混合所	富士宮市黒田230	日工	45	700
⑮	大成道路(株)静岡瀝青混合所	富士市五貫島1156	住友重工	60	1000
⑯	(株)斎藤組	伊東市宇佐美3500	東京工機	30	500

【 中部支部 】 12 基 ※製造能力の記録なし

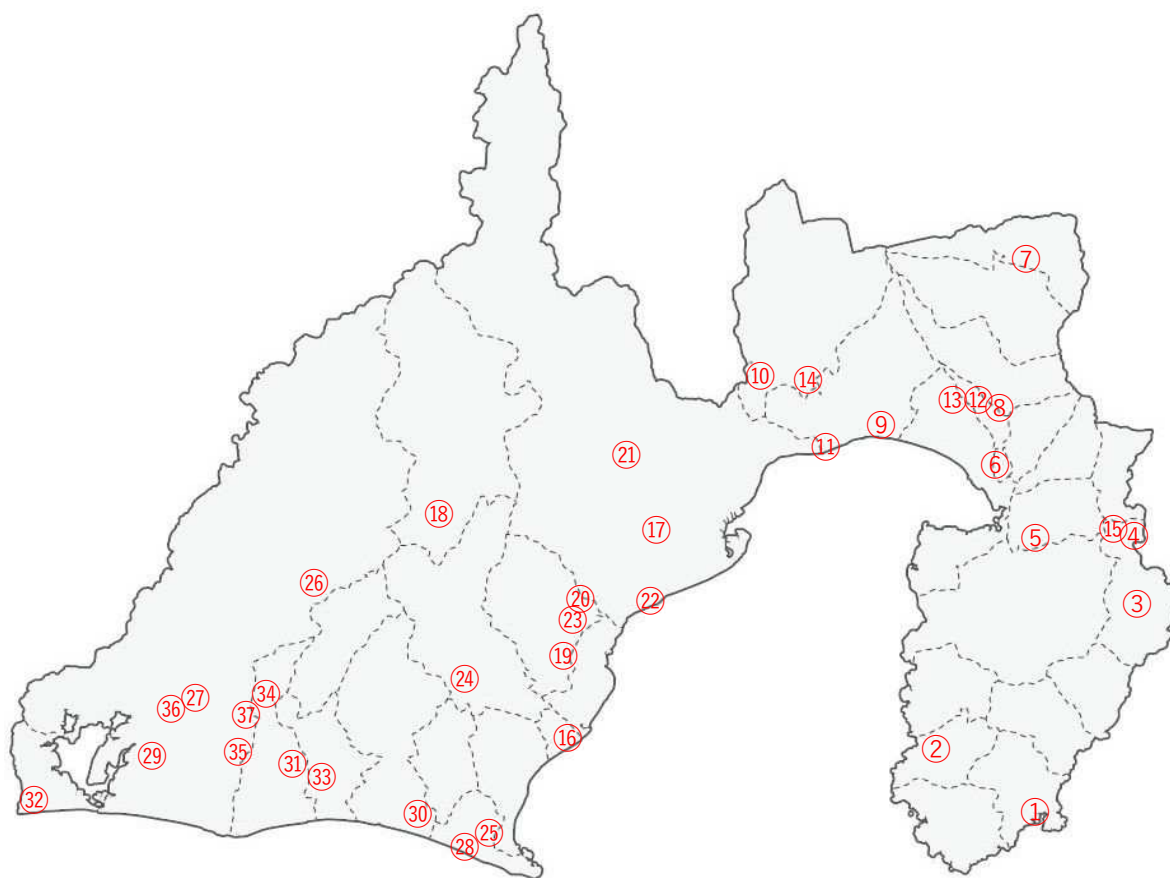
No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
⑰	大石建設(株)	榛原郡吉田町大幡1462-1	日工	-	1000
⑱	大林道路(株)	静岡市芝原21-21	日工	-	1000
⑲	大河原舗装(株)	榛原郡金谷町牛尾字下提畔	日工	-	1600
⑳	神谷建設(株)	榛原郡中川根町上長尾	新潟鉄工	-	500
㉑	静清コンクリート工業(株)	藤枝市稲川字大下852	新潟鉄工	-	1000
㉒	住友建設(株)	志太郡岡部町吉本1646-4	日工	-	500
㉓	静和工業(株)	静岡市中沢15-1	日工	-	500
㉔	静和工業(株)	榛原郡金谷町島37	日工	-	1000
㉕	東海瀝青工業(株)	静岡市下川原3508-1	新潟鉄工	-	1000
㉖	花菱合成(株)	藤枝市瀬戸新屋355-1	日工	-	500
㉗	(株)渡辺組	榛原郡御前崎町白羽1832-1	日工	-	500
㉘	前田道路(株)静岡合材混合所	志太郡岡部町内谷字藤田丸784-2	新潟鉄工	-	1000

【 西部支部 】 16 基 ※製造能力の記録なし

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
㉙	小笠原マル昇(株)	磐田郡竜洋町飛平松200-4	日工	-	500
㉚	神谷建設(株)	浜松市和合町320-1	新潟鉄工	-	600
㉛	神谷建設(株)	周智郡春野町堀之内1262	新潟鉄工	-	500
㉜	協和建設協業組合	引佐郡細江町中川847-5	新潟鉄工	-	1500
㉝	佐藤道路(株)	小笠郡浜岡町池新田8823-1	日工	-	1000
㉞	須山建設(株)	浜松市伊佐地町2497	新潟鉄工	-	1000
㉟	須山建設(株)	小笠郡大東町大坂6369	日工	-	700
㊱	大成道路(株)	湖西市白須賀字宿南3629-1	日工	-	700
㊲	(株)中村組	磐田郡浅羽町諸井1958-1	日工	-	800
㊳	(株)中村組	浜名郡新居町三ツ谷2618-1	日工	-	700
㊴	中村建設(株)	磐田市岩井1907-204	日工	-	1000
㊵	日本舗道(株)掛川合材工場	掛川市杉谷字京田	パナハートグリーン	-	1000
㊶	乗松建設(資)	磐田郡豊岡村上神増5-1	田中鉄工	-	600
㊷	前田道路(株)	浜松市常光町字野永1570-1-1	日工	-	1000×2基
㊸	(株)水野組	浜松市都田町鴨ヶ谷8546-2	日工	-	500
㊹	天竜川砂利プラント(協)	浜北市新堀1-1	新潟鉄工	-	1500

【 平成7年（1995年） 】

プラント数 ： 37 基



【 東部支部 】 15 基

※能力不明=休止または閉鎖

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ(kg)
①	丸三工業(株)	下田市中敷根909-1	新潟鉄工	36	600
②	花菱合成(株)	賀茂郡松崎町那賀22-1	日工	36	600
③	(株)海野建設	伊東市萩向山649	田中铁工	36	600
④	菅原建設(株)	伊東市宇佐美大窪3656-10	日工	48	800
⑤	昭和舗道(株)	田方郡大仁町三福岩下396-1	新潟鉄工	90	1500
⑥	山旺建設工業(株)	駿東郡清水町長沢1151	日工	120	2000
⑦	臼幸産業(株)	駿東郡小山町棚頭1366-1	日工	48	800
⑧	大有建設(株)	裾野市富沢235	田中铁工	60	1000
⑨	富士道路(株)	富士市今井434-1	日工	60	1000
⑩	日本舗道(株)芝川合材工場	富士郡芝川町長貫字中川原551-1	新潟鉄工	120	2000
⑪	日本道路(株)静岡合材センター	富士市五貫島1156	日工	60	1000
⑫	東静化工品(有)	駿東郡長泉町東野字八分平50-8	日工	30	500
⑬	前田道路(株)沼津合材工場	沼津市足高字尾の上441-200	日工	60	1000
⑭	前田道路(株)富士宮合材工場	富士宮市黒田高原209-7	日工	60	1000
⑮	(株)斎藤組	伊東市宇佐美3500	東京工機	-	-

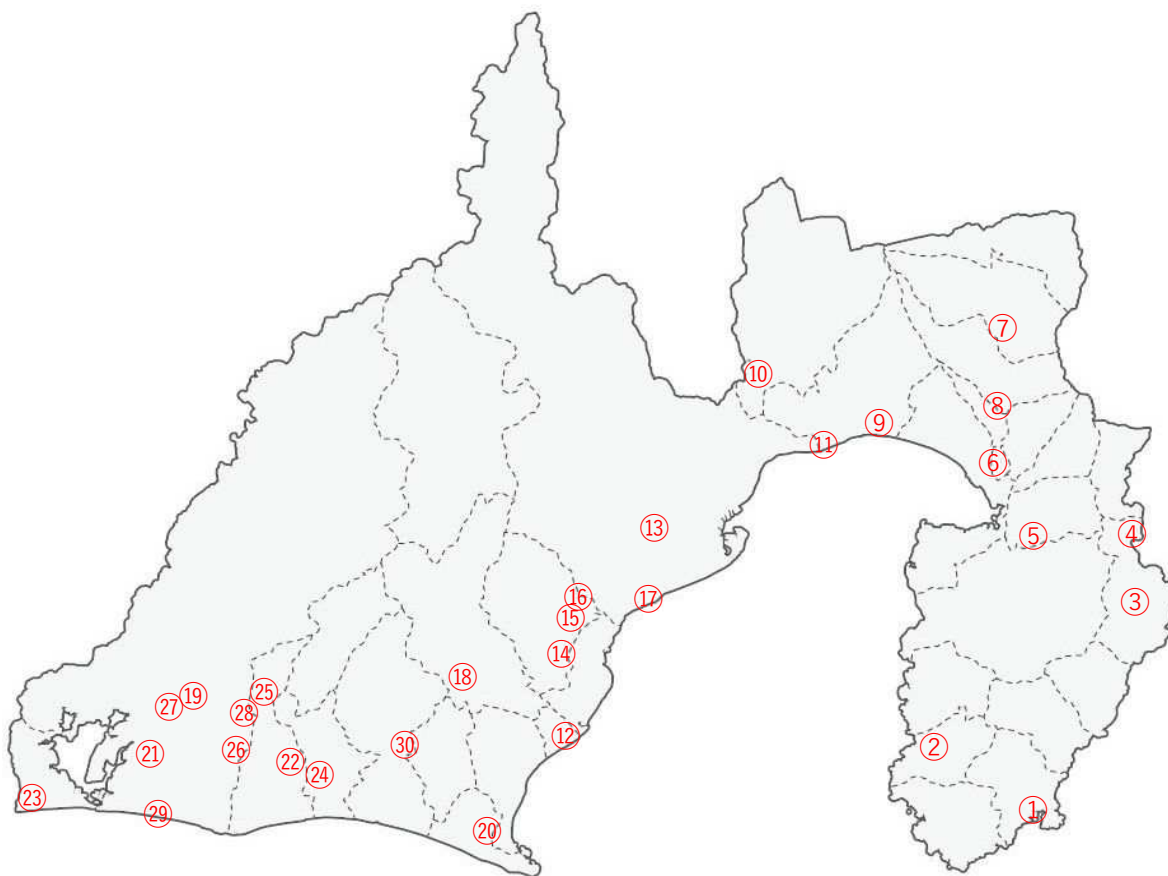
【 中部支部 】 9 基 ※能力不明＝休止または閉鎖

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
①⑥	大石建設(株)	榛原郡吉田町大幡1484-1	日工	60	1000
①⑦	大林道路(株)	静岡市芝原21-21	日工	120	2000
①⑧	神谷建設(株)	榛原郡中川根町上長尾	新潟鉄工	-	-
①⑨	セイエン商事(株)	藤枝市稲川字天下852	日工	60	1000
②⑩	住友建設(株)	志太郡岡部町岡部1439-2	日工	-	-
②①	静和工業(株)	静岡市中沢15-1	日工	-	-
②②	東海瀝青工業(株)	静岡市下川原3508-1	新潟鉄工	90	1500
②③	前田道路(株)	志太郡岡部町内谷字藤太丸784-2	新潟鉄工	60	1000
②④	静岡リサイクルセンター	榛原郡金谷町牛尾867-1	日工	120	2000

【 西部支部 】 13 基 ※能力不明＝休止または閉鎖

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
②⑤	(株)渡辺組	小笠郡浜岡町比木浜坂2038-1	日工	120	2000
②⑥	神谷建設(株)	周智郡春野町堀之内1262	新潟鉄工	-	-
②⑦	協和建設協業組合	引佐郡細江町中川847-5	新潟鉄工	90	1500
②⑧	浜岡アスコン	小笠郡浜岡町池新田9043-35	日工	60	1000
②⑨	西部リサイクルセンター(協)	浜松市伊佐地町2790-1	新潟鉄工	60	1000
③⑩	須山建設(株)	小笠郡大東町大坂6369	日工	42	700
③①	磐田瀝青舗材共同企業体	磐田市岩井1907-204	日工	120	2000
③②	湖西アスコン共同企業体	湖西市白須賀3629-1	日工	120	2000
③③	中遠合材センター協同企業体	磐田郡浅羽町諸井1951	新潟鉄工	120	2000
③④	乗松建設(株)	磐田市豊岡村上神増5-1	田中鉄工	60	1000
③⑤	前田道路(株)浜松合材工場	浜松市常光町野永1570-1-1	日工	120	2000
③⑥	西遠アスコン	浜松市都田町前原8546-5	日工	48	800
③⑦	天竜川砂利プラント(協)	浜北市新堀1-1	新潟鉄工	90	1500

【 平成17年（2005年） 】 プラント数 ： 30 基



【 東部支部 】 11 基

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ(kg)
①	丸三工業(株)	下田市巾敷根909-1	新潟鉄工	36	600
②	花菱建設(株)	賀茂郡松崎町那賀22-1	日工	36	600
③	(株)海野建設	伊東市萩向山649	田中铁工	36	600
④	菅原建設(株)	伊東市宇佐美大窪3656-10	日工	48	800
⑤	昭和舗道(株)	伊豆の国市三福396-1	新潟鉄工	90	1500
⑥	山旺建設工業(株)	駿東郡清水町長沢1151	日工	120	2000
⑦	御殿場合材センター	御殿場市神場3-20	新潟鉄工	120	2000
⑧	東部リサイクルセンター	裾野市富沢字向田235	田中铁工	120	2000
⑨	富士アスコン	富士市今井434-1	日工	60	1000
⑩	NIPPOコーポレーション芝川合材工場	富士郡芝川町長貫字中川原551-1	新潟鉄工	120	2000
⑪	日本道路(株)静岡合材センター	富士市五貫島1156	田中铁工	90	1500

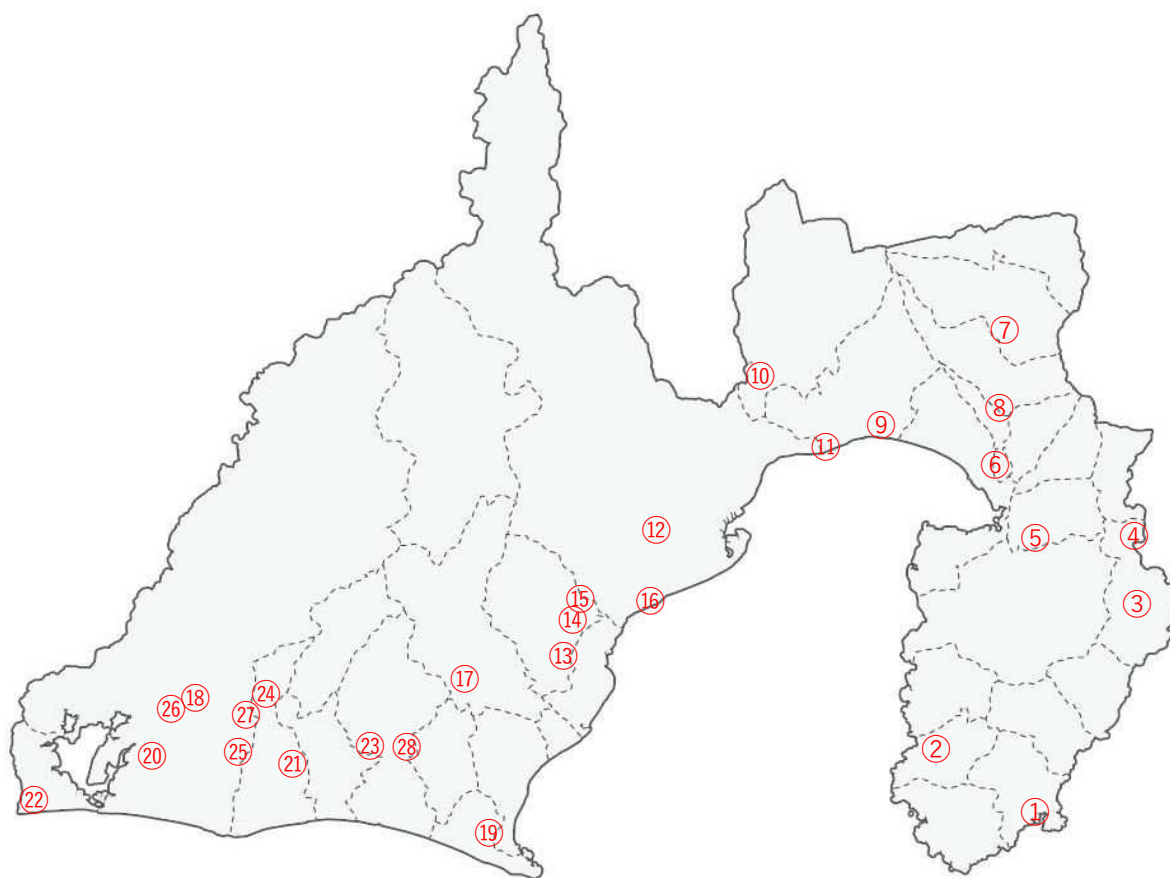
【 中部支部 】 7 基

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
①⑥	大石建設(株)	榛原郡吉田町大幡1484-1	日工	60	1000
①⑦	大林道路(株)	静岡市葵区芝原21-21	日工	120	2000
①⑧	(共)志太アスコン藤枝工場	藤枝市稲川字大下852	日工	60	1000
①⑨	(共)志太アスコン岡部工場	志太郡岡部町内谷字藤太丸784-2	新潟鉄工	90	1500
②⑩	岡部アスコン(共)	志太郡岡部町岡部1439-2	日工	90	1500
②①	東海瀝青工業(株)	静岡市駿河区下川原3508-1	日工・ニッポメックス	120	2000
②②	静岡リサイクルセンター	島田市牛尾867-1	日工	120	2000

【 西部支部 】 12 基

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
②⑤	協和建設協業組合	浜松市細江町中川847-5	新潟鉄工	90	1500
②⑥	浜岡アスコン(共)	御前崎市比木2038-1	日工	120	2000
②⑦	西部合材リサイクルセンター(協)	浜松市伊左地町1511-2	日工	120	2000
②⑧	磐田瀝青舗材(共)	磐田市岩井1907-204	日工	120	2000
②⑨	湖西アスコン(共)	湖西市白須賀3629-1	日工	120	2000
③⑩	中遠合材センター(共)	袋井市諸井1951	新潟鉄工	120	2000
③①	乗松建設(株)	磐田市豊岡村上神増5-1	田中铁工	60	1000
③②	前田道路(株)浜松合材工場	浜松市常光町814	日工	120	2000
③③	西遠アスコン	浜松市都田町前原8546-5	日工	60	1000
③④	天竜川砂利プラント(協)	浜北市新堀1-1	新潟鉄工	90	1500
③⑤	西遠コンクリート工業(株)	浜松市倉松町4048	新潟鉄工	60	1000
③⑥	(共)掛川アスコン	掛川市上内田字五百済2441-1	日工	60	1500

【 平成27年（2015年） 】 プラント数 ： 28 基



【 東部支部 】 11 基 ※能力の範囲表記＝新規合材と再生合材の製造した場合の能力変化

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ(kg)
①	丸三工業(株)	下田市巾敷909-1	新潟鉄工	36	600
②	花菱建設(株)	賀茂郡松崎町那賀22-1	日工	36	600
③	(株)海野建設	伊東市萩向山649	田中铁工	36	600
④	菅原建設(株)伊東瀝青混合所	伊東市宇佐美大窪3656-10	日工	48	800
⑤	昭和舗道(株)	伊豆の国市三福字岩下396-1	新潟鉄工	90	1500
⑥	山旺建設工業(株)	駿東郡清水町長沢1151	日工	120	2000
⑦	御殿場合材センター	御殿場市神場3-20	新潟鉄工	120	2000
⑧	(共)東部リサイクルセンター	裾野市富沢字向田235	田中铁工	120-150	2000-2500
⑨	前田道路(株)富士合材工場	富士市今井434-1	日工	60-90	1000-1600
⑩	(株)N I P P O 芝川合材工場	富士宮市長貫字中川原551-1	新潟鉄工	120	2000
⑪	日本道路(株)静岡合材センター	富士市五貫島1156	田中铁工	90	1500

【 中部支部 】 6 基 ※能力の範囲表記＝新規合材と再生合材の製造した場合の能力変化

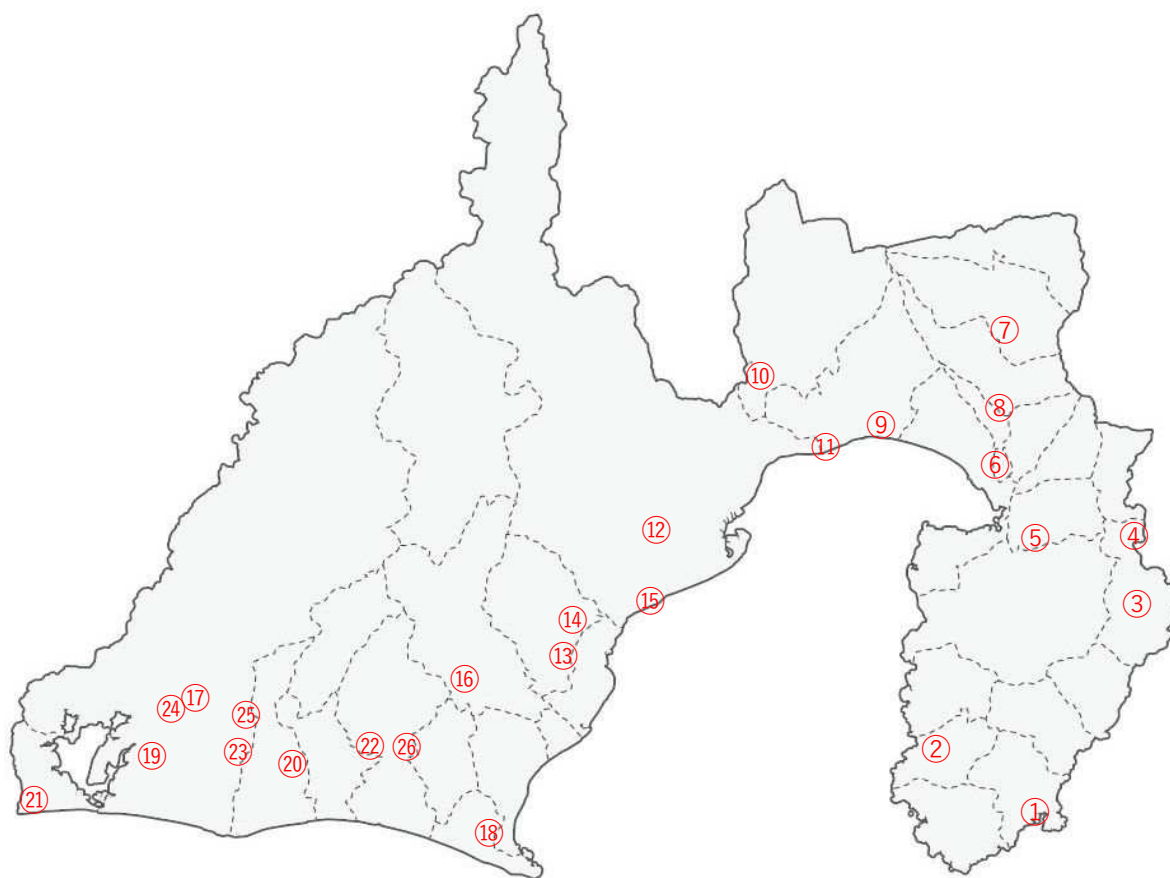
No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
⑫	大林道路(株)	静岡市葵区芝原21-21	日工	96-120	2000
⑬	(共)志太アスコン藤枝工場	藤枝市稲川字天下852	日工	60	1000
⑭	(共)志太アスコン岡部工場	藤枝市岡部町内谷字藤太丸784-2	新潟鉄工	60-90	1000-1500
⑮	静岡アスコン(共)	藤枝市岡部町岡部1439-2	日工	60-90	1000-1500
⑯	TOREKI・NIPPO JV	静岡市駿河区下川原南1-1	日工・ニッポ メックス	96-120	2000
⑰	静岡リサイクルセンター	島田市牛尾867-1	日工	96-120	2000

【 西部支部 】 11 基 ※能力の範囲表記＝新規合材と再生合材の製造した場合の能力変化

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
⑱	協和建設協業組合	浜松市北区細江町中川847-5	新潟鉄工	90	1500
⑲	浜岡アスコン(共)	御前崎市比木2038-1	日工	120	2000
⑳	西部合材リサイクルセンター(協)	浜松市西区伊左地町1511-2	日工	120	2000
㉑	磐田瀝青舗材事業所	磐田市岩井1907-204	日工	96	1600
㉒	湖西アスコン(共)	湖西市白須賀3629-1	日工	120	2000
㉓	中遠合材センター	掛川市高御所字曾我山1549-2	日工	60-90	1500
㉔	乗松建設(株)アスファルト合材工場	磐田市上神増5-1	田中铁工	60	1000
㉕	浜松中央アスコン前田工場	浜松市東区常光町814	日工	150	2500
㉖	西遠アスコン(共)	浜松市北区都田町8546-5	日工	60	1000
㉗	天竜川砂利プラント(協)アスファルト合材工場	浜松市浜北区新堀1-1	新潟鉄工	90	1500
㉘	(共)掛川アスコン	掛川市上内田字五百済2441-1	日工	60-90	1000-1500

【 令和6年（2024年） 】

プラント数 ： 26 基



【 東部支部 】 11 基

※能力の範囲表記＝新規合材と再生合材の製造した場合の能力変化

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ(kg)
①	丸三工業(株)	下田市巾敷909-1	新潟鉄工	36	600
②	花菱建設(株)	賀茂郡松崎町那賀22-1	日工	36	600
③	(株)海野建設	伊東市萩649-69	田中铁工	36	600
④	菅原建設(株)伊東瀝青混合所	伊東市宇佐美大窪3656-10	日工	48	800
⑤	昭和舗道(株)	伊豆の国市三福396-1	日工	90-105	1000-1500
⑥	山旺建設工業(株)	駿東郡清水町長沢1151	日工	96-120	1600-2000
⑦	御殿場合材センター	御殿場市神場3-20	新潟鉄工	120	2000
⑧	(共)東部リサイクルセンター	裾野市富沢字向田235	田中铁工	90-120	2000-2500
⑨	前田道路(株)富士合材工場	富士市今井434-1	日工	60-90	1500
⑩	(株)リサイクル芝川	富士宮市長貫字中川原551-1	新潟鉄工	120	2000
⑪	日本道路(株)静岡合材センター	富士市五貫島1156	日工・田中铁工	96-120	1600-2000

【 中部支部 】 5 基 ※能力の範囲表記＝新規合材と再生合材の製造した場合の能力変化

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
⑫	大林道路(株)	静岡市葵区芝原21-21	日工	96-120	2000
⑬	セイエン商事(株)木内アスコン藤枝工場	藤枝市稲川852	日工	60-78	1000-1300
⑭	(共)静岡つばさアスコン	藤枝市岡部町内谷字藤太丸784-2	日工	45-60	1000-1500
⑮	TOREKI・NIPPO JV	静岡市駿河区下川原南1-1	日工・ニッポ・メックス	96-120	2000
⑯	静岡リサイクルセンター	島田市牛尾867-1	日工	120	2000

【 西部支部 】 10 基 ※能力の範囲表記＝新規合材と再生合材の製造した場合の能力変化

No.	会社名	所在地	プラントメーカー	製造能力(t/h)	1 バッチ (kg)
⑰	(共)協和アスコン	浜松市中央区細江町中川847-5	日工	90	1500
⑱	浜岡アスコン(共)	御前崎市比木2038-1	日工	120	2000
⑲	西部合材リサイクルセンター(協)	浜松市中央区伊左地町1511-2	日工	120	2000
⑳	磐田瀝青舗材事業所	磐田市岩井1907-204	日工	96-120	1600-2000
㉑	湖西アスコン(共)	湖西市白須賀3629-1	日工	60-96	2000
㉒	中遠合材センター	掛川市高御所字曾我山1549-2	日工	60-90	1000-1500
㉓	浜松中央アスコン前田工場	浜松市中央区常光町814	日工・田中鉄工	90	2500
㉔	西遠アスコン(共)	浜松市中央区都田町8546-5	日工	60	1000
㉕	天竜川砂利プラント(協)アスファルト合材工場	浜松市中央区新堀1-1	新潟鉄工	90	1500
㉖	(共)掛川アスコン	掛川市上内田字五百済2441-1	日工	60	1000

アスファルトプラントの紹介

丸三工業株式会社 アスファルトプラント

●事業所概要

構成会社 : 丸三工業(株)

所在地 : 〒 415-0037 下田市敷根909-1

連絡先 : TEL 0558-23-3303 FAX 0558-23-5730 mail asplant@marusan03.co.jp

操業開始 : 1987年12月

従事者数 : 3名

敷地総面積 : 3, 5 0 0 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 6 0 0 kg/バッチ

新規合材 3 6 t/h

再生合材 - 再生配合率 -

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 3 6 t/h 【 (株) 新潟鐵工所 NP-600B 】

(操作盤) : 【 (株) 新潟鐵工所 Hello Touch 2 】

再生ユニット : - 【 】

[付帯設備]

合材サイロ : 無し 容量 : 【 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 不可能 受入品目 : -

処理場面積 : -

設備能力等 : - 【 】

再生品目 : -

●最近10年間における出来事

10年間を振り返ってみるといろいろな出来事がありました。特に印象に残っているのは事務所の建て替えになります。事務所建設に向けて計画し令和2年より造成工事を行い造成後には老朽化した動力配線・キュービクルの入替そして令和4年2月に新事務所が完成しました、今まで手狭だった事務所も大幅に広くなり職場環境が改善されました、今後はプラント本体についても少しずつ部分的な入替を計画し良い製品を提供できるように、品質・技術力の向上に努めていきたいと思っております。



野中 鈴木 渡邊

花菱建設株式会社 松崎工場

●事業所概要

構成会社 : 花菱建設株式会社

所在地 : 〒 410-3626 賀茂郡松崎町那賀22-1

連絡先 : TEL 0558-42-0772 FAX 0558-42-3065 mail

操業開始 : 1969年10月

従事者数 : 3名

敷地総面積 : 2 1 4 0 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 6 0 0 kg/バッチ

新規合材 3 6 t/h

再生合材

再生配合率

※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 3 6 t/h 【 日工 (株) A-TOM600A B d 】

(操作盤) : 【 日工 (株) n e x t - D u o - A 】

再生ユニット : 【 】

[付帯設備]

合材サイロ : 無し 容量 : 【 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 不可能 受入品目 :

処理場面積 :

設備能力等 : 【 】

再生品目 :

●最近10年間における出来事

昭和44年にプラントを設置、平成3年に建替えをし現在33年目のプラントであります。ここ10年で経年劣化による老朽化も進みバーナー、ドライヤー、本体タワー等大きな改修工事を実施し自社でできるような修理もコツコツとおこないプラントの維持管理に努めています。出荷量もこの10年平均で約3800tとかなり困難な状況ではありますが地域のインフラ整備に必要な施設としてこれからも努力してまいります。クロスチェックやプラント定期点検検査では他プラントの方より御指摘やアドバイスを頂き日常管理の精度や安全意識の向上につながっていると実感しております。今後も協力し合い、協会の発展に微力ながら貢献していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



株式会社海野建設 アスファルトプラント

●事業所概要

構成会社 : 株式会社 海野建設

所在地 : 〒 414-0053 伊東市荻649-69

連絡先 : TEL 0557-45-0662 FAX 0557-45-2446 mail unno-murakami@marble.ocn.ne.jp

操業開始 : 昭和55年7月

従事者数 : 3名

敷地総面積 : 3600 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 600 kg/ハッチ

新規合材 36 t/h

再生合材

再生配合率

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 36 t/h 【 田中鉄工(株) TSAP-600FAV 】

(操作盤) : 【 田中鉄工(株) ASPAC800 】

再生ユニット : 【 】

[付帯設備]

合材サイロ : 無し 容量 : 【 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 不可 受入品目 :

処理場面積 :

設備能力等 : 【 】

再生品目 :

●最近10年間における出来事

この10年間を振り返りますと、まずは昭和55年より使用しているプラントの大きな設備更新等がありました。平成29年に今まで県内で最後のホットオイル加熱式のプラントでしたが電気ヒーター式に移行しました。オイルボイラーの管理は非常に大変でしたので、それが電気式になり作業の効率が非常に改善されました。また、約10年2名体制で運営しておりましたが、本年より3名体制となった事です。



菅原建設株式会社 伊東瀝青混合所

●事業所概要

構成会社 : 菅原建設 (株)

所在地 : 〒 414-0001 伊東市宇佐美大窪 3 6 5 6 - 1 0

連絡先 : TEL 0557-47-1810 FAX 0557-47-3354 mail

操業開始 : 1 9 5 2 年

従事者数 : 2 名

敷地総面積 : 1, 8 3 0 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 8 0 0 kg/ハッチ

新規合材 4 8 t/h

再生合材

再生配合率

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 4 8 t/h 【 日工 (株) N A P ・ B D - 8 0 0 A B P 】

(操作盤) : 【 日工 (株) C o m m a n d - A r v o - A P 】

再生ユニット : 【 】

[付帯設備]

合材サイロ : 無し 容量 : 【 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 不可能 受入品目 :

処理場面積 :

設備能力等 : 【 】

再生品目 :

●最近 1 0 年間に於ける出来事

平成29年 重油タンク入替え

平成30年 操作盤入替え

令和 3年 ドライヤ、バーナ入替え

令和 4年 キュービクル入替え、スクリーン入替え、乾燥機・オートランマー・篩振とう機入替え

令和 5年 A S タンク入替え



プラント
本体

工場職員

R.6.12より新制服

山田

石井



事務所
試験室

昭和舗道株式会社

●事業所概要

構成会社 : 山本建設(株)・土屋建設(株)・中林建設(株)
後藤碎石販売(株)・丸紅エネルギー(株)

所在地 : 〒 410-2321 伊豆の国市三福396-1

連絡先 : TEL 0558-76-1663 FAX 0558-76-0039 mail ohito@wine.ocn.ne.jp

操業開始 : 1967年8月

従事者数 : 9名

敷地総面積 : 2,900 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1, 500 kg/バッチ

新規合材 60 t/h

再生合材 90 t/h 再生配合率 40 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 60 t/h 【 日工 (株) NAP・ABD-1000MBN 】

(操作盤) : 【 日工 (株) next-Duo 】

再生ユニット : 45 t/h 【 日工 (株) NRU・TOPα45-30AL 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 120 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 不可能 受入品目 :

処理場面積 :

設備能力等 : 【 】

再生品目 :

●最近10年間における出来事

2016年6月 : 再生骨材プラントの設備更新を実施
旧プラントは2重ドライヤー式となり、1つのドライヤーにて新材と再生骨材の加熱を行っていたが2重ドライヤー式を廃止し新材と再生骨材を別々のドライヤーにて加熱を行えるようになった

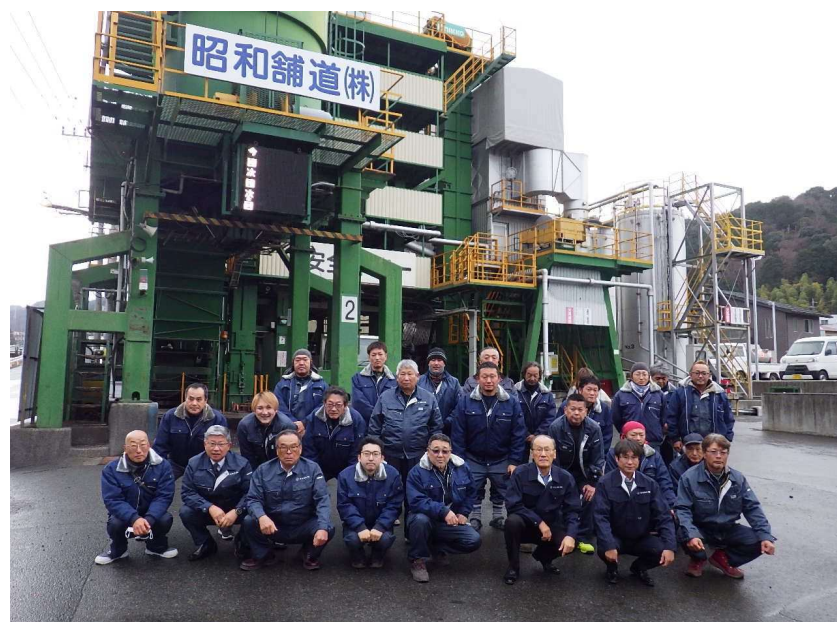
2017年8月 : 創立50周年を迎える
IZU VILLAGE (道の駅伊豆のへそ) にて記念式典実施

2019年5月 : プラント本体の設備更新を実施
新潟鐵工所 (NP1500C) から日工 (NAP・ABD-1000MBN) に変更



プラント全景

集合写真



工場職員
集合写真

山旺建設工業株式会社

●事業所概要

構成会社 : 山旺建設工業株式会社

所在地 : 〒 411-0905 駿東郡清水町長沢1151番地

連絡先 : TEL 055-973-1055 FAX 055-973-1057 mail

操業開始 : 1967年11月

従事者数 : 5名

敷地総面積 : 7, 507 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2, 000 kg/バッチ

新規合材 96 t/h

再生合材 120 t/h 再生配合率 40 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 96 t/h 【 日工 (株) NAP BD - 1600MBP 】

(操作盤) : 【 日工 (株) NEXT-EXA-AP 】

再生ユニット : 45 t/h 【 日工 (株) NRU TOP45 - 50AL 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 100 t × 1基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ)

処理場面積 : 2, 152 m²

設備能力等 : 33.8 t/h 【 日工 (株) KAP - 40 】

再生品目 : 再生骨材

●最近10年間における出来事

当社は、今年で創業58年目となります。
昭和42年11月15日に創業、昭和43年2月に浦賀製の新骨材プラントを設置し合材販売を開始しました。
現在、稼働している施設は、日工製の新骨材プラントが平成3年6月、同じく日工製の再生骨材ユニットが平成7年8月に設置され、安全を第一に考え工場の運営をしています。
周辺地域の粉塵対策を考え、令和元年9月に散水車を導入し場内外の美化活動に努めています。
今後も信用第一と考え、顧客のニーズに合わせ自然と環境との調和を図りながら、地域社会に認められるより良い品質の物を提供してまいります。



プラント全景



工場職員

御殿場合材センター

●事業所概要

構成会社 : (株) リサイクル御殿場・臼幸産業 (株)

所在地 : 〒 412-0047 御殿場市神場 3 丁目 2 0 番地

連絡先 : TEL 0550-88-0333 FAX 0550-88-0500 mail

操業開始 : 1 9 9 7 年 7 月

従事者数 : 1 2 名

敷地総面積 : 2 5、8 0 0 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2, 0 0 0 kg/バッチ

新規合材 1 2 0 t/h

再生合材 1 2 0 t/h 再生配合率 5 0 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 1 2 0 t/h 【 (株) 新潟鉄工所 NP-1 5 0 0 C 】

(操作盤) : 【 ニッポメックス (株) P r o-ME C X 】

再生ユニット : 6 0 t/h 【 (株) 新潟鉄工所 NRP 6 0 - C B 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 9 0 t × 1 基 ・ 1 1 0 t × 1 基 ・ 1 3 0 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 1, 8 0 0 m²

設備能力等 : 1 0 0 t/h 【 三協機械 (株) 破碎プラント 】

再生品目 : 再生骨材、再生盛土材、再生基礎裏込材

●最近 1 0 年間における出来事

- 平成29年：御殿場合材センター創業20周年を迎えた。
- 平成30年：毎月第2土曜日・日曜日を完全休業と制定した。
- 平成30年：ショベルローダーにWS S (人・物が範囲内に入ると自動停止システム) 搭載
- 令和3年：アスファルトプラントの燃料を重油から都市ガスへ変更した。
- 令和4年：粉塵対策としてバキュームクリーナーを導入した。(プラント・破碎施設)
- 令和4年：CO2フリー電力を導入
- 令和4年：機械式フォームド装置を導入し試験練り・試験施工を実施
- 令和5年：毎月第2第4土曜・日曜を連続休暇所得の実施。

アスファルトプラント



工場職員 2024.12.20撮影

アウン ミヤット トウ
原 麻祐子
小野 由美子
林 あすか
大橋 祐輝
林 公成
勝亦 徳重
瀬戸 達也
室伏 春男
金刺 靖昭

左上から



共同企業体 東部リサイクルセンター

●事業所概要

構成会社 : 大有建設(株)・前田道路(株)

所在地 : 〒410-1125 裾野市富沢字向田235

連絡先 : TEL 055-992-3563 FAX 055-993-6566 mail

操業開始 : 平成16年9月

従事者数 : 14名

敷地総面積 : 5,700 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2,500 kg/バッチ

新規合材 90 t/h

再生合材 150 t/h 再生配合率 50 % ※再生密粒度(13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 90 t/h 【田中鉄工(株) TAP-2025F-LB】

(操作盤) : 【田中鉄工(株) ASPUC FACE】

再生ユニット : 60 t/h 【田中鉄工(株) TRD-60-4F】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【120t×1基・140t×1基】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類(アスガラ)

処理場面積 : 2,169.8 m²

設備能力等 : 60 t/h 【田中鉄工(株) TCP-60】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材(民間)

●最近10年間における出来事

2021年7月に熱海で土石流の被害等ありましたが当プラントでもかなり甚大な被害を受けました。横に流れている川が氾濫し、破碎工場～プラント本体～試験室内まで泥水が流れ込み、日々復旧作業に追われました。TVで各地の自然災害関連のニュースを見るたび大変なことになっているなど感じていましたが、いざ当事者になると自然の恐ろしさを痛感し立ち尽くしてしまうような感覚でした。ある種貴重な経験が出来たため非常に思い出深い出来事でした。周辺状況だと数年前に138号の改修がされ山梨方面への利便性、伊豆縦貫道の河津方面が開通し河津下田方面への利便性も格段に良くなり、プライベートでも走るたびにどんどん便利で住みやすい街になっているなぁと感じるばかりです。



プラント本体
全景

プラント最上部から
富士山を望めます



工場職員（構成員）

前列左から 佐々木（前田・工場長）、山口（大有・工場長）、齋藤（前田・事務）
後列左から 長橋（前田・試験）、山本（大有・試験）、濱田（前田・機械）

前田道路株式会社 富士合材工場

●事業所概要

構成会社 : 前田道路(株)

所在地 : 〒 417-0846 静岡県富士市今井434-1

連絡先 : TEL 0545-33-0627 FAX 0545-33-0630

操業開始 : 1968年1月

従事者数 : 8名

敷地総面積 : 13,132 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1,500 kg/バッチ

新規合材 60 t/h

再生合材 90 t/h 再生配合率 49 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 60 t/h 【 田中鉄工 株式会社 TAP-1015G 】

(操作盤) : 【 田中鉄工 株式会社 ASPUC-FACE 】

再生ユニット : 45 t/h 【 田中鉄工 株式会社 TRD-45DA-4f 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 120 t × 1 基 ・ 100 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 2,362 m²

設備能力等 : 80 t/h 【 日工 株式会社 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材、再生盛土材

●最近10年間における出来事

富士合材工場は厳正な生産・品管管理により高品質のアスファルト混合物等を生産しています。国道1号線、139号線に隣接し、新東名・東名富士ICにも近く、優れたデリバリー性があり、また地域に密着したサービスを提供し、お客様のニーズにお応えします。

- ・令和4年5月より、機械式フォームドアスファルト混合方式を使用するでCO₂排出量削減
- ・再生可能エネルギー由来の電力であるRE100電力を利用しCO₂排出量を実質0% (東京電力)

プラント



工場職員



工場職員（構成員）

前列左から 川上（試験） 増田（機械） 横田（工場長） 稲垣（事務）
後列左から 沼澤（事務） 鈴木（機械） 増岡（試験） 中西（機械）

株式会社リサイクル芝川

●事業所概要

構成会社 : (株)リサイクル芝川

所在地 : 〒 419-0315 富士宮市長貫字中川原551-1

連絡先 : TEL 0544-65-0850 FAX 0544-65-1882 mail

操業開始 : 1972年 4月頃

従事者数 : 8名

敷地総面積 : 16,269 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2,000 kg/ハッチ

新規合材 120 t/h

再生合材 120 t/h 再生配合率 48 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 120 t/h 【 (株)新潟鐵工所 NP2000C 】

(操作盤) : 【 (株)MECX ProMECX 】

再生ユニット : 60 t/h 【 ニッポメックス(株) MXR60CB 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 90 t × 1 基 ・ 110 t × 1 基 ・ 130 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ)

処理場面積 : 1,938 m²

設備能力等 : 25 t/h 【 三協機械(株) 】

再生品目 : 再生骨材

●最近10年間における出来事

平成28年4月に(株)NIPPOコーポレーションから子会社化し、社名も(株)リサイクル芝川に変更しました。
平成30年には労働基準法改正により時間外の上限や有給休暇の消化義務等が導入され、プライベートな時間が増え心身ともに充実しました。しかし休みが増えた分当初は人手不足によりスケジュール調整が大変でした。
合材サイロには夜間自動出荷システムを導入し、従業員の労働の負担を軽減できました。
令和5年度にはフォームド技術を導入し、CO2削減に努めています



プラント

全体風景

池とベンチ
憩いの場



小牧

小島

市川

大畑

佐藤



工場職員

稲葉

西山

宇佐美

日本道路株式会社 静岡合材センター

●事業所概要

構成会社 : 日本道路(株)

所在地 : 〒 416-0946 富士市五貫島1156番地

連絡先 : TEL 0545-61-6276 FAX 0545-64-0251 mail

操業開始 : 1972年6月

従事者数 : 7名

敷地総面積 : 1 0 5 7 8 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1, 6 0 0 kg/ハッチ

新規合材 9 6 t/h

再生合材 1 2 0 t/h 再生配合率 5 0 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 9 6 t/h 【 日工 (株) N A P - 1 6 2 0 】

(操作盤) : 【 田中鉄工(株) ASPUC-FACEⅢ 】

再生ユニット : 6 0 t/h 【 日工 (株) T R D - 6 0 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 1 2 0 t × 1 基 ・ 1 0 0 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ)

処理場面積 : 2 8 5 2 m²

設備能力等 : 4 0 t/h 【 中山鉄工所(株) 】

再生品目 : 再生骨材

●最近10年間における出来事

静岡合材センターは、2016年にプラントの更新を行い、過去10年間にわたり地域のインフラ整備に貢献してきました。特に、東名高速道路や新東名高速道路に関連する工事が多く、地域の交通網の発展に寄与しています。

また、施工体制の整備や業務の効率化を図り、時間外労働の削減や休日日数の確保にも努めています。さらに、環境への配慮を重視し、アスファルトのリサイクル循環と廃PETボトルや廃漁網などの廃材を舗装材に再利用する取り組みを継続的に行い、持続可能な社会の実現を目指しています。

今後も最新技術と効率的な施工体制を導入し、地域社会に貢献し続けます。



プラント風景

新旧比較してみました

2014



2024



工場職員

安西

内藤

木下

佐藤

木田

深澤

庄司

大林道路株式会社 静岡アスファルト混合所

●事業所概要

構成会社 : 大林道路㈱

所在地 : 〒 420-0955 静岡県静岡市葵区芝原21-21

連絡先 : TEL 054-247-3667 FAX 054-247-3263 mail

操業開始 : 昭和48年4月

従事者数 : 12名

敷地総面積 : 18,238 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2,000 kg/バッチ

新規合材 96 t/h

再生合材 120 t/h 再生配合率 45 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 96 t/h 【 日工 (株) NAP BD - 1600MBN 】

(操作盤) : 【 田中鉄工 (株) ASPUC-FACE 】

再生ユニット : 60 t/h 【 日工 (株) NRUα60-50AL 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 140 t × 1 基 ・ 120 t × 1 基 ・ 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 1,133 m²

設備能力等 : 100 t/h 【 株式会社 中山鉄工所 定置式リサイクルプラント 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材

●最近10年間における出来事

この10年間での大きな出来事として、2022年に新破砕プラントが稼動しました。がれき類の処理能力が240t/日から800t/日へと大幅に能力アップし、安定した製造管理ができるようになりました。現場については中部横断道や新東名6車線化工事など大規模な工事に当プラントが携われたことです。

10年で変化したことといえば、脱炭素化や周辺環境への配慮等、環境問題に関するプラントの取組みも大きく変化した様感じます。弊社プラントも、これからの10年も時代の変化とともにより良いアスファルト合材を出荷していく様、尽力してまいります。



アスファルトプラント写真



新破碎プラント写真



プラント職員集合写真



セイエン商事株式会社 木内アスコン藤枝工場

●事業所概要

構成会社 : セイエン商事 (株)

所在地 : 〒 426-0022 藤枝市稲川 8 5 2

連絡先 : TEL 054-641-6424 FAX 054-643-7863 mail

操業開始 : 1 9 6 8 年 1 月

従事者数 : 1 2 名

敷地総面積 : 8, 3 1 1 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1, 3 0 0 kg/バッチ

新規合材 6 0 t/h

再生合材 7 8 t/h 再生配合率 4 0 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 7 8 t/h 【 日工 (株) NAP BD - 1 0 0 0 MBP 】

(操作盤) : 【 日工 (株) AUTOPYRO 】

再生ユニット : 3 0 t/h 【 日工 (株) NRU TOP α 3 0 - 3 0 AD 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 1 0 0 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 5, 4 3 6 m²

設備能力等 : 3 0 t/h 【 中山鉄工所 (株) ZAC - 3 0 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材

●最近 1 0 年間ににおける出来事

静岡県アスファルト合材協会、創立50周年、誠におめでとうございます。
最近10年間を振り返りますと、平成15年から13年間の共同企業体の経験を経て平成28年9月より木内建設(株)木内アスコン藤枝工場として単独再稼働、6年後の令和4年9月からは木内建設(株)より分社化し、セイエン商事(株)木内アスコン藤枝工場として製造・販売を実施(破碎中間処理業もセイエン商事(株)にて新規取得)と組織変更が続く10年間でした。
メンバーも事務・試験・出荷・製造に新しい人員が加わり、平成6年9月には事務所立替も実施、事業継続に向けて工場一丸となつて、品質・技術の向上を図り、より一層の地域貢献と業界の発展に微力ながら努めて行きたいと考えております。



プラント
朝礼風景

事務所
新旧比較してみました



工場職員
旧制服バージョン

共同企業体 静岡つばさアスコン

●事業所概要

構成会社 : 前田道路（株）・三井住建道路（株）・大成ロテック（株）

所在地 : 〒 421-1131 藤枝市岡部町内谷字藤太丸784-2

連絡先 : TEL 054-667-1844 FAX 054-667-1115 mail

操業開始 : 1982年12月

従事者数 : 15名

敷地総面積 : 8,902 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1,500 kg/バッチ

新規合材 60 t/h

再生合材 90 t/h 再生配合率 50 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 60 t/h 【 日工（株） NAP ABD - 1600CBN 】

（操作盤） : 【 日工（株） NEXT-Exa-AP 】

再生ユニット : 45 t/h 【 日工（株） NRU TOPα45 - 30AL 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 100 t × 1基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類（アスガラ、コンガラ）

処理場面積 : 1,476 m²

設備能力等 : 60 t/h 【 日鐵鉱業（株） PEH-II 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材

●最近10年間における出来事

1982年に前田道路(株)静岡合材混合所として開業し、2003年9月、木内建設(株)と共同企業体を結成し、志太アスコンとして運営開始、2016年9月からは前田道路(株)静岡合材工場として営業を継続、8年後の2024年4月より、前田道路(株)・三井住建道路(株)・大成ロテック(株)の3社による共同企業体 静岡つばさアスコン を設立。加熱・再生合材工場と、2か所の中間処理施設で、資源のリサイクル向上を目指す総合工場として地域に貢献する。



SHIZUOKA
つばさアスコン



TOREKI・NIPPO JV

●事業所概要

構成会社 : 東海瀝青工業（株）・（株）NIPPO

所在地 : 〒 421-0117 静岡市駿河区下川原南1-1

連絡先 : TEL 054-259-9564 FAX 054-257-3841

操業開始 : 1963年

従事者数 : 12名

敷地総面積 : 7,606 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2,000 kg/バッチ

新規合材 96 t/h

再生合材 120 t/h 再生配合率 45 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 96 t/h 【 日工（株） NAP BD - 1600MBN 】

（操作盤） : 【 （株）MECX PROMECX 】

再生ユニット : 60 t/h 【 （株）MECX MRX60—CB形 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 100 t × 1 基 ・ 120 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類（アスガラ）

処理場面積 : 1,500 m²

設備能力等 : 60 t/h 【 （株）権平工作所 】

再生品目 : 再生骨材、再生盛土材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材

●最近10年間における出来事

2023年に東海瀝青工業は、創業60周年を迎えることができました。操業当初、プラント周辺は畑や果樹園等しかありませんでしたが、時代の流れと共に住宅地やアパート・商業施設などが増え、周辺環境対策には細心の注意を図り操業しております。

2023年11月に担い手育成活動の一環として、静岡市から依頼をいただき「親子見学会」を開催しました。総勢23名の方に参加いただき、アスファルト合材の製造・舗装工事体験を行いました。打設後に舗装面にお絵描きしたり、重機の試乗体験も行い少しでも興味を持ってくれたらと思います。

プラント 全景



県職員採用三年目研修会



親子見学会



共同企業体 静岡リサイクルセンター

●事業所概要

構成会社 : 鹿島道路(株)・(株)エコワーク・花菱建設(株)・大石建設(株)
神谷建設(株)・鈴木建設(株)

所在地 : 〒 428-0006 静岡県島田市牛尾867-1

連絡先 : TEL 0547-46-2911 FAX 0547-46-3181 mail

操業開始 : 1990年7月

従事者数 : 9名

敷地総面積 : 10,462 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2,000 kg/バッチ

新規合材 96 t/h

再生合材 120 t/h 再生配合率 48 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 96 t/h 【 日工 (株) NAP BD - 1600MBN 】

(操作盤) : 【 日工 (株) NEXT-AP 】

再生ユニット : 45 t/h 【 日工 (株) NRUα45 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 100 t × 1 基 ・ 120 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 6,720 m²

設備能力等 : 150 t/h 【 中山鉄工所(株) ZAC - 30 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材、再生盛土材

●最近10年間における出来事

1991年に静岡リサイクルセンターとして開業し、2019年4月に現構成員会社と共同企業体として運営開始し現在に至る。

この10年においては、新東名高速道路の開通、原材料費の高騰、働き方改革の促進、環境問題の改善対策など様々な時代の変化を感じる年月と実感しています。

今後の運営として、担い手の確保が必要であり、毎年高校生のインターシップ活動を率先的に受入、業界への興味とやりがいを提供していきたいと考えております。

これからの静岡県アスファルト協会の益々のご繁栄を祈念いたします。



共同企業体 協和アスコン

●事業所概要

構成会社 : 協和建設（協）、前田道路（株）、西遠コンクリート工業（株）

所在地 : 〒 431-1304 浜松市浜名区細江町中川847-5

連絡先 : TEL 053-522-0804 FAX 053-522-0766 mail

操業開始 : 1967年3月

従事者数 : 9名

敷地総面積 : 20,000 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1,500 kg/バッチ

新規合材 90 t/h

再生合材 90 t/h 再生配合率 50 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 90 t/h 【 (株) 新潟鐵工所 NP1500B 】

(操作盤) : 【 日工 (株) next-Duo 】

再生ユニット : 45 t/h 【 日工 (株) NRU45-60AL 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 100 t × 2基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 2,311 m²

設備能力等 : 100 t/h 【 日鉄鉱業 (株) PEH-3型125/140 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材、再生盛土材

●最近10年間における出来事

当合材プラントは、昭和42年3月操業開始以来、協和建設協業組合が地元業者の組合員の出資のもと運営していましたが、平成28年7月1日より協和建設協業組合・前田道路（株）・西遠コンクリート工業（株）の3社により共同企業体協和アスコンとして運営を開始致しました。
これからより一層、良い製品の提供出来るよう品質・技術力の向上に努めて参りますので、皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。
静岡県アスファルト合材協会と会員の皆様の益々の発展をお祈りいたします。



プラント本体



リサイクル



工場職員

浜岡アスコン共同企業体

●事業所概要

構成会社 : (株)佐藤渡辺・共和建設(株)・(株)加藤組

所在地 : 〒 437-1602 御前崎市比木2038-1

連絡先 : TEL 0537-85-3393 FAX 0537-85-4627 mail

操業開始 : 1994年9月

従事者数 : 8名

敷地総面積 : 11,930 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2,000 kg/ハッチ

新規合材 120 t/h

再生合材 120 t/h 再生配合率 45 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 120 t/h 【 日工 (株) N A P ・ F B D - 2 0 0 0 A B V 】

(操作盤) : 【 日工 (株) n e x t - E x a - A P 】

再生ユニット : 45 t/h 【 日工 (株) N R U - T O P α 4 5 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 120 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 1,035 m²

設備能力等 : 210 t/h 【 中山鉄工所(株) H A C 6 0 R 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材

●最近10年間における出来事

2024年	8月	再生下層路盤材販売開始	以前の出来事
2023年	4月	丸尾工場長就任	2005年 10月 (株)渡辺組と佐藤道路(株)が
2022年	8月	初の新入社員配属	合併し(株)佐藤渡辺となる
2021年	11月	破碎工場稼働開始	2005年 4月 (株)渡辺組 (株)加藤組 共和建設(株) 佐藤道路(株)と合併し浜岡アスコン共同企業体となる
			1994年 9月 (株)渡辺組浜岡工場として新設



プラント
朝礼風景



プラント
全 景



工場職員

西部合材リサイクルセンター協同組合

●事業所概要

構成会社 : 須山建設(株)・パブリック技建(株)・(株)浜建・西遠建設(株)・(株)泉組
・日本道路(株)・鹿島道路(株)

所在地 : 〒 431-1111 浜松市中央区伊左地町1511-2

連絡先 : TEL 053-484-3820 FAX 053-484-3821 mail info@seibugouzai.or.jp

操業開始 : 1985年3月(2001年10月現在の場所へ移設)

従事者数 : 19名

敷地総面積 : 42,000 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2,000 kg/バッチ

新規合材 96 t/h

再生合材 120 t/h 再生配合率 40 % ※再生密粒度(13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 96 t/h 【 日工(株) NAP・ABD-1600MBN 】

(操作盤) : 【 日工(株) コマンドNEXT 】

再生ユニット : 60 t/h 【 日工(株) NRU・ATOPα60 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 100t×1基・120t×1基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類(アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 3,640 m²

設備能力等 : 120 t/h 【 中山鉄工所(株) ZAC60R型 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材、再生盛土材

●最近10年間における出来事

- ・サイロ自動出荷装置の設置(2015)
- ・新材バーナ載せ換え(2018)
- ・リサイクルユニット改良(2019(間接加熱方式→直接加熱方式))
- ・8tダンプの需要増加に伴い工場でも2台保有し、産業廃棄物収集運搬の許可取得
- ・出荷予定表・配車表を電子ボードに変更
- ・建設発生土仮置きヤードとして静岡県盛土等の規制に関する条例許可取得
- ・若手職員の増加
- ・多能工化を進め、休日取得がしやすい環境作り

工場全景



担い手育成(小・中・高校生工場見学会・職場体験・出前講座)



職員集合写真



磐田瀝青舗材共同企業体

●事業所概要

構成会社 : 中村建設(株)・福田道路(株)・大成ロテック(株)

所在地 : 〒438-0016 磐田市岩井1907-204

連絡先 : TEL 0538-35-6031 FAX 0538-35-3389 mail

操業開始 : 1989年1月

従事者数 : 17名

敷地総面積 : 8,557 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2,000 kg/バッチ

新規合材 96 t/h

再生合材 120 t/h 再生配合率 45 % ※再生密粒度(13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 96 t/h 【日工(株) NAP・BD-1600MBP】

(操作盤) : 【日工(株) NEXT-AP】

再生ユニット : 45 t/h 【日工(株) NRU-α45】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【100t×1基・120t×1基】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類(アスガラ)

処理場面積 : 3,500 m²

設備能力等 : 60 t/h 【(株)安井造機 YZK4060S型】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材

●最近10年間における出来事

イワレキは過去10年間に国交省・ネクスコ・県・市町の大規模修繕から新設工事、また民間工事では数々の工場等の新築工事に携わせて頂く事が出来ました。令和4年には、JVに大成ロテック(株)を迎え入れ、より地域に親しみのあるプラントを目指しております。工場北側にある自然の楽園と云われる『桶ヶ谷沼』を守る為に、数々の保護活動やボランティア活動に積極的に参加して参りました。又、学生の工場見学やインターンシップ、職業体験の受入れを実施し年々好評につき依頼が殺到しております。おそらくこれ等の数々の活動は県内随一だと考えられます。今後、数年内に新プラント建設の計画がありますが、最新設備と最も環境に配慮したプラントを目指して参ります。



プラント

事務所



工場職員

湖西アスコン共同企業体

●事業所概要

構成会社 : (株) 中村組・大成ロテック (株) ・中村土建 (株)

所在地 : 〒 431-0451 湖西市白須賀3629-1

連絡先 : TEL 053-579-2332 FAX 053-579-2264 mail

操業開始 : 1991年12月

従事者数 : 6名

敷地総面積 : 6, 200 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2, 000 kg/バッチ

新規合材 96 t/h

再生合材 120 t/h 再生配合率 44 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 90 t/h 【 日工 (株) NAP BD - 1600MBP 】

(操作盤) : 【 日工電子工業 (株) next-E x a -AP 】

再生ユニット : 60 t/h 【 日工 (株) NRU 60 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 120 t × 1基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ)

処理場面積 : 808.9 m²

設備能力等 : 30 t/h 【 1次破碎機 : (株) 安井造機 YZK-4060型 】

【 2次破碎機 : 日鉄鉱業(株) ハルドパクトPEH-310 】

再生品目 : 再生骨材、再生路盤材

●最近10年間における出来事

湖西アスコンでは、静岡県アスファルト合材協会「四十年史」の編集委員長を務めた加茂研司が2021年6月に定年退職しました。品質管理の後任者は、まだまだ未熟ですが、クロスチェックやプラント定期検査にて合材協会所属の皆様からのご指導やご指摘を頂いて一歩ずつ成長している状況にあります。また、湖西アスコンのプラントしても、老朽化が拭えない中で、安定稼働に向けてできるところから修理や交換を進めています。最近、資材の高騰や人材不足、出荷数量の減少など悩みは尽きませんが、浜名湖西岸で唯一のプラントとして、地域の発展やインフラ維持の後押しとなれるように次の10年間頑張っていきたいと考えています。改めて、静岡県アスファルト合材協会の50周年おめでとうございます。

アスファルトプラント



事務所



工場職員

中遠合材センター

●事業所概要

構成会社 : 中遠アスコン(株)・(株)中村組・(株)大浜中村組
静和工業(株)・ナカムラ道路(株)

所在地 : 〒 436-0031 掛川市高御所字曾我山1549-2

連絡先 : TEL 0537-24-1911 FAX 0537-22-4911 mail

操業開始 : 2009年10月

従事者数 : 12名

敷地総面積 : 20,494 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1,500 kg/バッチ

新規合材 60 t/h

再生合材 90 t/h 再生配合率 48 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 60 t/h 【 日工 (株) NAP BD - 1000MBN 】

(操作盤) : 【 (株)MECX プロメックス 】

再生ユニット : 45 t/h 【 日工 (株) NRU ATOP45 - 30AL 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 110 t × 1 基 ・ 90 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 14,252 m²

設備能力等 : 80 t/h 【 三協機械 (株) 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材

●最近10年間における出来事

私事ですが、地元企業の小さなプラントから、中遠アスコン(株)に入社し6年目となりました。入社当初は以前の職場では取り扱いがなかったテストコースに使用する特殊な配合を扱うようになり、対応に追われていた思い出があります。その度に諸先輩方や同じグループ会社、試験所の方に手助けしていただき、今日の自分があると思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、機械設備に関して、カーボンニュートラルを目指し工場燃料のガス化やアスファルトのフォームド設備など、さまざまな環境の変化がありました。

また、十年後にはどのように変わっているのか楽しみです。

プラント

集合写真



事務所風景



共同企業体 浜松中央アスコン 前田工場

●事業所概要

構成会社 : 前田道路 (株) ・ 西遠コンクリート工業 (株)

所在地 : 〒 431-3103 浜松市中央区常光町814

連絡先 : TEL 053-434-4986 FAX 053-434-5007 mail

操業開始 : 1972年

従事者数 : 12名

敷地総面積 : 18,579 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 2,000 kg/バッチ

新規合材 90 t/h

再生合材 90 t/h 再生配合率 49 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 90 t/h 【 日工 (株) NAP-1202AZB 】

(操作盤) : 【 田中鉄工 (株) ASPUC-FACE 】

再生ユニット : 90 t/h 【 田中鉄工 (株) TRD-90 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 120 t × 1 基 ・ 140 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 4,805 m²

設備能力等 : 101 t/h 【 中山鉄工所 (株) HAC100R 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材、再生盛土材

●最近10年間における出来事

2014年9月にサイロの建て替えを行い保温機能の向上を図ることや、2016年12月に事務所の建て替えを行い屋根に散水設備を設置し夏場の事務所内温度低減機能を持たせるなど施設を更新しながら運営しています。ここ数年では豪雨災害によりプラント通路の浸水や、強風で事務所入口のガラスが割れてしまうなど、自然災害に悩まされることもありました。環境に配慮したプラントを目指すべく、RE100 (再生可能エネルギー) の使用、さらには2023年10月に機械式フォームド装置を設置し、CO2の排出削減にも貢献できていると感じています。



プラント

全景

事務所

全景



工場職員

共同企業体 浜松中央アスコン西遠工場

●事業所概要

構成会社 : 前田道路 (株)
西遠コンクリート工業 (株) (株中部・(株)鈴木組・トキワ道路(株))

所在地 : 〒 432-8064 浜松市中央区倉松町 4 0 4 8 番地

連絡先 : TEL 053-447-1489 FAX 053-448-8484 mail webmaster@seien.sala.jp

操業開始 : 1997年2月

従事者数 : 9名

敷地総面積 : 11, 294 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力]

新規合材

再生合材

再生配合率

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 【 】

(操作盤) : 【 】

再生ユニット : 【 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 70 t × 1 基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

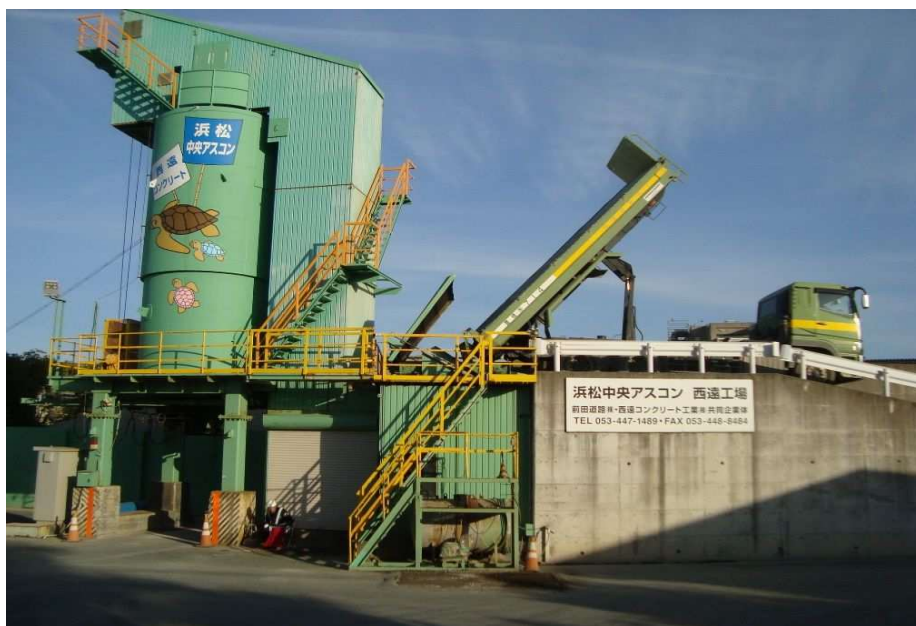
処理場面積 : 2, 388 m²

設備能力等 : 70 t/h 【 (株)アーステクニカ KAP-55N 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材、再生盛土材

●最近10年間における出来事

平成26年3月から始まった防潮堤の工事が令和2年3月で竣工しました。工場から見える景色が変わりましたが、当工場ではここ10年では大きな変化なく操業しています。機械設備としては平成29年1月に合材サイロの無人出荷装置を設置をしたことによりそれまでの苦労がウソのように感じられるほどでした。夜間・休日の社員の負担が軽減される画期的な装置だと思ったことが、懐かしく感じられます。サテライト工場ですが、お客様に選ばれる工場を目指し世界的なカーボンニュートラルの取組みの一環として、令和2年8月にエコアクション21の認証登録をし、令和4年2月から優良産廃処理業者の認定を受け運営しています。



サテライトサイロ

破碎プラント



工場職員

西遠アスコン共同企業体

●事業所概要

構成会社 : 大林道路(株)、(株)水野組、遠鉄建設(株)、(株)丸久組

所在地 : 〒 431-2102 浜松市浜名区都田町 8 5 4 6-5

連絡先 : TEL 053-428-3808 FAX 053-428-3809 mail

操業開始 : 1988年9月

従事者数 : 7名

敷地総面積 : 9, 104 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1000 kg/バッチ

新規合材 60 t/h

再生合材 60 t/h 再生配合率 35 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 60 t/h 【 日工 (株) NAP BD - 1000APB 】

(操作盤) : 【 日工 (株) next Neos-AP 】

再生ユニット : 60 t/h 【 日工 (株) TOP-30 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 120 t × 1基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 3, 774 m²

設備能力等 : 48 t/h 【 トーテック(株) KAP-40HD 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材、再生盛土材

●最近10年間における出来事

西遠アスコンは過去10年間に、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号線等の大規模修繕工事、三遠道路等の新設工事をはじめ、民間企業の都田地区への工場移転等に伴う建築工事に対し、アスファルト合材の供給を行ってきました。少人数の工場なので、昼夜出荷の調整も大変ですが、現場の要求事項に答えるため、業務を停滞させないように職員や協力業者、同業プラントの方々の力も借りながらピンチを乗り越えてきました。最近は運搬車両・人手の不足、資材高騰など難しい問題も多くあるなか、働き方改革による土・日閉所推進に加え、工事発注等も同様の配慮がなされてきました。他の産業に後れを取っていた建設・製造業もやっと休日取得環境が整いつつあると感じています。



アスファルトプラント

破碎プラント



工場職員

天竜川砂利プラント協同組合 アスファルト合材工場

●事業所概要

構成会社 : 小笠原マル昇(株)・(株)植松鈴木組

所在地 : 〒 434-0022 浜松市浜名区新堀1-1

連絡先 : TEL 053-586-3251 FAX 053-586-3894 mail

操業開始 : 1980年9月

従事者数 : 7名

敷地総面積 : 9, 939 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1, 500 kg/バッチ

新規合材 90 t/h

再生合材 90 t/h 再生配合率 10 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 90 t/h 【 (株)新潟鐵工所 NP 1500A 】

(操作盤) : 【 日工 (株) NEXT-DUO 】

再生ユニット : — t/h 【 】

[付帯設備]

合材サイロ : 無し 容量 : 【 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

処理場面積 : 650 m²

設備能力等 : 50 t/h 【 ハルドパクト PEH-Ⅲ125/105 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材、再生盛土材

●最近10年間における出来事

平成31年4月23日、平成も終わろうとしている頃、夜間にプラントの電力設備であるキューピクルの火災が発生し、令和に変わったばかりの約1ヶ月仮設の電力設備が稼働するまで合材の出荷が出来なかった事が印象的な出来事として思い出されます。

また、20代の新入社員が1名ではありますが入社し、工場従業員の平均年齢が多少若返りました。今後の活躍を期待している所です。



共同企業体 掛川アスコン

●事業所概要

構成会社 : 前田道路(株)・(株)川島組・西遠コンクリート工業(株)・(株)鈴木組

所在地 : 〒 436-0012 掛川市上内田字五百済2441-1

連絡先 : TEL 0537-62-1511 FAX 0537-62-1577 mail

操業開始 : 2004年 1月

従事者数 : 10名

敷地総面積 : 13187 m²

●アスファルトプラント概要

[公称能力] 1, 500 kg/バッチ

新規合材 60 t/h

再生合材 80 t/h 再生配合率 50 % ※再生密粒度 (13)

[能力・メーカー・型式]

プラント本体 : 60 t/h 【 日工 (株) NAP BD-1000M (B) F 】

(操作盤) : 【 日工 (株) Comand-Arvo 】

再生ユニット : 70 t/h 【 日工 (株) NAP BD-1000ABF (SA-2813) 】

[付帯設備]

合材サイロ : 有り 容量 : 【 100 t × 2基 】

●産業廃棄物処理施設概要

産廃の受入 : 可能 受入品目 : がれき類 (アスガラ、コンガラ)

貯蔵面積 : 2400 m²

設備能力等 : 120 t/h 【 中山鉄工所(株) ZAC - 80R 】

再生品目 : 再生骨材、再生下層路盤材、再生基礎裏込材

●最近10年間における出来事

- ・ 構成会社に西遠コンクリート工業が加わりました。
- ・ 新しいスイーパーを導入。
- ・ 年一回ポンプ車による側溝掃除をしています。
- ・ 事務所の塗装を実施しました。
- ・ RE100電力を使用開始しました。
- ・ 2025年3月より中温化混合物の設備を増設予定です。



プラント



事務所

工場職員



あ と が き

この度、50周年記念誌を無事に発行させることができましたのは、原稿を執筆していただいた方々をはじめ、合材協会関係者からのご助力があってこそその結果であると感じております。

皆様のお力添えに感謝を申し上げます。

2024年に創立50年を迎えた合材協会の半世紀を綴る記念誌の制作と、編集委員長を任されたことを光栄に感じるとともに、とても良い経験をさせていただきました。

本来であれば、2023年中に編集委員長の選任と編集委員会の設置を行わなければなりませんでした。2024年には協会役員の交代も控えており、委員会の検討と選出に時間を要する状況でした。

2024年8月に技術委員がメインとなり編集委員会を設置しましたが、2024年7月に国土交通省より混合物の不正使用についての通知が発表されてからの県内での調査や対応、毎年実施しているプラント定期点検検査やクロスチェック審査、その結果報告や冊子の編集に迫られ、担当した技術委員は工場での通常業務と並行しての編集作業で、かなりのハードワークでは無かったでしょうか。

また、色々なハプニングが発生する中で30年史と40年史を参考として、なんとか完成まで辿り着くことができた感じですので、誤字等のちょっとした間違いは、目を瞑っていただけますと幸いです。

今回の記念誌には技術的（品質的）なことに対しての掲載はありませんが、その点につきましては、技術委員会で毎年発行しているクロスチェック審査の冊子「静岡県における品質管理と審査」を参照していただければと思います。

クロスチェック審査制度は、国土交通省の事前審査制度を他県が実施している状況を視察した上で、静岡県と合材協会で何度も協議を重ねた結果、静岡県には事前審査制度より適していると判断して取り入れた制度であり、そのことを忘れないように継続して欲しいと当時の関係者の方から伺っています。

現状では合材協会の主導で実施している制度ではありますが、今後も審査に参加される官庁や他団体のアドバイザーからの意見を真摯に受け入れることが審査の着実な進歩と同時に品質の維持に繋がり、この審査制度が重要な意味を持つと思いますので、相互の協力により活性化が図れたらと思います。

最後になりますが、静岡県アスファルト合材協会は他県の合材協会と比較して、他社（プラント同士）との協力体制が優れていると聞きます。

業界では人材不足や働き方改革の問題もあり、協会の活動においては、今まで以上に各社・プラント間の協力体制が重要になると予想していますので、相互のコミュニケーションを良くしていただき、皆が厳しい時代を乗り越えることができるように活発な活動を行えることを望み、あとがきとさせていただきます。

令和7年6月

編集委員長 佐藤 千速

静岡県アスファルト合材協会「五十年史」編集委員

	氏 名	協会役職	所属会社
編集委員長	佐藤 千速	技術委員会 委員長	セイエン商事(株)
編集委員	大畑 和哉	東部支部 技術委員長	(株)リサイクル芝川
〃	青路 佑治	中部支部 技術委員	大林道路(株)静岡アスファルト混合所
〃	田畑 智久	西部支部 副技術委員長	(共) 浜松中央アスコン西遠工場
〃	井上 光浩	合材協会 事務局長	
〃	佐野 正美	合材協会 事務局員	
〃	石上 貴美子	合材協会 事務局員	

次回の記念誌を担当する方へのアドバイスとして、50年史の制作には時間的な余裕がありませんでしたので、60年史については2033年に編集委員会の設置をしたいところです。

過去に主な担当者が疾病により離脱することもありましたので、ハプニングによる計画の遅延や業務の負担を軽減する対策や協力体制を整えることも大切になると思います。

Web会議等で多くの方に携わっていただくか、専門業者に依頼する検討も必要でしょう。

五十年史の編集にご協力をいただいた方々

氏 名	協会役職	所属会社
松浦 真明	合材協会 会長	東海瀝青工業（株）
藤森 真次	資料調査委員長	神谷建設（株）
中村 昭三	西部支部 資料調査委員	神谷建設（株）
各社代表者ならびに工場責任者、各社技術委員をはじめとする職員ご一同様		

創立五十周年記念誌 五十年史（1975～2024）

令和7年6月発行

発 行 静岡県アスファルト合材協会

静岡県静岡市葵区黒金町11-7 大樹生命静岡駅前ビル12階

TEL 054-255-0238 FAX 054-255-0239

印 刷 松本印刷株式会社

TEL 0548-32-0851 FAX 0548-32-6833